

1. 生き生きと子育てができるまち うらやす

(1) 地域での子育て支援サービスの充実

事業番号	1	事業名	【重点】保育園の整備				担当課	保育幼稚園課
計画内容	共働き、出産や病気、病人の介護などのため、家庭で保育ができない保護者に代わって、乳幼児を認可保育園で保育します。住宅開発や居住世帯の年齢構成等を注視しつつ、民間事業者を誘致し、地区ごとに計画的整備を進めるとともに、多様な保育サービスを提供するなどの充実に取り組めます。							
	保育園数	平成20年実績	15園		平成26年目標	17園		
	定員	平成20年実績	1,870人		平成26年目標	2,341人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	浦安市立猫実保育園の大規模修繕の事業実施と併せ、工事期間中に仮園舎として一時使用する保育施設に、当該工事竣工後に私立の認可保育園を整備するために、千葉県や保育事業者と協議を進めた。また、認証保育園や認可外保育施設を認可保育所へ移行すべく各保育事業者と協議を進めた。						
	評価	ほぼ目標値は達成されている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保育園数	目標	—						17園
	実績	15園		15園	17園	18園	18園	
定員	目標	—						2,341人
	実績	1,870人		1,936人	2,166人	2,226人	2,226人	
平成26年度事業予定	認証保育園や認可外保育施設を認可保育園への移行により、定員増を図る。							

事業番号	2	事業名	総合施設(幼稚園・保育所一元化)創設の検討			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	市における子育て環境の実態と課題を見極めつつ、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「総合施設」の具体策づくりに向けた検討を行います。							
	事業検討	平成20年実績	検討		平成26年目標	検討		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	明海5丁目地区の市有地において、幼保連携型認定こども園の設置運営事業者の公募を行い、学校法人渋谷教育学園を設置運営事業者として選定した。現在、施設整備に向け千葉県との協議を進め、設計業務を行った。						
	評価	平成27年4月1日の開園に向け、現在の目標値は達成している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業検討	目標	—						施設整備
	実績	検討		検討	検討	検討	事業者選定	
平成26年度事業予定	学校法人渋谷教育学園により、幼保連携型認定こども園(定員223人)の施設建設を行う。							

事業番号	3	事業名	【重点】 児童育成クラブの整備・充実			担当課	青少年課	
計画内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～3年生(一部4年生)の児童と、6年生までの療育手帳などの交付を受けている特別な支援が必要な児童を対象に、放課後や夏休みなどに保育を行っている。運営については、運営委員会や法人などに委託し、児童の保護・健全育成活動を行っている。							
	児童育成クラブ数	平成20年実績	17クラブ			平成26年目標	18クラブ	
	利用者数	平成20年実績	1,366人			平成26年目標	1,679人	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	今後、入会児童数の増加が見込まれることや施設の狭隘化への対応を図るため、東小学校屋内運動場の建替え整備に合わせて、40人ごとの部屋を3室確保し、120人定員規模の当該クラブ施設の建設を行い、平成25年10月1日から平成26年度11月の完成に向けて、東小学校地区児童育成クラブ増築工事を行っている。 また、子どもたちが利用する児童育成クラブ施設において、これまで以上に保育環境の改善を図るために、劣化や不具合などに対して早期に補修を行っている。						
	評価	入会児童数の増加に伴い、児童育成クラブ施設の整備を行い、子どもと家庭を支援する子育て環境づくりに大きく寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
児童育成クラブ数	目標	—						18クラブ
	実績	17クラブ		18クラブ	18クラブ	18クラブ	18クラブ	
利用者数	目標	—						1,679人
	実績	1,366人		1,357人	1,416人	1,486人	1,603人	
平成26年度事業予定	東小学校地区児童育成クラブ増築工事(定員120人) 浦安小学校地区児童育成クラブ増築工事実施設計(定員100人) 等							

事業番号	4	事業名	【重点】 児童センターの整備			担当課	こども家庭課	
計画内容	留守家庭児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、また、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供等を行う児童センターの新たな整備を検討します。							
	設置箇所数	平成20年実績	1ヶ所			平成26年目標	3ヶ所	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	放課後の児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供を行う場として、東野児童センター及び高洲児童センターの2ヶ所を開所している。						
	評価	中町及び新町地区には児童センターが設置されているが、元町地区の整備が実施できていない状況である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
設置箇所数	目標	—						3ヶ所
	実績	1ヶ所		2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	
平成26年度事業予定	元町地区での児童センター整備に向けて引き続き検討を行う。							

事業番号	5	事業名	【重点】 児童センター事業の充実	担当課	児童センター (こども家庭課)			
計画内容	子どもが、伸び伸びと「集い」「学び」「語らい」「遊ぶ」ことのできる広場を提供します。小学校低学年の留守家庭児童を対象に、放課後における居場所として施設を提供する。							
	延利用人数(入館者数)	平成20年実績	67,434人		平成26年目標	拡大		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>東野児童センター 事業実績(平成26年3月末日現在) 延べ 33,538人 ◎子どもの育成事業 延べ 10,841人、◎子育て支援事業 延べ 13,396人、 ◎地域貢献事業 延べ 9,301人(うち「おやこの広場ほこほこ」 2,899人) 高洲児童センター 事業実績(平成26年3月末日現在) 延べ 9,982人 ◎子どもの育成事業 延べ 3,098人、◎子育て支援事業 延べ 1,081人、 ◎地域貢献事業 延べ 5,803人(うち「こんぺいとうサロン」 5,712人)</p> <p>■平成26年3月末日現在実績値(延べ入館者数) 合計 90,724人 (内訳) 東野児童センター 延べ入館者数 50,108人 高洲児童センター 延べ入館者数 40,616人</p>						
	評価	<p>東野児童センターでは、平成23年度に始めた1歳児を対象とした登録制の「よちよちクラブ」(延べ利用人数 1,199人)の他、「おやこの広場ほこほこ」による子育てサロンの開催(延べ利用人数 2,899人)など、子育て支援事業の充実を図った。また、平成23年度から引続き毎月1週間の企画工作(延べ利用人数 2,225人)や、こどもの声を聞きながら新しい事業を実施し、子どもの育成事業の充実にも努めた。</p> <p>高洲児童センターでは、「お助けねっと・こんぺいとう」による子育てサロン「こんぺいとうサロン」を開催し、子育て支援事業の充実を図った。</p> <p>平成25年度は地域のボランティア、子どもスタッフ(トイレジャーハンティングメンバー)と共に事業を行い健全育成の充実の他、夏季期間の時間延長や土曜日祝日の開館を実施し、利用推進を図った。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延利用人数 (入館者数)	目標	—						拡大
	実績	67,434人	58,286人	94,423人	100,687人	98,043人	90,724人	
平成26年度 事業予定	平成25年度同様に事業を展開する。							

事業番号	6	事業名	保育園子ども相談の充実	担当課	保育幼稚園課			
計画内容	身近な地域における相談の場づくりとして、認可保育園における子育ての悩みや心配ごと等の相談の充実を図ります。							
	実施園数	平成20年実績	7園		平成26年目標	7園		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>育児の悩みや心配事について、子育ての専門知識を有する保育士により、公立保育園7園で電話相談を実施している。</p> <p>平成26年3月末日までの相談件数は、2園で2件。</p>						
	評価	<p>育児の悩みや心配事についての電話相談に、子育ての専門知識を有する保育士(主に園長)が対応することにより、保育園という身近な地域における相談の場を提供している。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施園数	目標	—						7園
	実績	7園		6園	4園	2園	1園	
平成26年度 事業予定	保育園子ども相談を充実する。							

事業番号	7	事業名	こどもショートステイの実施			担当課	こども家庭課	
計画内容	松戸市内の児童養護施設「晴香園」に委託し、ショートステイ(短期入所:原則として6泊7日以内)、トワイライトステイ等(夜間や日帰りの一時的な利用)を実施し、保護者が病気、看護、出産、出張、育児疲れなどの緊急一時的な利用に対応します。							
	設置箇所数	平成20年実績	1ヶ所			平成26年目標	1ヶ所	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	疾病、出産、看護などの理由で児童の養育が一時的に困難となった家庭の児童を一時的に施設等で保護する「こどもショートステイ事業」について、松戸市の児童養護施設「晴香園」に事業を委託して行った。						
	評価	平成25年度の利用者は0人である。(平成26年3月末現在) 利用希望に対して、委託先が遠方であることが大きな要因であると考えられる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
設置箇所数	目標	—						1ヶ所
	実績	1ヶ所		1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	
平成26年度事業予定	平成26年度も引き続き、25年度と同様に1か所で実施する。							

事業番号	8	事業名	【重点】子育て支援ケアプラン事業の実施			担当課	こども家庭課	
計画内容	子育て・家族支援者養成講座で養成した子育てケアマネジャーが、子育てに悩む保護者の相談窓口となり、豊かな経験と知識を活かした助言をするとともに、関係機関や育児制度・サービスの照会を行います。							
	相談件数	平成20年実績	274件			平成26年目標	充実	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	子育て・家族支援者養成講座で養成した子育てケアマネジャー8名が、子育て支援センター内の子育て相談室及び第三庁舎入り口の子育て総合窓口で子育てに関する相談を行っている。子育てに関する相談であればどんな相談でも受け、相談内容によっては関係機関との調整を図り、つなげていくワンストップサービスを実施している。なお、今年度から各公民館で実施している「ほのぼのタイム」に隔月参加し、相談を受けている。						
	評価	育児の悩み、友人関係、家族問題、制度やサービスに関する相談と多様な相談業務を行いつつ、見守りが必要な家庭を各機関へ繋ぐ役割も担っており、市としても市民としても欠かすことのできない事業となっている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談件数	目標	—						充実
	実績	274件		620件	495件	452件	455件	
平成26年度事業予定	メールによる相談の受付を開始し、24時間相談を受け付ける。また、少子化対策事業の一環として、健康センター内に相談場所を設置し、妊娠届出時に来庁した妊婦等を対象に相談を通じて子育てケアプラン(仮)を作成する。							

(2) さまざまな保育サービスの展開と充実

事業番号	9	事業名	【重点】一時預かり事業の拡充				担当課	保育幼稚園課
計画内容	地域の子育て支援として、育児疲れの解消、急病や入院等に伴う一時的な保育、または親の就労形態の多様化等に伴う継続的な保育など、需要に応じた保育サービスを提供します。生後4か月～未就学児を対象とします。							
	実施園数	平成20年実績	5園		平成26年目標	5園		
	延利用児童数	平成20年実績	8,987人		平成26年目標	13,000人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	在宅子育て家庭の支援事業として、一時保育を認可保育園7か所で実施した。 平成26年3月末現在の利用状況(延人数) 東野保育園1,275人、高洲保育園1,607人、浦安駅前保育園1,592人、しおかぜ保育園1,081人、ポピンズナーサリースクール新浦安1,982人、弁天保育園1,903人、愛和元町保育園1,971人						
	評価	3月末現在、7園の利用者の平均が延1,500人を超えており、需要が高いことがうかがえる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施園数	目標	-						5園
	実績	5園		6園	7園	7園	7園	
延利用児童数	目標	-						13,000人
	実績	8,987人		10,973人	11,237人	12,383人	11,411	
平成26年度事業予定	引き続き一時預かり事業の拡充していく。							

事業番号	10	事業名	病後児保育の実施				担当課	保育幼稚園課
計画内容	生後57日目から小学校3年生までを対象に、病気回復期のため集団保育が困難な乳幼児の一時預かりを行います。							
	実施施設数	平成20年実績	2ヶ所		平成26年目標	2ヶ所		
	延利用児童数	平成20年実績	348人		平成26年目標	400人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	病後児保育事業の運営を市内2ヶ所の施設(浦安中央病院・ポピンズナーサリースクール新浦安)で行っている。 平成26年3月末現在、同事業の利用者は延べ449人で、施設別の内訳は、浦安中央病院病後児保育室「ぱんだルーム」で延べ376人、ポピンズナーサリースクール新浦安病後児保育室「アクアルーム」では、延べ73人の利用があった。						
	評価	市内2ヶ所で運営を行っており、利用者からは概ね高い評価をいただいているが、利用者が少ないことにより、支出額と比較するとコストが割高である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施施設数	目標	-						2ヶ所
	実績	2ヶ所		2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	
延利用児童数	目標	-						400人
	実績	348人		417人	340人	381人	449人	
平成26年度事業予定	平成26年度についても2施設で運営していく。							

事業番号	11	事業名	エンゼルヘルプサービスの実施			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	保護者の出産や病気等であるにもかかわらず、まわりからの支援が見込めない未就学児を養育している家庭に対し、保護者に代わって家事や育児のお手伝いをするヘルパーを派遣します。							
	延派遣件数	平成20年実績	1,688件			平成26年目標	2,000件	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	保護者の方が出産前後や病気などで、家事・育児ができないとき、周囲の支援が充分に見込めないご家庭に対し、家事や育児のお手伝いをするエンゼルヘルパーを派遣した。また、訪問コーディネーター(看護師)による利用者の健康不安への相談や指導などきめ細やかに実施した。						
	評価	ヘルパーの資質、利用料金等において、多くの利用者からの信頼が得られており、安定した利用件数を維持している。また、産後うつなど特に支援が必要な家庭には、保健師や家庭相談員から積極的に利用を促すなど、他機関との連携もとりつつ実施している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延派遣件数	目標	—						2,000件
	実績	1,688件		1,309人	1,165人	1,474件	1,385件	
平成26年度 事業予定	引き続き同内容で実施する。							

事業番号	12	事業名	幼稚園預かり保育の実施			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	保護者の預かり保育利用ニーズに対応すべく、預かり保育の実施園の拡大について検討します。							
	利用率	平成20年実績	75%			平成26年目標	80%	
	定員	平成20年実績	150人			平成26年目標	250人	
	実施園数	平成20年実績	3園			平成26年目標	6園	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成25年度より明海幼稚園の預かり保育定員を35人から当初予定していた50人とし、地域の保育需要に対応した。 ■平成26年3月末現在 利用者(延べ)42,730人 70.4% 預かり保育定員250人						
	評価	明海幼稚園において、当初予定していた定員50人で運用開始ができ、地域の保育需要に対応することができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率	目標	—						0.8
	実績	0.75		0.739	0.73	0.74	0.67	
定員	目標	—						250人
	実績	150人		175人	200人	235人	250人	
実施園数	目標	—						6園
	実績	3園		4園	5園	6園	6園	
平成26年度 事業予定	平成25年度同様、引き続き預かり保育事業を継続する。							

事業番号	13	事業名	ファミリー・サポート・センターの充実			担当課	こども家庭課	
計画内容	ファミリー・サポート・センターでは子育てをしてほしい人(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい人(提供会員)の登録による相互互助組織を構成し、育児の援助活動を行っています。新生児、宿泊預かりも実施していますが、病後児預かりについても、医師会、市内総合病院と調整し実施するなどサービスの充実を図ります。							
	おねがい会員数	平成20年実績	1,196人		平成26年目標	充実		
	まかせて会員数	平成20年実績	153人		平成26年目標	充実		
	どっちも会員数	平成20年実績	215人		平成26年目標	充実		
	特別まかせて会員数	平成20年実績	10人		平成26年目標	50人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	ファミリー・サポート・センターの運営を浦安市社会福祉協議会に委託している。主な活動内容としては、保育所・幼稚園の送り迎え及び帰宅後の預かり、学童保育の送り迎え及び帰宅後の預かり、買い物等の外出の場合の援助、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気・その他急用の場合の援助などを行った。						
	評価	会員数が年々増えてきており、制度の周知が進み浸透してきている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
おねがい会員数	目標	-						充実
	実績	1,196人		1,561人	1,651人	1,712人	1756人	
まかせて会員数	目標	-						充実
	実績	153人		231人	257人	282人	299人	
どっちも会員数	目標	-						充実
	実績	215人		258人	255人	254人	229人	
特別まかせて会員数	目標	-						50人
	実績	10人					49人	
平成26年度事業予定	引き続き制度の周知を進めるとともに、保育所・幼稚園の送り迎え、帰宅後の預かりなどの会員同士の活動を調整・実施する。							

事業番号	14	事業名	家庭的保育事業			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	多様化する保育需要や認可保育園の待機児童に対応することを目的として、家庭的保育者(保育ママ)が家庭的な環境と愛情の中で、少数人数を保育する家庭的保育事業を実施しています。							
	保育ママ数	平成20年実績	H22新規事業		平成26年目標	4人		
	利用者	平成20年実績	H22新規事業		平成26年目標	18人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	平成23年4月1日より、2名の保育ママの自宅において事業を開始し、さらに平成25年4月1日より、2名の保育ママを追加し、現在、4名の保育ママの自宅において事業を実施している。 平成26年3月末日現在、利用者12人 ■平成26年3月末日現在実績値 利用者12人						
	評価	家庭的な雰囲気の中で、少人数の保育ができ、利用者からは好評を博している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保育ママ数	目標	-						4人
	実績	H22新規事業			2人	2人	4人	4人
利用者	目標	-						18人
	実績				4人	6人	12人	12人
平成26年度事業予定	新規の保育ママの拡大と、安定した利用者の確保。							

事業番号	15	事業名	乳幼児を持つ母親等の学習権保障のための保育の実施	担当課	各公民館
計画内容	乳幼児を持つ母親等の学習権保障に向け、公民館が主催する事業等については保育サービスの提供を行います。				
	事業数	平成20年実績	79事業	平成26年目標	85事業
平成25年度 実施状況と 評価	高洲公民館	実施状況	実績件数:18事業83回(4~3月実施分) 実施内容:我が家の家計費の目安を考える講座(3回)・家庭における重要書類の保管法を学ぶ(1回)・ダンスエクササイズ(4回)・14世紀イタリア文化史(1回)・初心者のための茶道講座(2回)・ダンスエクササイズ-ズンバ(4回)・皆でボサノバを歌いましょう(1回)・テレビのことをもっと知ろう(1回)・わたしが家族の収納リーダー、新町マンション、片付けラクラク収納講座(3回)・子育て世代のライフプランを学ぶ(5回)・美文字講座(2回)・ダンスエクササイズ-ラテン(5回)・こころの伝え方(4回)・はじめての野菜づくり(24回)・住まいを考えるセミナー(12回)・韓国語講座(8回)・公民館で1日遊びながら学ぼう(1回)・暮らしのかなの人権を考える(2回)		
		評価	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育つきの主催事業を開催することは有意義なものとする。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」などという声が多い。		
	中央公民館	実施状況	①実績件数と見込み件数:26事業138回(実施見込み3事業含む) ②実績内容:1歳児親子遊び教室(7回)・2歳児親子遊び教室(7回)・浦安小学校子育てミーティング(5回)・東小学校子育てミーティング(11回)・神明幼稚園子育てミーティング(11回)・若草幼稚園子育てミーティング(9回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なお母さんになろう～」(5回)・うらやす子育てミーティングプレゼンツ家庭教育講演会(1回)・頑張りすぎない子育て～ポジティブ・ディシプリンから学ぶ～(2回)・魅力的なお母さんになろう3～こころが優しくなる子育て～(3回)・「ママにやってあげたい!!癒しのリンパマッサージ」(1回)・エコでまちのみらいを明るくする～エコつう講座～(4回)・日本語教室初級(14回)・日本語教室中級(14回)・文化祭実行委員会(4回)・利用者懇談会(2回)・「もっとやさしい浦安を目指して」～浦安の魅力発見～「食」「暮らし」「エコ」私たちにできること(5回)・私たちにできることエコ会議(4回)・浦安市公民館縦断ワールドカフェ「子を持つ親として今、話したいこと」(3回)・浦安市公民館縦断ワールドカフェ「子を持つ親として今、話したいこと」ふりかえり(3回)・うらやす子育てミーティング運営チームプレゼンツ家庭教育講演会「子どもの心のコーチング～子どもに伝えたい3つの力～」(1回)・「もっとやさしい浦安を目指して～子育てを中心にした交流の場づくりの担い手になろう～」(4回)・うらやす子育てミーティング運営会議(10回)・話し合いのコツをつかむ!ファシリテーター養成講座(4回)・「もっとやさしい浦安を目指して～子どもの生きる力を引き出そう～」(4回)		
		評価	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育つきの主催事業を開催することは有意義なものとする。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」などという声が多い。また、保育される子どもの学びの場ともなっている。		
	堀江公民館	実施状況	実績件数:10事業64回(4~3月実施分) ・堀江公民館主催事業で、保育つきの事業を行う。 ①実績件数:10件 おひさまクラブⅠ・Ⅱ 特別版(1回)、おひさまクラブⅡ(16回)、子育て応援パパママ講座(3回)、家庭教育学級(幼稚園13回・小学校13回)、女性セミナー(3回)、わんぱくクラブ(5回)、子育てママの姿勢と歩き方講座①(4回)子育てママの姿勢と歩き方講座②(4回)、人権講座(2回) ②保育対象年齢:生後6ヶ月以上未就学児 ③保育対象人数:1件につき15人程度の保育を対象として実施		
		評価	保育があることで、安心して講座に参加できると好評である。また親同志の交流や情報の交換の場にもなっている。さらに子ども達も保育の中で遊びや交流を通し、自立・発達・成長など社会性を身につける機会にもなる。		
富岡公民館	実施状況	①実績件数:16事業 ②実績内容:春のからだにやさしいパンづくり・子育てママのリフレッシュ講座・布ぞうりづくりに挑戦!・親子料理教室・ビデオカメラ入門講座・初めての写経体験・春休み親子モザイクタイル教室・夏バテ解消ピラティス・ペーパークイリング体験講座・冬の紅茶でひとときを!お正月のお雑煮とおせち料理を作ってみよう!・親子で挑戦!指編み・収納'楽'講座・年賀状の書き方講座・見明川・富岡小学校合同家庭教育学級・見明川・富岡・浦安幼稚園合同家庭教育学級			
	評価	保育があることで、安心して参加できる。親同志の交流や情報の交換の場にもなっている。子ども達も遊びや交流を通して、自立・発達・成長など社会性を身につける機会にもなる。			

平成25年度 実施状況と 評価	美浜公民館	実施状況	実績件数: 13事業40回 実施内容: 親子ドレミ教室(5回)・古典文学に触れる～万葉集の歌を楽しく読もう～(3回)・折紙教室(6回)・暮らしとマナー(2回)・美浜文学講座(4回)・親子ドレミ教室・下期(5回)・ネット社会の落とし穴(2回)・クリスマスブリザードフラワー講座～壁にクリスマスツリーを飾ってみませんか?(1回)・大人の折り紙～雛人形作り～(1回)・メンズカラーコーディネート!(2回)・レディースカラーコーディネート!(3回)・ファーストステップ!ピラティスでボディメイク(2回)・美浜女性フォーラム(4回)					
		評価	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育付きの主催事業を開催することは有意義なものとする。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」などという声が多い。					
	当代島公民館	実施状況	実績件数: 7事業33回 実施内容: 北部小学校子育てミーティング(10回)、青葉幼稚園・北部幼稚園合同子育てミーティング(12回)、女性の茶道教室(2回)、女性のための再就職セミナー(1回)、きらきら☆ママのHappyLife(4回)、マナープラン～家計簿のコツ～(1回)、マナーから学ぶ「おもてなしの心」(3回)					
		評価	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育付きの主催事業を開催することは有意義なものとする。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」などという声が多い。					
	日の出公民館	実施状況	実績件数: 10事業58回 実施内容: ボランティア養成講座おはなし配達人講座(入門編)(11回)・スペシャル夏のおはなし会&ディナー(1回)・乳幼児家庭教育講座「ゆったり子育てのツボ」(7回)・日の出家庭教育講座「子どもを伸ばす親のかかわり」(1回)・男女共同参画課題学習(脳科学)(3回)・女性セミナー(3回)・クリスマススペシャルおはなし会(1回)・すくすくクラブ大きい子組(10回)・すくすくクラブ小さい子組(10回)・ニイニイの部屋(11回)					
		評価	保育があることで、安心して参加できる。親同志の交流や情報の交換の場にもなっている。子ども達も遊びや交流を通して、自立・発達・成長など社会性を身につける機会にもなる。					
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業数	目標	—						85事業
	実績(7館合計)	79事業	62	73	53	66	72	
	高洲			12	11	16	18	
	中央		9	18	13	14	26	
	堀江		21	16	7	9	10	
	富岡		15	12	8	14	16	
	美浜			12	11	16	13	
	当代島		17	15	14	13	7	
日の出		20	18	11	15	10		
平成26年度事業 予定	高洲公民館	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施していく。						
	中央公民館	平成26年度も引き続き、子育て世代の方々が様々な分野の講座に参加できるよう実施していきます。						
	堀江公民館	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施していく。 * 10月からは大規模改修工事のため休館の予定。						
	富岡公民館	今後も同様に実施していく。						
	美浜公民館	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施していく。						
	当代島公民館	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施します。						
	日の出公民館	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施します。						

事業番号	16	事業名	託児保育者派遣事業			担当課	こども家庭課	
計画内容	子育て・家族支援者養成講座の修了生を登録し、市主催の託児付き事業へ託児保育者を派遣します。							
	託児登録者数	平成20年実績	32人		平成26年目標	60人		
	託児付事業数	平成20年実績	24事業		平成26年目標	40事業		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	子育て・家族支援者養成講座の修了生に託児保育者として登録してもらい、市主催の託児付事業(18事業、延べ81日)へ託児保育者を派遣した。						
	評価	託児保育付きの事業の実施により、育児中でも市の実施する事業に参加することが可能になり、子育て中の家族の育児支援や社会との関わりを持つ機会の確保、学習権の保障など様々な社会的効果が期待できる。さらに、子育て・家族支援者養成講座受講生の活動の場の保障につながっている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
託児登録者数	目標	—						60人
	実績	32人		46人	41人	44人	39人	
託児付事業数	目標	—						40事業
	実績	24事業		22事業	26事業	19事業	18事業	
平成26年度 事業予定	引き続き市の託児付事業に派遣する。							

事業番号	17	事業名	児童育成クラブに係る評価事業の実施			担当課	青少年課	
計画内容	児童育成クラブに係る事業者自己評価及び利用者調査を実施し、児童育成クラブにおける保育の質の向上を図ります。							
	対象施設数	平成20年実績	17クラブ		平成26年目標	18クラブ		
	対象利用者数	平成20年実績	1,366人		平成26年目標	1,679人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者自己評価:市内の児童育成クラブ18クラブに対して実施した。 ・利用者調査:各児童育成クラブの利用者及び保護者を対象に実施した。 						
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者自己評価:18クラブ(平成26年3月末現在) ・利用者調査 <ul style="list-style-type: none"> ①回収率 62.8%(平成26年3月末現在) ②回収数 993人、調査対象者数 1,581人 						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対象施設数	目標	—						18クラブ
	実績	17クラブ		18クラブ	未実施	未実施	18クラブ	
対象利用者数	目標	—						1,679人
	実績	1,366人		1,283世帯	未実施	未実施	1,581人	
平成26年度 事業予定	引き続き、市内の児童育成クラブ18クラブ及び各児童育成クラブの利用者及び保護者に対して実施予定。							

事業番号	18	事業名	保育サービス評価事業(第三者評価)の実施			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	3年に一度、千葉県に登録している評価機関に委託し第三者評価を実施します。その結果を受け指摘事項の改善に努め、保育の質の向上を図ります。							
	評価	平成20年実績	実施		平成26年目標	実施		
	点検・改善	平成20年実績	実施		平成26年目標	実施		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	認可保育園15園が、第三者評価を平成22年度に実施したが、次回は、平成27年度を計画している。						
	評価	第三者評価は、平成19年度と平成22年度に実施したが、評価はいずれも良かったため、実施年度の見直しを行い、次回は平成27年度を計画している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
評価	目標	—		※3年に1回実施				実施
	実績	実施		12園				
点検・改善	目標	—						実施
	実績	実施						
平成26年度事業予定	引き続き保育サービス評価事業(第三者評価)を実施する。							

事業番号	19	事業名	【重点】「今後目指すべき浦安市の児童育成クラブについて」の進行管理			担当課	青少年課	
計画内容	平成21年度策定された「今後目指すべき浦安市の児童育成クラブについて」(児童育成クラブガイドライン)で示された児童育成クラブのあるべき姿に向けて、段階的に取り組みを進め、その状況を公表していきます。							
	進行管理	平成20年実績	H21策定		平成26年目標	実施		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	平成24年8月に制定された「子ども・子育て支援3法」に基づき、厚生労働省から示される省令を踏まえ、児童育成クラブの設備及び運営に関する基準等の条例制定に向け、検討を進めているところである。						
	評価	進捗状況については、「子ども・子育て支援3法」の制定に伴い、改訂版「放課後児童クラブガイドライン」が示されたことや、厚生労働省令を踏まえ、児童育成クラブの設備及び運営に関する基準等の条例を制定する必要がある、公表について見送っている状況である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
進行管理	目標	—						未実施
	実績	H21策定		実施	実施	未実施	未実施	
平成26年度事業予定	「子ども・子育て支援3法」に基づき、児童育成クラブの設備及び運営に関する基準等の条例を制定する。							

(3) 親子の交流とネットワークづくりの促進

事業番号	20	事業名	【重点】地域子育て支援センターの拡充			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	子どもの健全な育成と子育て支援を目的に、子どもと保護者が自由に遊び、交流することができる場の提供、子育てについての相談や情報、学習の機会の提供を行います。							
	実施施設数	平成20年実績	6ヶ所		平成26年目標	10ヶ所		
	延利用者数	平成20年実績	29,741人		平成26年目標	35,000人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	市内に9ヶ所ある地域子育て支援センターの運営を、2ヶ所は直営で、7ヶ所は民間で行っている。平成26年3月末現在の同事業の利用者数は、延べ33,780組で、各支援センター別の延べ利用者数は、浦安市子育て支援センター12,831組・高洲保育園子育て支援センター2,616組(直営)、海園の街保育園子育て支援センター2,821組、浦安駅前保育園子育て支援センター2,639組、入船北保育園子育て支援センター3,712組、しおかぜ保育園子育て支援センター1,708組、ポピンズナーサリースクール新浦安子育て支援センター3,337組、弁天保育園子育て支援センター2,680組、愛和元町保育園子育て支援センター1,436組。						
	評価	支援センターごとにいろいろな事業、イベントを行っている。市内に9ヶ所あることで、利用者は選択していろいろな支援センターに行っている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施施設数	目標	—						10ヶ所
	実績	6ヶ所		8ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	
延利用者数	目標	—						35,000人
	実績	29,741人		37,168組	37,190組	36,684組	33,780組	
平成26年度事業予定	平成26年度についても、9施設で運営していく。							

事業番号	21	事業名	幼稚園子育てすこやか広場の実施			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	未就園の子どもや親同士のふれあいの場として、公立幼稚園を開放し、遊びの提供を行うすこやか広場の実施を継続し、利用者の増加を図ります。							
	延利用者数	平成20年実績	12,859組		平成26年目標	15,000組		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	公立幼稚園の一部を開放し、地域の親子の遊び場として子育てすこやか広場を開催している。 (計画日;午前10時~11時30分に実施) ①にこにこランド 0歳~未就園児 ②わくわくランド 来年度年中対象者 ①は公立14幼稚園全園で実施。②は14園中11園で実施。年間延べ399回開催。						
	評価	地域の子育て支援事業として、毎年度各園多くの参加者が来園している。この開催に合わせて、各園に月1回、保育カウンセラーを派遣し、保育相談を実施することで、子育て等に関する悩みの解決に向けたアドバイスを行っている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延利用者数	目標	—						15,000組
	実績	12,859組		12,109組	10,049組	9,788組	8,539組	
平成26年度事業予定	引き続き子育てすこやか広場を継続していく。							

事業番号	22	事業名	保育園園庭開放の実施			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	地域に住んでいる在宅の子育て中の親子を対象に認可保育園を定期的に開放し、遊びへの参加(園庭遊び、季節の遊び、行事参加)を支援します。							
	実施施設数	平成20年実績	10ヶ所		平成26年目標	8ヶ所		
	延利用人数(親子)	平成20年実績	2,354人		平成26年目標	1,800人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>公設公営保育園では、地域に住んでいる方を対象として園庭開放を実施し、地域の子育て家庭に対する支援を行っている。(月1回程度行っている。)</p> <p>また、園庭開放以外に園内ホールを開放しての紙芝居や人形劇を行う園もあり、その他、運動会等の行事にも参加を呼びかけている。</p> <p>なお、公設民営や民設民営の保育所において、一部園庭開放を実施している所もある。</p> <p>■平成26年3月末現在実績値 8ヶ所 1,225人</p>						
	評価	本市では転入転出者が多く見られ、転入してきたばかりの方は同年齢の親や子との交流が難しく、この園庭開放を通じて知り合うことも多いことから参加者からは好評である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施施設数	目標	—						8ヶ所
	実績	10ヶ所		8ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	8ヶ所	
延利用人数(親子)	目標	—						1,800人
	実績	2,354人		1,304人	861人	1,100人	1,225人	
平成26年度事業予定	引き続き保育園園庭開放を実施する。							

事業番号	23	事業名	【重点】子育てサロン活動の実施			担当課	社会福祉協議会	
計画内容	支部社協の活動の一環として、推進しているサロン活動の中で高齢者とともに子育て中の親同士の情報交換、友だちづくりを進める住民主体の活動の場として、子育てサロンの活動を支援します。							
	参加者数	平成20年実績	1,754人		平成26年目標	継続拡大		
	実施回数	平成20年実績	51回		平成26年目標	継続拡大		
	実施箇所数	平成20年実績	15ヶ所		平成26年目標	継続拡大		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	母親同士の交流できるきっかけづくりだけではなく、地域の推進委員が協力することにより、親子が住んでいる地域の方々とのふれあう機会ともなり、また、子育て支援サービスにかかる情報提供の場としても、有効に活用されている。						
	評価	より処ぽっかぽかで実施していた子育てサロンを、6月から堀江つどいの広場へ移したことから実施回数が減っているが、小地域で実施されているサロンには参加者が増えており、家庭的な雰囲気のある場所として認知されるようになってきている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加者数	目標	—						継続拡大
	実績	1,754人				2,185人	2,113人	
実施回数	目標	—						継続拡大
	実績	51回		62回	110回	130回	78回	
実施箇所数	目標	—						継続拡大
	実績	15ヶ所		18ヶ所	18ヶ所	17ヶ所	19ヶ所	
平成26年度事業予定								

事業番号	24	事業名	【重点】【新規】児童センターの子育てサロンの実施				担当課	こども家庭課
計画内容	交流の広場(集会室)の空き時間を利用し、主に未就園児を持つ親子の交流の場として子育てサロンを実施します。また、子育て・家族支援者養成講座2級修了生の活動実践の場として、サロン活動を開始します。							
	サロン開催日数	平成20年実績	H22新規事業		平成26年目標	5日/週		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>子育て・家族支援者養成講座2級修了生の活動実践の場として、高洲児童センター内交流の広場及び東野児童センターにて子育てサロンを開催している。 なお、今年度より東野児童センターでは月曜日に加え、金曜日も開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高洲児童センター 月～金曜日 10時～13時30分 ・東野児童センター 第1～3週月曜日 10時～13時30分 第1～4週金曜日 10時～13時30分 						
	評価	子育て中の親子の交流・情報交換の場として、また、子育て等に関する相談などの場として、子育てサロンが開催され、計画終了年度目標である週5日開催は、開始当初より達することができている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
サロン開催日数	目標	—						5日/週
	実績	H22新規事業		5日/週	5日/週	5日/週	5日/週	
参加者数	目標	—						
	実績				8,569人	4,880人	8,611人	
平成26年度事業予定	平成26年度も引き続き、25年度と同様に実施予定。							

2. 子どもたちの輝く声がきこえるまち うらやす

(1) 子どもと家庭の健康の保持・増進

事業番号	25	事業名	【重点】 母子保健推進員活動				担当課	健康増進課
計画内容	母子保健推進員は、子育てしている家庭と行政のパイプ役となり、母子保健サービスの紹介や同じ地域に暮らす身近な存在として、子育ての相談に応じています。生後2～3か月頃に家庭訪問を行い、心配事の多い家庭については保健師に連絡し、継続的な支援につなげたり、ほのぼのタイムなど母子保健事業への協力なども行います。							
	母子保健推進員数	平成20年実績	35人	平成26年目標	35人			
	訪問件数	平成20年実績	1,445件	平成26年目標	充実			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>母子保健推進員29名で活動(新規委嘱6名。継続委嘱23名。)</p> <p>母子保健サービスの紹介や同じ地域で過ごす身近な存在として子育て相談を聞くことにより、子育てしている家庭と行政のパイプ役として、子育てに関する不安の軽減に努める。2～3か月児のいる家庭への訪問活動を行っている。</p> <p>母子保健推進員の定例会を年に10回、宿泊視察研修1回(2年に1回実施)、研修会(年2回)実施し、知識の向上・情報共有等行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訪問数 訪問1232名 ●定例会 年10回 参加者 延べ267名 ●宿泊視察研修 平成25年10月15日～16日 参加者18名 ●研修会 1回 参加者 8名 						
	評価	訪問率が9割近くであり多くの子育て家庭に訪問できている。身近な存在として子育て情報の提供および行政とのパイプ役になっている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
母子保健推進員数	目標	—						35人
	実績	35人		34人	32人	32人	29人	
訪問件数	目標	—						充実
	実績	1,445件		1,430件	1,386件	1,151件	1,232件	
平成26年度 事業予定	1年任期の新規委嘱を行い、今までの母子保健推進員の活動のよい面を切れ目なく引き継がれるようにする。訪問率を向上し、また、質のよい訪問ができるようにしていく。地域で活動できる場がないか、一緒に模索していく。							

事業番号	26	事業名	ウェルカムベビークラス等産前学級の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	初産婦を対象に、妊娠・出産・育児に関する知識の普及や利用できるサービスの周知をすると同時に、同じように子育てをしていく親同士の友達づくり、夫婦で子育てをすることの大切さなどを伝えることを通し、子育て不安の軽減を図ります。							
	ウェルカムベビークラス 実施回数	平成20年実績	12回	平成26年目標	12回			
	妊婦健康講座実施回数	平成20年実績	8回	平成26年目標	6回			
	プレマクッキング	平成20年実績	4回	平成26年目標	6回			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>①ウェルカム！ベビークラス 初妊婦（妊娠6か月以降）に対して、出産・育児の知識の提供、パートナーと協力していけるようなきっかけづくり、友達作りを目的としている。年12コース（3回1コース）実施。</p> <p>②妊婦健康講座 産婦人科医師、小児科医師など幅広くより専門の講義を実施。経妊婦も対象としている。産婦人科医師講義3回。小児科医師講義3回。</p> <p>③プレマクッキング 子育てをスタートする妊婦に対して、食事を見直してもらう機会を設ける。特に「鉄分」や「野菜を多くとる工夫」「和食を見直そう」というテーマを取り上げて講話をし、実際に調理をすることによって実技を学び、適切な食事の量や味付けなどを知ってもらう。年6回。</p>						
	評価	妊娠期からの健康をサポートすることで、出産後の育児に向けた継続支援につながっている。居住地区に分かれてグループワークをすることで地域で子育てをしていく仲間を見つける機会となる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ウェルカムベビークラス 実施回数	目標	—						12回
	実績	12回	12回	12回	12回	12回	12回	
妊婦健康講座 実施回数	目標	—						6回
	実績	8回	6回	6回	6回	6回	6回	
プレマクッキング	目標	—						6回
	実績	4回	5回	5回	6回	6回	6回	
平成26年度事業予定	「赤ちゃん」のイメージと「赤ちゃん」の泣きのイメージがついていない場合もあることから、乳児の泣きについて模型を使いながら説明していく。							

事業番号	27	事業名	新生児・妊産婦訪問指導の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	出生連絡票に伴い、助産師等が家庭訪問をし、母親が心身共に健康な日常生活を送ることができるよう支援します。							
	訪問件数(新生児・未熟児・乳児含む)	平成20年実績	1,329件	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>対象： ①ハイリスク妊婦で、訪問が必要な者。 ②市内在住および市内里帰り中の生後4か月未満の乳児とその母 ③身体の発育が未熟のまま出生した乳児。概ね出生体重2,500g以下の者。妊娠中は、妊娠届出の状況や他部署等からの連絡より把握、産後は、出生連絡票、病院からの看護要約により把握し、訪問を実施している。</p>						
	評価	産後（生後）4か月未満の訪問率は9割前後と微増している状況であるが、里帰り期間の長期化、早期の職場復帰等で100%の全数把握にはならない。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
訪問件数(新生児・未熟児・乳児含む)	目標	—						継続
	実績	1,329件		1,378件	1,275人	1,255人	914人	
平成26年度事業予定	出生数に対し、訪問の割合は8～9割であるため維持を図る。医療機関と連携をとりながら、ハイリスク妊婦のフォローの充実を図る。							

事業番号	28	事業名	各種健診事業の実施				担当課	健康増進課
計画内容	妊婦一般健康診査、乳児一般健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、幼児歯科健診など各種の健診を行います。							
	1歳6か月児健診受診率	平成20年実績	97.1%	平成26年目標	継続			
	3歳児健診受診率	平成20年実績	92.5%	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	妊婦健康診査(14回分)、妊婦歯科健診(1回分)、乳児健康診査(3回分)は受診票を交付し医療機関委託にて実施。 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査は集団で実施。対象児には前月に個別通知している。 幼児歯科健診は2歳から未就学児を対象に予約制で実施している。						
	評価	妊婦健康診査は、健康な妊娠・出産となるよう公費負担している。乳児健診は発達節目に受診できるよう3回分公費負担している。 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査は身体的・精神的発達等の疾病の早期発見、保護者と一緒に児の発達を確認し、日々の悩みに沿いながら子育ての不安を軽減し、子育て支援の場となっている。 幼児歯科健診はむし歯の早期発見・早期治療に結びつき、むし歯予防の知識と技術を習得の場となっている。平成25年度受診者の95.8%は2歳児であり、4.5歳児は全体の1.8%にあたる。3歳児は3歳児健康診査にて受診できる。よって平成26年度からは対象者を絞り、むし歯予防効果の高いフッ化物塗布を加えた事業形態に変更する予定。妊婦歯科健診では妊婦自身の口腔衛生向上をとおして、生まれてくる児の健康管理に結び付けている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1歳6か月児健診受診率	目標	—						継続
	実績	97.1%		96.9%	95.5%	96.6%	95.4%	
3歳児健診受診率	目標	—						継続
	実績	92.5%		91.6%	91.5%	92.4%	91.9%	
平成26年度事業予定	幼児歯科健診以外は変更なく、継続して実施予定。 幼児歯科健診は、9月まで継続。10月より「2歳6か月児歯科健診・フッ素塗布(健康センター)」を開始する。対象は2歳6か月から11か月児とし、内容にフッ素塗布を追加して、よりむし歯予防に効果的な事業形態とする。							

事業番号	29	事業名	訪問指導の実施				担当課	健康増進課
計画内容	育児不安、事業等の事後指導等支援を必要とする家庭への個別支援を実施します。							
	延訪問指導件数	平成20年実績	1,139人	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	保健師が必要に応じて新生児・乳幼児に訪問指導を実施している。(ハイリスク妊婦、育児不安や事業の事後指導等支援を必要とする家庭への個別支援) 養育困難家庭等については、こども家庭支援センターと連携のもと、訪問を実施している。						
	評価	母子保健事業と連携した訪問指導を実施している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延訪問指導件数	目標	—						継続
	実績	1,139人		621件	932件	794件	731件	
平成26年度事業予定	引き続き関係機関と連携しながら訪問指導を実施していく。							

事業番号	30	事業名	育児相談の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	乳幼児期の成長発達を確認し、疾病や異常の早期発見・子育てに関する不安や悩みの軽減のために実施します。							
	相談者数	平成20年実績	677人	平成26年目標	継続			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>■ 育児相談年間24回 ②離乳食クラス年間12回</p> <p>① 市内在住の0歳から未就学児の親子を対象に、身体計測、保健師・助産師による発育・発達確認、育児相談を行っている。また、健康センターでの育児相談では栄養士による栄養相談、歯科衛生士による歯科相談を行っている。さらに、フォロー者に対しては、育児相談での経過観察や保健師等による継続指導につなげています。</p> <p>② 生後4～5カ月の親子を対象に、身体計測、栄養士による離乳食の始め方の講話、離乳食の試食(保護者のみ)、グループワーク、保健師による発育・発達確認、個別相談を行っています。</p>						
	評価	保護者の思いに添いながら、発育や発達の遅れを早期に発見し、継続的なフォローにつなげるかかわりを継続していきます。核家族化が進む中、相談する場があることは安心感にもつながり、育児不安の軽減ともなり、公的な場所で相談をすることで、友人には相談できないことも相談できるという安心感があり、来所者数も近年増えている現状です。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談者数	目標	—						継続
	実績	677人		1,339人	1,221人	1,255人	978人	
平成26年度 事業予定	核家族化等で身近に相談相手がいない母親にとって、育児方法について確認をしたり、相談する場があることは安心感にもつながり、育児不安の軽減ともなる。そのため今後も利用したいという声が利用者からも多い。また、公的な場所で相談をすることで、友人には相談できないことも相談できるという安心感があり来所者数も近年増えている現状があるため、継続して実施予定。(育児相談:健康センター一年12回、公民館年10回、離乳食クラス年12回開催予定)							

事業番号	31	事業名	健康教育の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	子どもや保護者の健康を維持・増進するために、子どもの生活リズム、食生活、歯の健康など身近な健康に関する知識を講義や実践をとおして学ぶ機会をつくります。							
	実施回数	平成20年実績	33回	平成26年目標	継続			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>● 歯のすこやか教室(歯科保健教育) ; 主に、歯垢の染めだし、歯みがき実習。幼稚園14園は保護者教育も含めて実施。</p> <p>・保育園18園:18回(公立7、公設民営5、私立民営6);3～5歳児1,222人</p> <p>・幼稚園14園:16回(園児1,444人保護者698人)</p> <p>・小学校18校:18回(2,5年生, 3,467人) ・中学校8校:8回(1年生1,393人)</p> <p>・子ども発達センター2回(保護者27人・園児25人)</p> <p>・障がい者福祉センター2回(保護者13人・通所者94人)</p> <p>● 1歳児むし歯予防ビバー教室 : 月1回実施。歯みがきを嫌がる時期のむし歯予防のポイントの講話と実習</p> <p>・12回 377人</p> <p>● 子育て応援講座 : 2歳児の食事、おやつについて、2歳児との接し方について</p> <p>・11月に1回実施 34人</p> <p>● 出前講座 : 市民要望により随時受付、要望に即した内容を実施。</p> <p>・栄養2回(35人)、歯科7回(児153人)、保健師・助産師89回(2,690人)</p>						
	評価	むし歯のある児は年々減少していることから、歯科保健教育の効果が出ていると考えます。子育てサロン等の講座依頼が増加傾向にあり、地域の健康づくりを推進しています。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数	目標	—						継続
	実績	33回					175回	
平成26年度 事業予定	引き続き、市内保育園、幼稚園、小学校、中学校への健康教育をすすめます。また、市民の健康にプラスになるよう講座を開催したり、出前講座にも力を入れていきたい。							

(2) 子どもの心と体の健康づくりの支援

事業番号	32	事業名	各種予防接種の実施			担当課	健康増進課	
計画内容	乳幼児・児童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を実施します。予防接種の必要性を周知し、接種勧奨をします。							
	麻しん風しん接種者	平成20年実績	3,342人			平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>予防接種法に基づいて各種予防接種を実施。予防接種法の一部を改正する法律(平成25年法律8号)により予防接種の種類が増加しており、乳幼児の接種においては過密なスケジュールとなっている。予防接種の有効性や接種年齢・接種方法等の周知及び未接種者には再度の個別通知をするなど、十分な周知を図り接種率の向上に努めている。</p> <p>麻しん風しん混合予防接種は個別接種方式により、年間を通して第1期、第2期の2回接種を行っている。</p> <p>平成25年4月から平成26年3月末までの被接種者数 第1期1,240人 第2期 1,528人</p>						
	評価	一定の接種率を維持しており予防効果及び公衆衛生の向上に寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
麻しん風しん 接種者	目標	—						継続
	実績	3,342人		5,512人	5,706人	6,588人	2,768人	
平成26年度 事業予定	<p>予防接種法に基づいて引き続き各種予防接種を実施する。</p> <p>平成26年度は第1期 1,243人 第2期 1,500人の接種を予定する。</p>							

事業番号	33	事業名	フッ化物塗布事業			担当課	健康増進課	
計画内容	幼児期からのむし歯予防、口腔衛生の維持を図ることにより、生涯にわたり、より健康的な生活が送れるよう、フッ素の効果によるむし歯予防を実施します。							
	2歳児フッ素塗布者	平成20年実績	1,562件			平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>対象者は2歳児。</p> <p>フッ素塗布受診券を2枚発行し個別郵送。</p> <p>協力歯科医院にて1回500円で2回塗布する。</p>						
	評価	<p>2歳児の受診券利用率はえ40.5%と低い水準である。</p> <p>この点を解消すべく、平成26年度より事業形態を変更予定。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
2歳児フッ素 塗布者	目標	—						継続
	実績	1,562件		1,281人	1,319人	1,341人	1,218人	
平成26年度 事業予定	<p>幼児歯科健診との事業統合により、現在歯科医院に2回実施しているものを、1回は歯科医院で、1回は健康センターで実施する予定。また現在500円の受益者負担金を無料とする予定。</p>							

事業番号	34	事業名	思春期講座の実施			担当課	健康増進課	
計画内容	思春期講座を実施し、子どもたち自身が自己を肯定し、命を大切にしながら成長できることを支援します。また、保護者に対しては子どもの健康をとりまく状況などについて情報提供及び知識の普及を行います。							
	受講者	平成20年実績	79人			平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	思春期の子をもつ親、思春期を迎える子をもつ親対象に、家庭での子どもとの関わり方について理解を深め、思春期について考える機会とするための講座を実施する。						
	評価	幼稚園・保育園の保護者に就学を見据えた「見守る子育て、親子の力を高めるために～就園・就学のプチ親離れを乗り越える」を開催した。保護者からはわかりやすく参考になったとの意見があったことと、平日開催について曜日の変更の希望もあった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受講者	目標	—						継続
	実績	79人		未実施	49人	45人	30人	
平成26年度 事業予定	思春期を迎え自立した大人となるために親子の関わりを学ぶ機会として講座を実施していく。							

事業番号	35	事業名	生命や健康、性教育についての知識の普及推進			担当課	保健体育安全課	
計画内容	生命、健康、性などについて、子どもが正確な知識を学べる環境づくりを推進します。							
	保健学習の充実(市立全小・中)	平成20年実績	実施			平成26年目標	充実	
	保健だより・学校保健委員会等情報提供(市立全小・中)	平成20年実績	実施			平成26年目標	充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の学校保健全体計画に基づき、発達段階に応じた保健学習や、保健便り等を活用した保健指導を行っている。 浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムの指針における、いのちの教育(性教育)について、幼小中の系統性を重視しつつ各教科領域の関連も加味したカリキュラムへ見直しを行った。 各学校の学校保健委員会において、生命や健康、性教育について保健学習の一環として講演会等を実施している。 <p>■平成26年3月末現在実績値 生命や健康、性についての講演会等実施校 小学校 11校 中学校 2校</p>						
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健年間計画に基づいた保健教育により、発達段階に応じた指導を実施できた。 助産師、産婦人科医、保健センター職員等、地域の専門家と連携することで、性に関する指導を効果的に実施できた。 給食センターの栄養士等の専門家と連携することで、食に関する指導をより効果的に推進できた。 学校保健委員会の開催により、学校職員、学校医、保護者とともに、各学校の健康課題について共通理解を図ることができた。 						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保健学習の充実(市立全小・中)	目標	—						充実
	実績	実施		14校	14校	15校	13校	
保健だより・学校保健委員会等情報提供(市立全小・中)	目標	—						充実
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	
平成26年度 事業予定	引き続き生命、健康、性に関する教育の充実に向け、系統性のある計画に基づき保健学習を実施するとともに、学校保健委員会を活用した性教育や食に関する講演会の充実を図り、生命、健康、性などについて子どもが正確な知識を学べる環境づくりを推進する。							

(3) 安心できる小児医療体制の整備

事業番号	36	事業名	子ども医療費助成の充実	担当課	こども家庭課			
計画内容	中学3年生までの子どもが病気やケガで病院、診療所などで社会保険や国民健康保険により診療を受けたとき、保護者が負担した額(保険診療相当額)を申請により助成します。(小学生以上は通院1回200円、入院1日200円の自己負担あり) また、就学前の乳幼児が県内の病院等で医療を受ける際に、その窓口で保険証と一緒に提示すると医療費が概ね無料になる受給券を申請により発行します。							
	延人数	平成20年実績	91,027人	平成26年目標	150,000人			
	件数	平成20年実績	200,831件	平成26年目標	300,000件			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	健康保険に加入している中学校3年生までの子どもが医療を受けた場合、保険診療相当額を助成している。また、県内の病院等で医療を受ける際、直接窓口にて、医療費助成が受けられる医療費助成受給券を発行している。						
	評価	平成24年12月から受給券対象者を小学校3年生までから中学校3年生まで拡大し、すべての助成対象者が現物給付の方法で医療を受診することが可能になった。利便性の高い現物給付方式の対象者が増えたため、平成25年度については平成24年12月と比べて延人数、件数ともに増加している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延人数	目標	—						150,000人
	実績	91,027人		120,553人	196,197人	220,559人	268,101人	
件数	目標	—						300,000件
	実績	200,831件		326,161件	333,434件	350,244件	377,452件	
平成26年度事業予定	平成26年度も現行の制度を引き続き実施していく。							

事業番号	37	事業名	急病診療所	担当課	健康増進課			
計画内容	夜間や休日等に急病になった人の初期治療・応急手当の為の診療(内科・小児科・外科)を行います。							
	受診者数	平成20年実績	6,124人	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	内科・小児科の初期治療と応急処置を毎日(365日)20時~23時、日曜日・祝日・年末年始(12/30~1/3)10時~17時に行っている。12月末までの患者数 夜間 2,424人 (うち小児科 1,046人)						
	評価	少しずつ受診者は減少しているが、一定の患者数を維持しており、急病時の市民の安心に寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数	目標	—		※小児の受診者数				継続
	実績	6,124人		2,136人	1,833人	1,742人	2,081人	
平成26年度事業予定	継続する。							

事業番号	38	事業名	休日救急歯科診療所			担当課	健康増進課	
計画内容	休日等に急病になった人に対する応急処置を行います。							
	受診者数	平成20年実績	298人		平成26年目標	継続		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	日曜、祝日、年末年始の9時から12時に開院し、歯科救急患者に対応する。 6歳未満の利用者 7人(全体の2.7%) 6-15歳未満の利用者 23人(全体の8.8%)						
	評価							
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数	目標	—		※大人を含む				継続
	実績	298人	272人	265人	290人	298人	262人	
平成26年度 事業予定	継続する。							

3. 子育てを地域で支えるまち うらやす

(1) 子どもの参画とこれから親となる世代の育成

事業番号	39	事業名	小中学生と幼児とのふれあい体験等の実施			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	赤ちゃんに触れ、命や子育ての大切さについて考える機会を持つことを目的に、小中学生と赤ちゃんとのふれあい体験講座等を実施します。							
	実施の受け入れ	平成20年実績	実施			平成26年目標	実施	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	市内小中学校及び高校の社会体験活動の中で、各保育所並びに各幼稚園においてその機会を提供している。						
	評価	これから親となる世代に子育ての楽しさやすばらしさを伝えるため、乳幼児との交流を通じてその機会を持つことができると聞いている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施の受け入れ	目標	—						実施
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	
平成26年度事業予定	引き続き小中学生と幼児とのふれあい体験等を実施する。							

事業番号	40	事業名	【重点】 青少年ボランティア育成事業			担当課	社会福祉協議会	
計画内容	さまざまな経験を通して子どもたちの成長を支援するため、地域における青少年ボランティア育成事業を推進します。							
	夏休み体験説明会 参加者数	平成20年実績	59人			平成26年目標	100人	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動(広報うらやす・ミニコミ誌への掲載、市内中高大学への募集要項配布) ・事前オリエンテーション・修了式の実施 ・市民活動センター(協働推進課)と協力して事業を展開 ・市内保育園・幼稚園・育成クラブ・高齢者施設・障がい者施設へボランティア活動実施 参加者数 66名 受入施設数 22施設						
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターと協力し、広報活動を強化した ・オリエンテーションを保育系と高齢者・障がい者施設希望者に分けて実施し、事前教育を強化 						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
夏休み体験説明会参加者数	目標	—						100人
	実績	59人		62人	88人	61人	66人	
平成26年度事業予定	市民活動センターとさらに協力し、参加者数を増加させる取組みを行う。							

事業番号	41	事業名	【重点】 青少年交流施設(新浦安カルチャープラザ)における青少年の意欲の創出促進のための事業の充実				担当課	青少年課
計画内容	青少年の社会参加への意欲を創出するため、各種体験教室等を実施するとともに、青少年の自主的活動への積極的な支援を図る。							
	延利用者数	平成20年実績	28,117人		平成26年目標	30,000人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>青少年の居場所作りとして、マーレ内3階部分に新浦安カルチャープラザを設置し、放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に 参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開している。</p> <p>■平成26年3月末現在実績値 34,655人 ※一般利用者除く</p>						
	評価	講座で使用していない部屋を無料で学習室として提供したり青少年広場の遊具を充実させるなど青少年が、気軽に集える空間を作り、利用促進を図ることができた。						
目標と実績値		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
延利用者数	目標	—					30,000人	
	実績	28,117人		30,033人	29,989人	33,469人	34,655人	
平成26年度事業予定	引き続き貸室の無料キャンペーンを実施するなど、利用者の確保に努める。またイベントについても好評なものは引き続き実施し、新規に実施するものは、今までの経験を生かしてより魅力的なものになるよう工夫していく。							

事業番号	42	事業名	【重点】 青少年交流活動センター(うら・らめーる)における青少年の自立を促進するための事業の充実				担当課	青少年課
計画内容	青少年の交流活動を通じて、青少年の健全育成を図るため、宿泊や創作、環境等の体験学習活動を展開し、青少年の自立を促進します。							
	参加者数	平成20年実績	132人		平成26年目標	300人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>指定管理者の提案内容に基づき、青少年の健全育成の促進を図るため、スポーツや文化、季節の各種事業を実施した。</p> <p>■平成26年3月末現在実績値 932人</p>						
	評価	今年度については、各種事業の見直しを図り、主催事業を実施してきましたが、参加者数を増員することができなかった。事業内容を検証し、次年度につなげていきたい。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	目標	—						300人
	実績			464人	2,391人	3,203人	932人	
平成26年度事業予定	利用者ニーズをとらえながら、新たな事業企画を行っていく。							

事業番号	43	事業名	ジュニアリーダー研修会によるリーダー育成の実施		担当課	青少年課		
計画内容	小学4年生から6年生を対象に、リーダーとして必要な行動力・受容力・表現力を身につけていくことを目的とした研修を行います。							
	研修修了者	平成20年実績	33人		平成26年目標	継続		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>小学4年生から6年生を対象として、リーダーとしての資質の向上を図り、リーダーに必要な知識・技術を習得するための研修会を実施している。</p> <p>目標 (1)表現力を身につける (2)受容力を身につける (3)行動力を身につける</p> <p>・全8回の研修会 ・研修生31名(男子10名、女子21名)</p> <p>●平成26年3月末現在実績値 研修修了者 26名</p>						
	評価	ブラックシアターやレクリエーションゲーム、宿泊研修等の様々な研修において、研修内容の自己評価を通じて、少しずつではあるが、各児童とも目標である表現力・受容力・行動力について向上が図れた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
研修修了者	目標	—						継続
	実績	33人		24人	24人	22人	26人	
平成26年度事業予定	市内小学生(4年生～6年生)を対象に、全8回の研修、定員32名を予定							

事業番号	44	事業名	【重点】 こども版広報うらやすの発行		担当課	広聴広報課		
計画内容	市内小・中学校長から推薦された児童・生徒からなる「こども記者」が取材・写真撮影・原稿作成・編集を行い、市立小・中学校に配付します。							
	浦安のことや市の仕事などを、こども記者がこども目線で紹介することで、住んでいるまちに興味を持ってもらうことを目的として発行しています。							
発行部数・回数		平成20年実績	17,000部×2回		平成26年目標	17,000部×2回		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>市内各小中学校から選出してもらう「こども記者」も各校を一巡し、「こども広報うらやす」の存在が一定の認知度を得たことから、こどもたちに対する通常版の「広報うらやす」への橋渡しができたと判断、平成24年度から広報紙内に出てくるわかりにくい言葉を親子の対話形式で説明していくなど、こども向けのページを「広報うらやす」に盛り込んで、家族で読んでもらうことができる「広報うらやす」づくりを推進している。25年度は、これまでに、5/1・6/1・8/1・9/1・11/15・12/15・2/15・3/15の計8号でこども向けページを作成した。</p> <p>※下記の平成24年度・25年度の発行部数・回数の実績値は、こども向けページの掲載回数を指す。</p>						
	評価	こども向けの記事を読んでもらうことで、こどもたちに住んでいるまちへの興味を持ってもらうという本事業の目的は、達成の域に達していると考えている。今後も、適宜こども向けのページ作成を行い、掲載機会(働きかける回数)についても、可能な限り増やしていきたい。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
発行部数・回数	目標	17,000部×2回	17,000部×2回	17,000部×2回	17,000部×2回	17,000部×2回	17,000部×2回	17,000部×2回
	実績	17,000部×2回	17,000部×2回	17,000部×2回	18,000部×2回	58,900部×6回 (※)	57,650部×8回 (※)	
平成26年度事業予定	引き続き、広報うらやす内で、こども向けページの掲載をしていく							

事業番号	45	事業名	青少年活動センター(うら・らめーる)の充実			担当課	青少年課	
計画内容	指定管理者における運営について、提案内容の進行状況を見定めながら、利用の促進や市民サービス等について協議を図りながら事業を推進していきます。							
	延利用者数	平成20年実績	36,316人		平成26年目標	38,000人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	運営については、指定管理者の提案書に基づき運営されている。平成25年度から新たな指定管理者となり、食事の改善など運営の見直しを進めた。 ■平成26年3月末現在実績値 利用者総数 31,120人						
	評価	宿泊者が増加傾向となってきたが、事業参加者の減少がみられるため、市民ニーズを踏まえ主催事業の充実を図りたい。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延利用者数	目標	—						38,000人
	実績	36,316人		33,508人	33,580人	35,892人	31,120人	
平成26年度事業予定	施設利用者の増加はもとより、年間40回以上の主催事業を実施し、利用促進を図る。							

事業番号	46	事業名	【重点】青少年リーダー養成事業			担当課	青少年課	
計画内容	中学生を対象に、青少年健全活動の中心となるリーダーを養成し、青少年健全育成関係団体と協力しながら青少年の健全育成活動の推進を図ります。							
	講演会延参加者数	平成20年実績	H21より実施		平成26年目標	200人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	研修を通じて青少年リーダーとして必要な技能を修得させ、体験活動の中から豊かな心を育み、リーダーとしての資質の向上を図ることで青少年健全育成活動における中学生リーダーの育成を図った。 ■平成26年度3月末実績値 会員数28名 実施期間 平成25年5月から平成26年3月(11回開催)※中止1回 述べ受講者数 97名						
	評価	新規の入会者が7名と少なかったが、中学3年生が会員をリードする面も多くみられ、研修生が一体となった研修ができた。引き続きプログラムの見直しを図りながら、会員の確保を図っていく。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
講演会延参加者数	目標	—						200人
	実績	H21より実施	93人	53人	61人	123人	81人	
会員数	目標	—						
	実績			29人	28人	29人	28人	
平成26年度事業予定	引き続き、主に市内の中学生を対象として、年間10回程度の研修会を予定。							

事業番号	47	事業名	青少年館活動事業の充実			担当課	青少年課	
計画内容	指定管理者の協定期間満了に伴う新たな指定管理者の指定を通じて、現状の改善を図りながら、より一層の事業の充実を進めます。							
	延利用者数	平成20年実績	40,630人		平成26年目標	42,000人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	指定管理者の提案に基づき、管理運営を行っている。 また、利用者アンケートを通じて、利用者ニーズを取り入れた事業等を実施し、来館利用者の内訳(中学生の増加)から青少年館本来の目的であります中高校生の居場所として確立しつつある。 ■平成26年3月末現在実績値 利用者総数 45,980人						
	評価	指定管理者の提案内容に基づき適切な管理運営を行っている。主催事業については、利用者に定着してきたものもあり、参加しやすいように努めている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延利用者数	目標	—						42,000人
	実績	40,630人		39,491人	43,225人	45,191人	45,980人	
平成26年度事業予定	各種体験事業を実施し健全育成の推進を図るとともに、平成26年度より開館時間一部延長して運営を行う。 (日曜、祝日17時閉館を20時30分まで延長する。)							

事業番号	48	事業名	青少年活動支援の推進			担当課	青少年課	
計画内容	青少年活動を実施する団体に対して、引き続き補助金交付を行い、側面からの活動支援を実施します。							
	交付団体数	平成20年実績	42団体		平成26年目標	45団体		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	社会教育関係認定団体に補助金の交付を通じて、青少年団体の活動支援を行っている。 浦安市子ども会育成連絡協議会、子ども会39団体、ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、浦安市リーダーズクラブ 総計45団体						
	評価	各青少年団体は少子化の影響もあり、活動に苦慮しているところもみられるが、それぞれが地域に貢献する事業や青少年事業への協力を通じて、地域の子どもの健全育成を推進している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
交付団体数	目標	—						45団体
	実績	42団体		43団体	46団体	45団体	45団体	
平成26年度事業予定	社会教育関係認定団体に補助金を交付するとともに、事業協力を行いながら、地域における青少年の健全育成の活動の推進を図る。							

事業番号	49	事業名	【重点】浦安市教育ビジョン(浦安市教育振興基本計画)策定事業			担当課	教育政策課	
計画内容	義務教育を対象とする浦安市教育ビジョンについては、平成21年度に浦安市教育ビジョン策定検討委員会から答申を受け、平成22年度に教育委員会議での協議を経て策定予定です。							
	計画策定・推進	平成20年実績	H21より実施		平成26年目標	推進		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	浦安市教育ビジョンは平成22年度から平成31年度までの10年間を見通して作成している。平成26年度は計画期間の中間年度であることや基本計画の終了年度であることから、平成25年度は学識経験者の助言等を得ながら教育ビジョン見直しの視点や手順を始め教育ビジョンの評価の見直しなどについて検討を行った。						
	評価	今後、教育ビジョンの見直しを具体的に検討を進めて行く上での参考資料を得ることができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
計画策定・推進	目標	—						推進
	実績	H21より実施		推進	推進	推進	推進	
平成26年度事業予定	平成25年度の検討内容を踏まえ、26年度は市民を含めた検討委員会を設け教育ビジョンの見直しについて検討を進めるとともに、27年度以降の後期第基本計画を策定する。また、教育ビジョンの冊子や概要版を作成し保護者や教職員に配布していく。							

(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備

事業番号	50	事業名	市立幼稚園3歳児保育の実施			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	幼児期の学びの環境を充実するために継続していきます。							
	実施園数	平成20年実績	3園			平成26年目標	5園	
	定員	平成20年実績	120人			平成26年目標	250人	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成24年度に引き続き、5つの公立幼稚園において3歳児保育を実施している。 平成26年3月末日 5園 249人 3歳児保育定員 250人						
	評価	3歳児保育の実施にあたって必要な職員を確保し、保育を推進している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施園数	目標	—						5園
	実績	3園		5園	5園	5園	5園	
定員	目標	—						250人
	実績	120人		250人	250人	250人	250人	
利用者数	目標	—						
	実績			242人		249人	249人	
平成26年度 事業予定	引き続き市立幼稚園3歳児保育を実施していきます。							

事業番号	51	事業名	小学校及び中学校の整備			担当課	学務課 (教育施設課)	
計画内容	「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」を推進するため、学校適正配置等推進委員会を設置し、方針を実施するための手順や、スケジュール等の検討、推進にあたっての課題や問題点を整理検討します。							
	検討委員会報告	平成20年実績	基本方針の策定			平成26年目標	方針の推進	
	学校数(小/中)	平成20年実績	17校/8校			平成26年目標	18校/9校	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	入船北・入船南小学校の統合に向けて、入船地区学校統合準備委員会を3回、入船地区学校統合懇談会を3回開催した。 新設する高洲中学校の開校に向け、「仮称第9中学校開校準備委員会」を設置し、会議を3回開催し、各課の進捗状況や保護者説明会の準備等を検討した。10月11日に在校生保護者を対象に「通学区域変更に伴う説明会」を開催。2月15日に新入学生の保護者対象に「入学説明会」を開催。						
	評価	入船地区学校統合懇談会では、学校関係者や地域の代表の方から統合に向けた取組について理解を得るとともに、新しい学校づくりへの意見等を伺うことができた。高洲中学校の開校に向けて、教委内の連携が図られるとともに、保護者の理解を得ることができた。						
目標と実績値			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
検討委員会 報告	目標	—						方針の推進
	実績	基本方針の策定						
学校数(小/ 中)	目標	—						18校/9校
	実績	17校/8校		18校/8校	18校/8校	18校/8校	18校/8校	
平成26年度 事業予定	入船地区学校統合懇談会を開催する。 入船地区学校統合と小中一貫・連携教育の推進に向け、施設の改修を行う。							

事業番号	52	事業名	少人数教育の実施				担当課	指導課
計画内容	市立小・中学校全校に少人数教育推進教員を各校1～5名配置する(学務課)。県費教員と連携し、学習指導や諸活動にきめ細やかな指導を推進していく。また、当該教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を後期は2回開催する。さらに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しを持った計画や取り組みができるようにするとともに、その進捗状況を把握できるようにする。							
	少人数教育推進教員人数	平成20年実績	69人		平成26年目標	78人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	市立小・中学校26校全校に、「少人数教育推進教員」を各校1～4名、計63名(中途退職や中途採用を含む)を配置した(学務課)。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細やかな指導の推進に貢献している。 また、「少人数教育推進教員」の教育活動の実践力向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を年間6回開催するとともに、当該教員に各学期に実践計画書及び実践報告書の作成を求め、PDCAサイクルにより、個に応じた指導を計画的・継続的・効果的に取り組めるようにしている。実践計画書及び実践報告書については提出を求め、その進捗状況を把握できるようにしている。						
	評価	配置した「少人数教育推進教員」の実践報告の中で、少人数による授業を行った(※「よくやった」及び「やった」という当該教員は市立小・中学校全体の7割を超えており、きめ細かな指導の充実が図られている。昼休みや放課後等に、補充的な学習も行われ、授業以外の学習支援にも成果がみられる。生活面での指導においても、「自ら適切な服装や言葉遣い、行動をすることで子どもたちの手本となるように努めた」「子どもと積極的にコミュニケーションをするように努めた」「子どもたちの悩みや困り感に寄り添い、関係職員と連携しながら解決に努めた」という当該教員はほぼ100%であり、積極的な支援が行われている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
少人数教育推進教員人数	目標	—						78人
	実績	69人		66人	65人	59人	63人	
平成26年度事業予定	各学校の実情に応じて、単元ごとや学習のねらいに応じた指導形態の工夫、効果的な指導方法、教員間の連携の仕方などについてさらに検討していく。学校訪問や各種研修会を通して、ねらいや実態に応じたより効果的な指導方法について指導・助言するとともに、当該教員の教育活動の実践力向上を図る。							

事業番号	53	事業名	小規模学校選択制度				担当課	学務課
計画内容	「自分にあった教育を受けたい」「子どもに適した教育を受けさせたい」という希望に応えるため、また、各学校がより良い教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを進めていく環境をつくるため、通学区域制度を弾力化し、入学先学校を希望できる小規模学校選択制度を実施する。							
	学校選択希望人数	平成20年実績	230人		平成26年目標	230人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	平成26年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生全員を対象とする。 1 対象者へ学校紹介パンフレット発送(小学校 約1,600人、中学校 約1,900人) 2 学校公開日設定(10月中、約3週間) ※受入可能校 小学校:浦安小、富岡小、美浜南小、入船北小、明海小 中学校:見明川中、美浜中 3 平成25年度選択制度利用者 小学校 32名、中学校 132名 対象:平成26年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生						
	評価	本事業は平成15年度より実施しており、児童・生徒や保護者が抱く、自分に適した教育を受けたい或いは子どもに適した教育を受けさせたいという希望に応えるため、学校選択の機会を拡大することを目的としている。その目的は周知されており、各学校や保護者の理解も得られているため、利用率は毎年安定している。今後の受け入れ学級数については学校ごとの教室数等を勘案しながら決定していく。 また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを推進していくというねらいも、学校紹介パンフレットの作成や学校公開の実施等を通して浸透してきている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学校選択希望人数	目標	—						230人
	実績	230人	196人	182人	148人	234人	164人	
平成26年度事業予定	小規模学校選択制度							

事業番号	54	事業名	キャリア教育の推進			担当課	指導課	
計画内容	児童生徒のしっかりとした勤労観・職業観を形成し、社会の一員としての資質の育成のために、児童・生徒の発達段階に応じた組織的、系統的なキャリア教育を推進しました。市立小・中学校27校に、1名ずつのキャリア教育担当者(主任)を設置し、年間3回のキャリア教育推進委員会を開催し、国の方針の変化を伝達するとともに、キャリア教育の目的、学校の教育活動全体で取り組むための指導計画の作成や環境整備等のための、実践報告を交えた会議を実施しました。また、異校種間や家庭・地域・社会・企業等の関係機関、NPO等との連携が円滑に行われるために、学校支援ボランティアを組織し、積極的な活用を促しました。							
	小学校におけるキャリア教育の実践状況	平成20年実績	17校		平成26年目標	18校		
	中学校におけるキャリア教育の実践状況	平成20年実績	8校		平成26年目標	9校		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	26校すべての小中学校で、キャリア教育の取り組みがなされた。各小中学校では、キャリア教育担当教員を対象にキャリア教育推進委員会を3回実施した。 第1回目 平成25年5月10日実施 参加者26名 ○中学生の職場体験、小学生の職場見学を総合的な学習として行う場合の注意点並びにこれらの活動への学校支援ボランティアの活用について伝達した。 ○今年度の取り組みのために作成された各校の全体計画と年間指導計画を持ち寄り、中学校区に分かれ情報交換を行った。 第2回目 平成25年7月29日実施 参加者25名 ○キャリア教育への造詣の深い講師を招へいし、キャリア教育のねらいや実践例、地域や社会、企業等との連携の大切さについて学んだ。 第3回 平成26年2月21日実施 参加者26名 ○今年度の取り組みの振り返りと来年度の取り組みへ向けての情報交換を行った。						
	評価	キャリア教育全体計画はすべての小中学校で作成され、学校でのキャリア教育への理解が図られている。今年度より、ほとんどの小中学校に学校支援ボランティアが配置され、職場体験や地域との交流活動等のコーディネートを行った。これにより、児童生徒の活動の場が広がり、様々な体験活動を通し、基本的な生活習慣や責任を持って役割を果たす力、社会生活上の決まりを守る態度などを身につけることができた。小学校高学年で職場見学やゲストティーチャーを学校へ招聘しての講演会や体験活動、中学校での職場体験が積極的に実施された。また、上級学校調べ・見学を実施し、進路について体験的に学ぶ機会を設けている学校もあった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校におけるキャリア教育の実践状況	目標	—						18校
	実績	17校		18校	18校	18校	18校	
中学校におけるキャリア教育の実践状況	目標	—						9校
	実績	8校		8校	8校	8校	8校	
平成26年度事業予定	小中連携、小中連携、家庭・地域・社会との連携、それぞれの地域性を踏まえた活動内容や教科等でのキャリア教育の取り組みについて、指導内容、指導計画の工夫改善を検討していく。そのために、学校と地域をつなぐ学校支援コーディネーターの活用を促していく。学校訪問や担当者会議を通し、事例紹介や情報交換を行い、さらに充実を図っていく。また、小・中学校でのキャリア教育への理解が図られ、その取り組みが定着してきたことを受け、年3回実施してきた会議を2回に変更し、担当者以外の教員が参加できる研修会を1回開催する。							

事業番号	55	事業名	スマートコンシューマー育成講座 ・事業番号56「消費生活講座」と統合			担当課	消費生活センター	
計画内容	暮らしにかかわるテーマを取り上げて実施し、消費生活に関するトラブルの未然防止や解決方法について、親子で話し合うきっかけづくりとなる講座を実施します。							
	参加者数	平成20年実績	86人		平成26年目標	150人		
	開催回数	平成20年実績	5回		平成26年目標	6回		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	※事業番号56「消費生活講座」と事業を統合したため、平成25年度実施状況及び評価は「消費生活講座」を参照。						
	評価							
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加者数	目標	—						150人
	実績	86人		64人	24人	※56「消費生活講座」に統合		
開催回数	目標	—						6回
	実績	5回		3回	1回	※56「消費生活講座」に統合		
平成26年度事業予定	※事業番号56「消費生活講座」と事業を統合したため、平成26年度事業予定は「消費生活講座」を参照。							

事業番号	56	事業名	消費生活講座(旧:夏休み親子講座) ・事業番号56「夏休み親子講座」と統合				担当課	消費生活センター
計画内容	現在の消費者問題を捉え、暮らしにかかわる身近なテーマを取り上げて消費生活講座を実施し、消費生活に関するトラブルの未然防止や解決方法について、学習する機会を提供していく。							
	参加者数	平成20年実績	25人		平成26年目標	150人		
	開催回数	平成20年実績	1回		平成26年目標	5回		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成25年度は5回実施した。						
	評価	今年度は参加者数が前年度を上回っている。講座内容が現在の消費者問題意識と合っていたものと考えている						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加者数	目標	—						150人
	実績	25人		120人	111人	73人	123人	
開催回数	目標	—						5回
	実績	1回		4回	5回	4回	5回	
平成26年度事業予定	今後も、市民ニーズに応えながら各地域に出向き実施して行く。							

事業番号	57	事業名	消費生活出前講座				担当課	消費生活センター
計画内容	各公民館や大学などの集まりに、直接消費生活相談員が出向き、消費者トラブルなどのテーマで出前講座を実施することにより、様々な悪質商法やその対処法の知識を身につけてもらい、かしこい消費者を育成します。							
	参加者数	平成20年実績	1,843人		平成26年目標	1,800人		
	開催回数	平成20年実績	20回		平成26年目標	20回		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成25年度は各公民館や明海大学などからの出前講座の要請が多くあった。						
	評価	各公民館で毎年実施している「公民館文化祭」で消費者問題やトラブル等防止対策及びセンターの紹介など啓発コーナーを設け、PRできたことが良かったものと考えている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加者数	目標	—						1,800人
	実績	1,843人		1,591人	1,670人	1392	1,412人	
開催回数	目標	—						20回
	実績	20回		10回	15回	5回	12回	
平成26年度事業予定	今後も開催予定。							

事業番号	58	事業名	消費生活展				担当課	消費生活センター
計画内容	消費生活に関する情報を提供するとともに、身近な問題を取り上げパネルなどの展示により、消費者保護と啓発を図ります。市民まつりの中で実施し、パネル展示、啓発パンフレットの配布、手作り体験コーナーやクイズラリーによる景品の配布を行います。 来場者の50%近くは子どもであることから、手作りコーナーやクイズラリーを実施し、友達同士や親子で楽しみながら、消費生活に対する知識を深める場として開催します。							
	参加者数	平成20年実績	1,129人		平成26年目標	1,500人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	今年度の実施は「市民まつり」への出展とし、「消費生活展」への参加者数を1,500人見込んでいた。しかし、雨天であった為に351人と予定を下回った状況であった。						
	評価	雨天で来場者が少ない中、351人の方に啓発が出来たのは、成果であったと考えている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加者数	目標	—						1,500人
	実績	1,129人		1,443人	1,919人	121人	351人	
平成26年度 事業予定	今後も、実施予定							

事業番号	59	事業名	中学3年生・高校3年生等へ啓発リーフレット配布			担当課	消費生活センター	
計画内容	市内の中学3年生・高校3年生全生徒に、悪質商法や携帯電話トラブルの啓発リーフレットを配布します。同時に、若者の相談の現状や出前講座の案内を行い、パンフレットの配布と共に出前講座の実施を推進します。							
	学校数・配布数	平成20年実績	14校 2,347枚		平成26年目標	市内全校		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	市内の中学校11校、高校4校の新3年生全生徒に消費生活に係るトラブル防止のための啓発リーフレットを配布した。 また、各中学及び高校宛てに出前講座の案内を配布した。						
	評価	これから進学や社会へと出ていく生徒に対する啓発は重要であり、成果があると考えている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学校数・配布 数	目標	—						市内全校
	実績	14校 2,347枚		16校 4,315枚	15校 2,762枚	全校 3,051枚	全校 3,009枚	
平成26年度 事業予定	市内の中学3年生及び高校3年生全生徒に配布予定							

(3) 地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上

事業番号	60	事業名	【重点】 多世代交流事業の実施				担当課	青少年課 保育幼稚園課
計画内容	(青少年課) 子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。							
	(保育幼稚園課) 健全な社会環境の整備に向け、子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。							
	実施クラブ数	平成20年実績	5クラブ		平成26年目標	6クラブ		
	事業受け入れ	平成20年実績	実施		平成26年目標	実施		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	(青少年課) 多世代交流事業をきっかけに、各小学校地区児童育成クラブと地域の老人クラブなどとの交流活動が行われてきたことから、市の事業としてではなく各クラブの行事として実施していくこととしたため、平成24年度から事業を廃止した。						
	評価	(保育幼稚園課) 健全な社会環境の整備に向け、子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化に取り組んでいる。						
	評価	(保育幼稚園課) 公立保育所において、市内小中学校及び高校の社会体験活動の場として提供している。年2回程度実施する。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施クラブ数	目標	—						
	実績	0		実施	実施	廃止	廃止	6クラブ
事業受け入れ	目標	—						
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	実施
平成26年度 事業予定	(保育幼稚園課) 引き続き多世代交流事業を実施する。 (青少年課) 26年度以降も実施の予定はない。							

事業番号	61	事業名	【重点】 地域・学校保健連絡推進部会の開催				担当課	健康増進課
計画内容	子どもの生きる力や情報を選び取る力、自分の意志を伝える力等を育むため、家庭・地域・学校が一体となって取り組むための方向性や内容を検討する「地域・学校保健連絡推進部会」を開催します。							
	開催回数	平成20年実績	2回		平成26年目標	2回		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成24年度以降会議の開催はなし。						
	評価	子どもの健康づくりには、子ども・保護者に関わる部署の横断的な体制で一貫した支援が必要である。「健康うらやす21」2次計画推進の中で再構築を検討。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	目標	—						
	実績	2回		1回	1回	0回	0回	2回
平成26年度 事業予定								

事業番号	62	事業名	教育フォーラム、教育講演会の実施			担当課	生涯学習課	
計画内容	未来を担う子どもの教育について、学校・家庭・地域・行政で共に考えるフォーラムや教育講演会を実施します。							
	教育フォーラム開催回数	平成20年実績	1回		平成26年目標	1回		
	教育講演会開催回数	平成20年実績	1回		平成26年目標	—		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○日 時 平成25年8月2日(金) 午後2時から4時</p> <p>○場 所 市民プラザWave101 大ホール</p> <p>○テーマ 『絆 生涯学習による人づくり・まちづくり』</p> <p>○参加者数 217人</p> <p>○内 容</p> <p>1. 開会セレモニー Romany(スティルトダンス)を披露</p> <p>2. 第1部 基調講演 演題『学びあい、支えあう地域の絆づくりのために』 講師 笹井 宏益 氏 (国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長)</p> <p>3. 第2部 パネルディスカッション テーマ『市民の力を地域の力へ』～地域の教育力を生かした生涯学習の取り組み～ コーディネーター: 笹井 宏益 氏 パネリスト: 和田 玲子 氏 (うらやす子育てミーティング主宰) 松浦 規子 氏 (美浜中学校支援コーディネーター、社会教育委員) 山崎 勝哉 氏 (ぶらり浦安ガイド代表)</p>						
	評価	定員を上回る参加者があったことやアンケート結果から、学ぶことや地域交流の大切さを感じてもらえた。また、ボランティア活動などによる地域活動や地域参加へのきっかけづくりの機会になったものと考えます。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
教育フォーラム開催回数	目標	—						充実
	実績	1回		—	1回	1回	1回	
教育講演会開催回数	目標	—					廃止	—
	実績	1回		—	—	1回	—	—
平成26年度事業予定	引き続き、地域課題(子育てや高齢化社会への対応等)をテーマに取り上げて、生涯学習フォーラムを年1回開催します。							

事業番号	63	事業名	ブックスタート事業の実施			担当課	中央図書館	
計画内容	出生届受理の際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。							
	延べ参加者数	平成20年実績	879人		平成26年目標	900人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>市民課で出生届受理の際に記念品として絵本を配布。その後、健康増進課から各家庭への通知の際に事業の案内をあわせて行い、生後4ヶ月以降の親子を対象に中央図書館でブックスタート絵本講座を実施した。講座では、絵本の与え方や楽しみ方を伝えるとともに簡単なわらべうた遊びも紹介した。</p> <p>平成25年度 ブックスタート絵本講座実施状況 実施回数 48回(毎月第2金曜午後 地域ごとにグループに分け4回実施) 参加人数 649人</p>						
	評価	出生数は平成24年よりはやや増加しましたが、目標値には届いていない。しかし、最近では父親や祖母の参加が増える傾向があり、子どもの周辺にいる大人へに、広く読書の大切さを伝えることが進んでいる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延べ参加者数	目標	—						900人
	実績	879人	833人	764人	664人	659人	649人	
平成26年度事業予定	継続して同事業を進めていく。							

事業番号	64	事業名	児童集会事業の実施				担当課	中央図書館																				
計画内容	児童を対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」などを実施します。また、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施します。																											
	延べ参加者数	平成20年実績	7,730人		平成26年目標	8,000人																						
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	子ども及び、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象とした事業を実施した。 平成25年度 児童集会事業実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>22回</td> <td>137人</td> </tr> <tr> <td>えほんのじかん</td> <td>721回</td> <td>6,494人</td> </tr> <tr> <td>わらべうたの会</td> <td>24回</td> <td>364人</td> </tr> <tr> <td>絵本のよみきかせ講座</td> <td>2回</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ絵本講座</td> <td>6回</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>としょかんの冬のおたのしみ会</td> <td>2回</td> <td>175人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他 科学で遊ぼう2回-68人、夏休みおはなし会10回-76人、 県民の日えほんのじかんスペシャル9回-206人、 分館えほんのじかんスペシャル8回-171人、 子どもの本の講座1回-100人、ぬいぐるみおとまり会1回-35人、 図書館まつりえほんのじかん・おはなし会3回-58人、図書館クラブ8回-57人、 冬のおはなし会2回-25名、新春えほんのじかん2回-32名 お父さんの絵本講座1回-4名、としょかんのちいさなおはなし会7回-142名、 春休みえほんのじかん2回-34名)</p> <p>合計 833 回-8,397人</p>							実施回数	参加人数	おはなし会	22回	137人	えほんのじかん	721回	6,494人	わらべうたの会	24回	364人	絵本のよみきかせ講座	2回	53人	親子で楽しむ絵本講座	6回	166人	としょかんの冬のおたのしみ会	2回	175人
		実施回数	参加人数																									
おはなし会	22回	137人																										
えほんのじかん	721回	6,494人																										
わらべうたの会	24回	364人																										
絵本のよみきかせ講座	2回	53人																										
親子で楽しむ絵本講座	6回	166人																										
としょかんの冬のおたのしみ会	2回	175人																										
評価	平成25年度は、開館30周年記念事業として、定期的な開催事業以外にも「ぬいぐるみおとまり会」や「図書館クラブ」を開催し、多くの市民が参加した。これらの事業は、図書館に来館し、読書に親しむ契機となっている。																											
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																				
延べ参加者数	目標	—						8,000人																				
	実績	7,730人	8,472人	7,964人	6,695人	7,798人	8,397人																					
平成26年度 事業予定	継続して同事業を進めていく。																											

事業番号	65	事業名	図書館における児童サービス事業の実施				担当課	中央図書館
計画内容	子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)に子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出、紹介や読書相談を行ないます。また、ホームページを活用して、推薦図書の紹介等を行ないます。学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出や、それぞれの施設に向いての絵本のよみきかせ、ストーリーテリング(おはなし)、ブックトーク(本の紹介)などを実施するとともに、職業体験等の受入を行ない、図書館の利用を促します。子どもと読書に関する研修等の講師派遣も行ないます。							
	児童書貸出冊数	平成20年実績	499,333冊		平成26年目標	500,000冊		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成22年度末で518,428冊を達成したが、東日本大震災以降、震災に伴う休館もあり貸出が一時低下した。現在は回復傾向にあるが、児童数の減少の影響で、まだ震災前の水準には戻っていない。学校等への類縁機関に対しては、図書館からの派遣とともに、保育園・幼稚園の園児の来館利用を促すなど、類縁機関との強化にも努めている。また、読書離れが進みがちな中学生への働きかけの強化として、新中学一年生への利用案内の配布などを行った。						
	評価	貸出は基本的な業務であり、類縁機関との連携についても継続していく。今までのサービスを強化するとともに、さらにきめ細かい働きかけを、子どもと保護者に対して行なっていく。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
児童書貸出冊数	目標	—						500,000冊
	実績	499,333冊	496,759冊	518,428冊	472,439冊	494,228冊	458,004冊	
平成26年度 事業予定	継続して同事業を進めていく。							

事業番号	66	事業名	郷土博物館における幼児・児童、生徒対象事業の充実			担当課	郷土博物館	
計画内容	幼児、児童、生徒対象事業を企画・実施し、子どもが体験を通じ向学心を育むための各種事業の充実を図ります。							
	延参加者数	平成20年実績	16,341人		平成26年目標	20,000人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>団体利用(8,312人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園: 博物館展示の見学・昔遊びや、べか舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。 ○小学校: 昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔簀編みなど。 ○中学生: 職場体験への協力など。 <p>一般利用(5,040人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昔遊びと生活体験: ベーゴマ、こま、竹馬、お手玉、わらべうた ○体験教室: 勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、ぼったら体験、境川乗船体験 など ○季節の行事体験: 七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカシケ 						
	評価	合計人数では、昨年より減少したが、子どもチャレンジなど、完全な子ども向け事業の参加者が平成24年の303人より大幅に増え、480人の参加があった事などから、事業によっては増加傾向のものもあるため、逐一見直しをしながら、継続していきたい。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延参加者数	目標	—						20,000人
	実績	16,341人		17,773人	16,191人	18,170人	13,352人	
平成26年度 事業予定	今後も逐一見直しをしながら、事業を継続していく。							

事業番号	67	事業名	土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	各公民館において、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を企画・実施し、子どもの「生きる力」を育むための各種教室や交流事業を実施します				
	事業数	平成20年実績	66事業	平成26年目標	70事業
平成25年度 実施状況と 評価	高洲公民館	実施状況	①学校完全週5日制に対応した事業件数:5事業63回(4~3月実施分) 高洲ペーゴマ大会(4回)・コーディネーショントレーニング(1回)・小学生クライミング体験会(30回)・クライミング体験会(10回)・クライミング初心者講習会(18回) ②長期休み期間等に対応した事業の実施:19事業33回(4~3月実施分) 夏休み楽しく作文を学ぼう1(1回)・夏休み楽しく作文を学ぼう2(1回)・夏休み クライミングウォールに挑戦!!(4回)・春休み!クライミングに挑戦(2回)・夏休み!ピピップスペシャル(1回)・夏の子ども環境講座1(1回)・夏の子ども環境講座2(1回)・夏の子ども科学講座1(2回)・夏の子ども科学講座2(2回)・エスレにプラネタリウムがやってくる!!(3回)・うちわに絵手紙を描こう!(1回)・夏休みこども手芸教室(1回)・陶芸でオカリナを作ろう(5回)・エスレ高洲の夏のお話~コワ~イお話もあるよ(1回)・エスレ★キッズシアター(2回)・春の子ども環境講座1(1回)・春の子ども環境講座2(1回)・春の子ども科学講座1(1回)・春の子ども科学講座2(1回)・春休みクライミングに挑戦(1回)		
		評価	夏休み期間に実施した事業では、子どもの想像力を養い、達成感を味わうことを目的としたモノづくりの事業を行い、宿題になるものもあったので好評だった。		
	中央公民館	実施状況	①実績件数と見込み件数:20事業33回(実施見込み3事業含む) ②実績内容:サマースクールin中央①(1回)・サマースクールin中央②(1回)・体育の時間を楽しもう(2回)・くるくるくるを学ぼうサイエンスショー「くるくる」(1回)・「手造りソーセージ教室」~豚の命をいただく~(1回)・ロボット開発について学ぶ~お仕事ロボットは大活躍~(2回)・中央公民館お泊り会 in 県民の日(1回)・中央公民館お泊り会 in summer(1回)・「雑誌記者から学ぼう~記者のお仕事~」(1回)・「航空管制官さんから学ぼう~空の安全を守るお仕事~」(2回)・CM制作のお仕事~テレビのお仕事現場編~(3回)・車両基地を見学に行こう2(2回)・「警察官のお仕事~犯罪捜査をしている方から学ぼう~」(1回)・「子どものためのプレゼンテーション講座~自信をグングンつけよう~」(4回)・夏休み子ども映画会(1回)・春休み子ども映画会(1回)・県民の日「浦安まるごと子ども広場」(1回)・体育館夏休み子ども開放(5回)・エコ講座「食の大切さ」エコクッキング(1回)・ピバ!!親子でエコキャンドルづくり(1回)		
		評価	主に、子どもの居場所づくり、また、社会性や表現力などこれから社会に出ていくために必要な事を学ぶ事を目的として開催している。特に夏休みは短時間講座から1日もしくは連続して参加する講座をし、子ども達がより深く交流し学べるよう心がけている。好評を得ているお仕事シリーズも定着してきました。		
	堀江公民館	実施状況	実績件数:16事業22回(4~3月実施分) ①校完全週5日制に対応した事業の実施 実績件数:7件 実績内容:親子自然観察(2回実施:計2回)、 想いを届けるカードづくり(1回)、科学読物と科学あそびの会(1回) リサイクル・環境講座「ふりふり石けん~廃食油でつくる手作り石けん~(1回) 県民の日「親子で体験!発見!!」(1回)、歌と着ぐるみショー(1回) ②長期休み期間に対応した事業の実施 実績件数:9件 実績内容:誰でも作れる紙芝居(2回)、子ども陶芸教室A・B(各1回) 科学実験「光の学習」~きらきら☆ワンダーランド(1回)、 集まれ!アートキッズ(5回)、DIYこども工作教室(1回)、 冬休み書初め教室(2回)、 みんなが集う公民館~防犯・交通安全教室~(1回)、平和映画会(1回)		
		評価	夏休み期間に実施した事業では、子どもの想像力、新たな可能性を引き出せる事業を行えた。		
	富岡公民館	実施状況	①実績件数:20事業70回 ②実施内容・とみおかジュニア囲碁ひろば・親子で遊ぼう富岡広場・ランニング講座「美走塾」・夏休み子ども料理教室・夏休み子ども茶道体験・浦安名物ぼったらづくりに挑戦!・夏休み親子木工教室・夏休み子ども農業体験教室・夏休み子ども平和映画会県民の日富岡公民館子ども広場・お父さんと作ろう!母の日のごちそう・親子料理教室・春休みネイチャークラフト教室・春休み親子モザイクタイル教室・お正月のお雑煮とおせち料理・親子で挑戦!指編み・春休み親子マジック冬休み・冬休み子ども映画会・なかよしコーナー 異学年交流や居場所づくりで、思いやりの気持ち、協力しあう気持ちなどが芽生える。昨年から実施している富岡小学校との協働事業であるランニング講座も定着している。また、今年度は郷土を意識した料理教室や館の畑を利用した子ども農業体験なども実施しました。		
		評価			

平成25年度 実施状況と 評価	美浜公民館	実施状況	①実績件数:17事業19回 ②実施内容:千葉県民の日「うらやすまるごと親子広場」、夏休み子ども折り紙教室、夏休み子ども絵手紙教室、夏休みミサンガ作り教室、夏休み子ども科学講座、子どもランドゴルフ教室(2回)、夏休み子どもトールペインティング教室、みはま星空の宅配便、影絵劇場で遊ぼう、影絵劇場、夏休み子どもエコ講座、子ども夏祭り、親子でそば打ち体験・冬、初めての電子工作教室、手作りお菓子でバレンタイン、春休み子ども映画会、新学期子ども家庭科教室					
		評価	子どもの想像力、新たな可能性を引き出せる事業を行えた。					
	当代島公民館	実施状況	①実績件数:32事業75回 ②実績内容:当代島軽スポーツクラブ(13回)、夏休み子ども環境講座(1回)、夏休み子ども陶芸教室(4回)、まちあるき探検をしてみよう(1回)、夏休み子ども草木染体験(1回)、夏休み子ども工作教室「貯金箱を作ろう」(1回)、キッズ・HEIWA・ステーション(1回)、子ども科学1・2夏休みSP(2回)、夏休み子ども人形劇(1回)、「ブライダルをコーディネートしてみよう～ケーキ作りから演出まで～」(1回)、当代島公民館に泊まろう!(1回)、消しゴムdeはんこを作ろう(1回)、音楽を楽しもう!北部小学校吹奏楽部コンサート(1回)、「みつろう」ってなあに?～オリジナルみつろうキャンドルを作ろう～(1回)、たこ(和風)作り挑戦!(1回)、冬休み子ども人形劇「ヘンゼルとグレーテル」(1回)、節分の豆まきで「おに」退治!(1回)、星空の宅配便in当代島公民館(1回)、千葉県民の日!当代島公民館で遊んじゃおう(1回)、夏休み平和映画会(1回)、夏休み子ども向け体育館開放(2回)、親子でクッキング「手作り餃子」(1回)、夏休み親子囲碁入門講座(3回)、生け花を体験しよう!ももの節句バージョン(1回)、チチンブイ!おおきな～れ(1回)、親子フットサル体験教室(1回)、春休み子ども科学「化石・ふしぎな石～木の葉の化石探し体験～」(1回)、春休みキッズ将棋王(3回)、こども企画実行委員(37回)、春休み子ども木工教室「ゲーム盤をつくろう」(1回)、新春!真冬の祭典(1回)					
		評価	いずれも子どもの居場所づくり、また、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性を身につけることを主な目的として展開している。当代島軽スポーツクラブは10年目となり定着している。「こども企画実行委員」は主催事業の企画から運営まで、31回の会議や研修会を実施した。まちあるき探検をしてみよう、当代島公民館に泊まろう!では、防災を視点にマップ作りをしたり、宿泊訓練をしたりした。					
	日の出公民館	実施状況	①実績件数:13事業19回 ②夏のおいしいおはなし会(2回)・夏休み子ども陶芸教室(3回)・夏休み子ども工作教室(1回)・夏休み子ども将棋教室(3回)・<ほん>たんけんクラブ公開講座(1回)・夏休み子ども絵画教室(2回)・夏休み親子事業(1回)・子ども書道講座(1回)・スペシャル夏のおはなし会&ディナー(1回)・夏休み子ども環境講座(1回)・平和映画会(1回)・県民の日子ども事業(1回)・ボーイスカウトと一緒にもちつき(1回)					
		評価	夏休み期間に実施した事業では、子どもの想像力、新たな可能性を引き出せる事業を行えた。					
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業数	目標	—						70事業
	実績(7館合計)	66事業	63	86	97	255	105	
	高洲		19	16	40	24	18	
	中央		9	21	15	23	20	
	堀江		16	14	16	21	16	
	富岡		15	17	21	15	20	
	美浜		16	14	16	23	17	
	当代島		7	20	29	25	32	
日の出		18	18	20	22	13		
平成26年度 事業予定	高洲公民館	引き続き、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していく。						
	中央公民館	平成26年度も、引き続き、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していきます。さらに、連続講座に力をいれます。						
	堀江公民館	引き続き、子どもの居場所づくりのために、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していきます。 *10月の半年間は大規模改修工事のため、休館の予定です。						
	富岡公民館	今後も地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上のための事業を展開していく。						
	美浜公民館	引き続き、子どもの居場所づくりのために、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していく。						
	当代島公民館	引き続き、子どもたちの自由な発想を大事にしながら、ともに考え、行動していく事業の実施を行っていく。内容を豊かにしていきたいので、継続事業も含め、70事業は開催したい。						
	日の出公民館	引き続き機会と内容の充実を図っていく。						

事業番号	68	事業名	健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上に向けた役割を持つ施設として、各公民館において健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上につながる事業を展開します。				
	事業数	平成20年実績	58事業	平成26年目標	60事業
平成25年度 実施状況と 評価	高洲公民館	実施状況	実績件数：7事業31回(4～3月実施分) 高洲公民館文化祭(1回)・家庭教育講演会(1回)・高洲明海日の出地区合同幼稚園家庭教育学級(12回)・高洲明海日の出地区合同小学校家庭教育学級(14回)・高洲地区子ども体験遊びリンピック(1回)・エスレ高洲ニューイヤーコンサート(1回)・公民館で1日遊びながら学ぼう(1回)		
		評価	今後も家庭教育を支援する事業を展開すると同時に、地域の方々との連携を図っていく。		
	中央公民館	実施状況	①実績件数と実施見込み件数：12事業140回 ②実施内容：中央公民館文化祭(年1回)・県民の日「浦安まるごと子ども広場」(1回)・こどもルームin中央(48回)・わくわく体験教室(28回)・浦安小学校子育てミーティング(5回)・東小学校子育てミーティング(11回)・神明幼稚園子育てミーティング(11回)・若草幼稚園子育てミーティング(9回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なパパママになろう～」(5回)・うらやす子育てミーティングプレゼント家庭教育講演会(1回)・うらやす子育てミーティング運営チームプレゼント家庭教育講演会「子どもの心のコーチング～子どもに伝えたい3つの力～」(1回)・親子のほっとカフェin猫実(19回)		
		評価	子どもたちの健やかな成長と生きる力を育むため、親としての役割や家庭での子育てについて再確認すること、また、社会状況や子どもの発達段階における課題について、家庭ではどのような教育を行えばよいのか、講義やディスカッションを通して学び得た知識を家庭や地域に反映すること、仕事も子育ても夫婦関係も充実して活き活きと暮らしていくためにまず自分を一人の大人として見つめ直し、自分たちの生活・子育て親育ちについて向き合っていたり機会となった。また、企画・運営に地域の方達に参加していただきより市民ニーズに近い学びを提供する事ができました。週末開催の講座では、未就学児のお子さんには保育、小学生にはキッズ講座をご用意しご家族みんなが公民館で過ごせるような講座にしております。		
	堀江公民館	実施状況	実績件数：18事業132回(4～3月実施分) ・堀江公民館主催事業の実施 実績件数：18件 実施内容：公民館文化祭(2日)、子育て応援パパママ講座(3回) 家庭教育学級2学級(幼稚園13回・小学校13回) おひさまクラブⅠ・Ⅱ特別版(1回)、おひさまクラブⅠ(17回)・Ⅱ(16回) 親と子のずくぼんじょ(11回)、おはなしのへやたけんこ(11回) わくわくキッズ道場(16回)、パパと子クラブ(3回)、わんぱくクラブ(5回) 「光の学習」～きらきら☆ワンダーランド～(1回) 子どものための「春のつどい」(1回) 鬼はそと！春はうち！子ども新春豆まき＆お茶会(1回) 県民の日「親子で体験！発見！！」(1回) みんなが集う公民館～考作(考えて作る)ひろば～(16回) 堀江公民館の「布の絵本ボランティア」体験会(1回)		
		評価	異学年交流や、異年齢交流の居場所づくりとして今後も積極的に開催していきたい。		
	富岡公民館	実施状況	①実績件数：9事業82回 ②実施内容：富岡公民館文化祭(年1回)・とみおかジュニア囲碁ひろば(通年)・ランニング講座「美走塾」・県民の日子ども広場・家庭教育学級(小学校1クラス・幼稚園1クラス)・うらやす子ども俳句大会・親子で挑戦！指編み・春休み親子マジック教室		
		評価	概ね目標を達成している。		

平成25年度 実施状況と 評価	美浜公民館	実施状況	実績件数: 8事業48回 美浜公民館文化祭(1回)、入船南・美浜南・美浜北合同幼稚園家庭教育学級(12回)、美浜南・美浜北・高洲北合同小学校家庭教育学級(11回)、大きな声でたのしく音どく(11回)、美浜子どもアートクラブ(5回)、美浜子どもアートクラブⅡ(5回)、千葉県民の日「うらやすまるごと親子広場」(1回)、子ども夏祭り(1回)、影絵劇場(1回)					
		評価	異学年交流や、異年齢交流の居場所づくりとして今後も積極的に開催していきたい。					
	当代島公民館	実施状況	実績件数: 17事業428回 実施内容: 公民館文化祭(年1回)、体育館一般開放(毎月2回、)夏休み子ども向け体育館開放(2回)、つゆどき親子向け体育館開放(年4回)、芝生広場の開放(通年)、北部小学校子育てミーティング(10回)、青葉・北部幼稚園子育てミーティング(12回)、千葉県民の日! 当代島公民館で遊んじゃおう(1回)、プライダルをコーディネートしてみよう~ケーキづくりから演出まで~(1回)、親子フットサル体験教室(1回)、新春! 真冬の祭典(1回)、音楽を楽しもう! 北部小学校吹奏楽コンサート(1回)、親子でクッキング「手作り餃子」(1回)、節分の豆まきで「おに」退治!(1回)、当代島公民館に泊まろう!(1回)、まちあるき体験をしてみよう(1回)、こども企画実行委員(37回)					
		評価	体育館一般開放は、自由に体を動かす機会とすると同時に、スポーツインストラクターを配置することにより、遊びながらルールや道具の扱い方も指導していただいている。24年度からは、夏休み期間にも体育館開放日を設け、夏休みの居場所作りもしている。平成17年度からは、梅雨の時期に乳幼児と保護者を対象に体育館を開放している。家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開している。新春! 真冬の祭典など、地域や子ども会を巻き込み開催している。					
	日の出公民館	実施状況	実績事業数: 7事業77回 実施内容: 家庭教育学級(小学校8回・中学校15回)、幼稚園家庭教育講座(9回)・お父さん出番ですよ! ~親子deわくわくパン作り(1回)・お父さん出番ですよ! 子どもと一緒に遊ぼう(3回)・乳幼児家庭教育講座 ~ゆったり子育てのツボ~(7回)・すくすくクラブ(大きい子組、小さい子組)(2事業、34回)					
		評価	異学年交流や、異年齢交流の居場所づくりとして今後も積極的に開催していきたい。					
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業数	目標	—						60事業
	実績(7館合計)	58事業	70	56	66	159	64	
	高洲			2	5	4	7	
	中央		9	11	11	15	12	
	堀江		16	14	16	23	18	
	富岡		8	8	8	13	9	
	美浜		16	14	16	23	8	
	当代島		21	9	15	15	17	
日の出		19	12	12	14	7		
平成26年度 事業予定	高洲公民館	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していく。						
	中央公民館	平成26年度は、さらに多くの地域の方に参加していただき、より市民ニーズにそった、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。						
	堀江公民館	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。 * 10月の半年間は大規模改修工事のため、休館の予定です。						
	富岡公民館	25年度と同様						
	美浜公民館	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していく。						
	当代島公民館	これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域と子どもたちを結びつける事業を計画していきたい。						
	日の出公民館	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。						

事業番号	69	事業名	子ども映画会開催事業	担当課	中央図書館 (視聴覚ライブラリー)			
計画内容	子どもに質の良い映画を観る機会を増やすために、月2回(定員100人、年24回)、子ども映画会を実施しています。引き続き、ポスターやチラシなどを作成し教育機関などに周知を行い、来場者の増加を目指します。							
	延参加者数	平成20年実績	1,879人	平成26年目標	2,000人			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	開催内容:子ども映画会 毎月第2・4土曜日(年24回) 参加対象:小学生以下の子ども及びその保護者 参加者実績:1,463人						
	評価	視聴覚教材に親しみを持ってもらえるように、親子で作品を鑑賞することでコミュニケーションが図れ、「心の教育の充実」や「豊かな心を育む」ことができる。25年度は市の行事や悪天候により、参加者が減少している。今後も、広報等への周知をし、参加者の増加に努めたい。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延参加者数	目標	—						2,000人
	実績	1,879人	1,989人	1,819人	1,582人	1,557人	1,463人	
平成26年度 事業予定	平成25年度で視聴覚ライブラリーが廃止となり、事業は図書館が引き継ぐ。							

事業番号	70	事業名	青少年相談員による健全育成活動	担当課	青少年課			
計画内容	青少年相談員の活動を通じて、自主事業だけに留まらず、市における青少年健全育成活動における地域の担い手として活躍の場を広げていきます。							
	延参加者数	平成20年実績	1,859人	平成26年目標	1,900人			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	青少年健全育成事業として少年親善スポーツ大会ドッジボール(6月)、夏のキャンプ(7月)、ブラックシアター発表会(10月)、ナイトキャンプ(2月)等を実施。 また、相談員の研修として一日研修(ドッジボール)や学習会(ヘルスバレーボール)も実施している。 平成25年より18期青少年相談員としての活動がスタートし、相談員の積極的な事業参加がみられた。						
	評価	参加者の募集方法や事業運営に関して、事業のフィードバックを行い、参加者のニーズを把握しながら事業の改善を図り、新たな意見を取り入れている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延参加者数	目標	—						1,900人
	実績	1,859人		1,344人	1,632人	1,943人	1,176人	
平成26年度 事業予定	4月たけのこ掘り、6月少年親善スポーツ大会(ドッジボール)、7月夏のキャンプ 10月ブラックシアター発表会、2月ナイトキャンプ、3月頃体験学習を実施予定							

事業番号	71	事業名	青少年問題協議会の設置・開催			担当課	青少年課	
計画内容	青少年の健全育成を図るための協議会について、新たな委員の補充を行い、市の青少年施策を効果的に実行できるような体制づくりを行います。							
	開催回数	平成20年実績	1回		平成26年目標	1回		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>青少年の現状について関係機関との連絡調整を図るため会議を開催した。</p> <p>開催日 平成26年1月30日(木)</p> <p>内容 平成25年度浦安市青少年センター補導・相談状況について 平成25年度浦安市における少年の犯罪状況について 学生防犯委員会V5活動事例紹介 いじめ防止対策推進法とその対応について 子どもたちのの休日における活動の実態について</p>						
	評価	青少年の現状について関係機関との意見や情報交換等を通じて、青少年への取り組みについて共通理解を図ることができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	目標	—						1回
	実績	1回		1回	1回	1回	1回	
平成26年度 事業予定	年1回開催予定							

事業番号	72	事業名	少年の広場の充実			担当課	青少年課	
計画内容	市内において野外体験活動が行える唯一の場所である少年の広場について、今後も利用しやすい環境を整備・改善しながら、青少年の健全育成活動を促進していきます。							
	延利用者数	平成20年実績	4,064人		平成26年目標	4,300人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>青少年健全育成団体がより利用しやすくするため、少年の広場を整備しながら運営を行っている。</p> <p>また、下記自主事業を実施し、少年の広場利用促進等を図っている。</p> <p>アウトドアクッキング 日時:8月23日(金)午前9時～午後1時 参加:小学4～6年生21名 内容:ナンとカレー作り、薪割、火おこし等</p>						
	評価	施設については団体の利用に支障がないように整備されている。定期利用団体が確保できている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延利用者数	目標	—						4,300人
	実績	4,064人		3,360人	4,697人	3,436人	3,355人	
平成26年度 事業予定	少年の広場を適正に管理運営しながら、自主事業を実施していく。							

事業番号	73	事業名	【実施】放課後異年齢児交流促進事業			担当課	青少年課	
計画内容	小学校における余裕教室等において実施する放課後異年齢児交流促進事業について、現状を継続しながら内容に工夫を凝らし、子どもにとって安心して安全な遊び場としての機能の向上を図っていきます。							
	実施校数	平成20年実績	5校		平成26年目標	拡大		
	利用者数	平成20年実績	49,988人		平成26年目標	55,000人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>市内5小学校区において、学校施設等を利用して「遊び場」を確保し、異年齢児間の交流やスポーツ、書道などの学習活動、各種工作などの体験を通じて、児童の健全な育成を図っている。</p> <p>平成26年3月末現在 市内5小学校にて実施(東小、南小、入船北小、日の出小、明海小) 述べ利用者数 43,299人</p>						
	評価	日常的な遊びだけでなく、地域の公民館やPTAの協力をいただき、地域と連携した事業の実施を図ることができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施校数	目標	—						拡大
	実績	5校		5校	5校	5校	5校	
利用者数	目標	—						55,000人
	実績	49,988人		56,766人	47,246人	44,611人	43,229人	
平成26年度 事業予定	引き続き、学校施設等を利用して「遊び場」を確保し、異年齢児間の交流やスポーツ、書道などの学習活動、各種工作などの体験を通じて、児童の健全な育成を図っていくとともに、地域と連携した事業の推進を図りながら、地域の実情に合わせた活動を実施していく。							

(4) 地域で子どもが健全に育つ環境対策の推進

事業番号	74	事業名	薬物乱用防止等対策の推進			担当課	保健体育安全課	
計画内容	薬物使用及び喫煙の健康に及ぼす影響についての知識を学ぶ機会を設けます。							
	防止教室(小学校)	平成20年実績	8校		平成26年目標	18校		
	防止教室(中学校)	平成20年実績	2校		平成26年目標	9校		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の保健教育の一環として、薬物乱用防止教育を実施している。 ・体育(保健領域)科や保健体育科での保健学習以外に、特別活動や総合学習の時間に学校保健委員会として薬物乱用防止教室を開催し、薬物乱用や喫煙が健康に及ぼす影響について指導している。 ・学校薬剤師、浦安警察、浦安ライオンズクラブ等の外部講師を活用することで、児童生徒へ専門的な知識理解と、薬物乱用防止の意識向上を図ることができた。 <p>平成26年3月末現在実績値 薬物乱用防止教室等実施校 小学校 16校 中学校 6校</p>						
	評価	薬物乱用防止教室については、小・中学校あわせて平成20年度には10校の実施であったが、平成22年度以降小・中学校ともに増加している。平成25年度については薬物乱用防止教室を実施した14校(53.8%)を含め、保健学習で薬物乱用防止に取り組んだのは25校(96.1%)であり、薬物乱用防止に対する意識向上を図ることができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
防止教室(小学校)	目標	—						18校
	実績	8校		13校	16校	18校	16校	
防止教室(中学校)	目標	—						9校
	実績	2校		3校	4校	6校	6校	
平成26年度 事業予定	引き続き薬物乱用防止教育の充実に向け、薬物乱用防止に関する研修会を開催し、教職員の意識向上とともに、各学校における薬物乱用防止教室開催の定着及び充実化を図る。							

事業番号	75	事業名	販売業者に対する対面販売の呼びかけ実施			担当課	青少年センター	
計画内容	未成年者にタバコやお酒を売らないよう、販売業者に対する対面販売の呼びかけを実施します。							
	啓発	平成20年実績	実施		平成26年目標	継続		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	青少年補導員は、中学校区ごとに月2回程度実施する地区パトロールにおいて、定期的にコンビニエンスストア等の販売業者を訪れ情報交換に努めるとともに、未成年に対して酒・タバコ・有害図書等を販売しないよう、年齢確認の徹底や有害図書等の適正陳列について協力を依頼し、協力関係を構築している。						
	評価	こうした活動により、販売業者には年齢確認の徹底や有害図書等の適正陳列について対応していただいている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
啓発	目標	—						継続
	実績	実施		未実施	実施	実施	実施	
平成26年度 事業予定	引き続き、協力を求めていく。							

事業番号	76	事業名	青少年補導員による地域パトロールの実施			担当課	青少年センター	
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。							
	実施回数	平成20年実績	431回		平成26年目標	450回		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センター職員が協働して街頭補導を実施し、青少年に「愛のひと声」をかけ、非行防止及び健全育成に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中央パトロール:59回 ⇒ 午前・午後・薄暮・夜間の4つの時間帯に、市内全地域を対象として青少年補導員及び青少年センター職員が実施する街頭補導 ●地区パトロール:160回 ⇒ 中学校区ごとに、青少年補導員が地域の実態に合わせてきめ細く実施する街頭補導 ●特別パトロール:12回 ⇒ 千葉県青少年補導員連絡協議会年間計画に基づく県下一斉合同パトロール、県下一斉広域列車パトロールのほか、市の行事である花火大会、盆踊り大会等に合わせて青少年補導員及び青少年センター職員が実施する街頭補導 ●臨時パトロール:1回 ⇒ 青少年の安全にかかわる事件・事故(痴漢・暴行、交通死亡事故等)の発生に伴い臨時に青少年補導員及び青少年センター職員が実施する街頭補導 ●職員パトロール:219回 ⇒ 児童・生徒の下校時や学校行事(運動会等)開催時、また市民からの情報提供等により青少年センター職員が実施する街頭補導 						
	評価	雨天による中止を除いて予定した街頭補導を定期的実施し、青少年の非行防止及び健全育成の推進に資することができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数	目標	—						450回
	実績	431回		245回	448回	495回	451回	
平成26年度 事業予定	引き続き、市内の学校や警察との連携を図りながら、問題行動の多い時間帯、場所に重点を置いた街頭補導活動等を推進していく。 また、青少年補導員は主に中学校区を活動単位としており、(仮称)第9中学校の開校により高洲中ブロックを平成27年度より設立することから、学校やPTA等に対し青少年補導員の委嘱について事前に協力を要請していく。							

事業番号	77	事業名	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動の充実			担当課	防犯課	
計画内容	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動により、子どもが犯罪に巻き込まれることを防ぐ活動を展開します。							
	キャンペーン実施回数	平成20年実績	4回	平成26年目標	6回			
	防犯教室開催回数	平成20年実績	46回	平成26年目標	92回			
	防犯講習会講演会	平成20年実績	20回	平成26年目標	40回			
	連れ去り防止教室	平成20年実績	34回	平成26年目標	40回			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>7月と12月に子どもの見守りや空き巣、ひったくりなどの刑法犯罪の抑止を目的とした駅前防犯キャンペーンと市内一斉防犯パトロールを防犯協会、警察署並びに関係機関と協力し実施した。</p> <p>青色回転灯を装備した防犯パトカー(委託)による市内巡回において、児童の登下校時刻には通学路等を中心に巡回させ、児童の安全確保を行った。</p> <p>また、毎学期始めの児童登校時刻に合わせ、市が管理する防犯パトカー(防犯課)による通学路等の巡回パトロールを併せて実施し児童の安全確保を行った。</p> <p>防犯支部長をはじめ防犯関係者や市民向けに防犯講演会を開催、また自治会や各種団体を対象に、防犯講話等を実施した。</p>						
	評価	<p>子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」につながることから、浦安市防犯計画の中で市の役割と定めている①情報の発信、②自主防犯活動の支援、③児童の安全対策などの実施内容はおおむね評価できる。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
キャンペーン 実施回数	目標	—						6回
	実績	4回		2回	3回	4回	4回	
防犯教室開 催回数	目標	—	※95移動防犯活動事業へ移行					92回
	実績	46回						
防犯講習会 講演会	目標	—						40回
	実績	20回		17回	7回	8回	14回	
連れ去り防 止教室	目標	—	※95移動防犯活動事業へ移行					40回
	実績	34回						
平成26年度 事業予定	引き続き実施する。							

4. 子育てを地域で支えるまち うらやす

(1) 子育てにやさしいまちづくりの推進

事業番号	78	事業名	インターネットによる育児に関する情報提供の充実			担当課	関係各課	
計画内容	育児に関する必要な情報を入手できる方法を拡大するため、市のホームページなどを活用した育児に関する情報提供を行います。情報の更新、新規情報の追加など、情報提供の充実を図ります。							
	情報提供	平成20年実績	事業検討			平成26年目標	実施・充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	子育てに関する情報は、健康・福祉・イベントなど、幅広い情報を適宜、各担当で市公式ホームページより発信している。その情報は、「こども・教育」などの7つのカテゴリー内のお知らせや、イベント情報など、内容に応じ、適切な箇所からピックアップできるようにしており、子育てに関する情報についても検索し易いような工夫をしている。						
	評価	公共機関のホームページは、情報量が多く、市民などの利用者にとっては、そのことで逆に情報を取得しにくいデメリットがある。現状に満足せず、利用者の意見などを収集しながら、改善していくことが必要である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
情報提供	目標	—						
	実績	事業検討		実施・検討	実施・検討	実施	実施	実施・充実
平成26年度 事業予定	市ホームページとは別に、子育て専門のポータルサイトを新規に作成し、子育て情報を一元化して市民にとって利用しやすいウェブコンテンツを提供する。							

事業番号	79	事業名	子育てハンドブックの作成・配付			担当課	こども家庭課	
計画内容	育児に関する必要な情報を入手できる方法を拡大するため、市のホームページなどを活用した育児に関する情報提供を行います。情報の更新、新規情報の追加など、情報提供の充実を図ります。							
	情報提供	平成20年実績	事業検討			平成26年目標	実施・充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	子育てに関する情報は、健康・福祉・イベントなど、幅広い情報を適宜、各担当で市公式ホームページより発信している。その情報は、「こども・教育」などの7つのカテゴリー内のお知らせや、イベント情報など、内容に応じ、適切な箇所からピックアップできるようにしており、子育てに関する情報についても検索し易いような工夫をしている。						
	評価	公共機関のホームページは、情報量が多く、市民などの利用者にとっては、そのことで逆に情報を取得しにくいデメリットがある。現状に満足せず、利用者の意見などを収集しながら、改善していくことが必要である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
情報提供	目標	—						
	実績	事業検討		実施・検討	実施・検討	実施	実施	実施・充実
平成26年度 事業予定	市ホームページとは別に、子育て専門のポータルサイトを新規に作成し、子育て情報を一元化して市民にとって利用しやすいウェブコンテンツを提供する。							

事業番号	80	事業名	交通安全教室及び交通安全施設整備の推進			担当課	交通安全課	
計画内容	市内の保育園や幼稚園、小学校等で交通安全教室を実施し、交通ルール・マナーの向上を図り、子どもの交通事故を減らします。また、警察などの関係機関と連携し、通学路への路面標示や道路標識など交通安全施設の設置や補修を推進します。							
	施設整備	平成20年実績	実施			平成26年目標	実施	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	交通安全教室:小学校(新入生対象)市内全18校・幼稚園14園・保育園17園 自転車交通安全教室:(小学校3年生対象)市内18校 (中学生対象、年3校ずつ実施)市内3校 交通安全施設整備 警戒標識補修「学校・幼稚園・保育所等あり」1本						
	評価	交通安全教室、自転車交通安全教室について、小学校では全校実施し幼稚園・保育園では実施数が増えている。 また、交通安全施設整備については、警察等と協議を図りながら、警戒標識等の設置・補修を行い交通事故の未然防止に貢献している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
施設整備	目標	—						実施
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	
平成26年度事業予定	○小学校新入学生及び要望のある保育園や幼稚園で交通安全教室を実施する。 ○小学生をはじめとする、児童、幼児や中学生を対象に自転車の交通安全教育を実施する。 ○学校及び市民からの要望による交通安全施設整備を推進する。							

事業番号	81	事業名	交通バリアフリー基本構想によるバリアフリーの推進			担当課	道路管理課	
計画内容	交通バリアフリー基本構想に基づき道路特定事業計画を策定し、新浦安駅を中心とする半径1km圏内の公共施設や商業地区への駅からの特定経路について、エレベーターの設置や、視覚障がい者用誘導ブロック及び歩車道の段差、勾配の緩和等を推進します。							
	エレベーター設置数	平成20年実績	1基			平成26年目標	2基	
	特定経路整備延長	平成20年実績	30m			平成26年目標	3,600m	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	震災により被災した道路の復旧工事を優先して進めていることから、バリアフリー事業については行っていない状況である。						
	評価	復旧工事を進めていく中で、交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路の整備延長について、平成26年度の目標値3,600mの整備は困難な状況である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エレベーター設置数	目標	—						2基
	実績	1基		2基	2基	2基	2基	
特定経路整備延長	目標	—						3,600m
	実績	30m		3,420m	3,420m	3,420m	3,420m	
平成26年度事業予定	引き続き、震災により被災した道路の復旧工事を優先して進める。							

事業番号	82	事業名	公園の整備推進				担当課	みどり公園課
計画内容	庁舎建設に合わせ、防災機能を充実した浦安公園の整備に取り組むとともに、老朽化の進んだ公園を地域住民の皆様の意見を伺いながら、より魅力的で安心して遊べる公園に再整備します。							
	公園面積	平成20年実績	802,523㎡			平成26年目標	810,579㎡	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	暫定整備であった高洲地区の高洲海浜公園の本整備に着手した。実施内容としては、展望広場の造成や幼児用遊具の設置、パークゴルフ場の整備で、平成26年度に園路や展望台、遊具等の整備を行い完了する予定。						
	評価	震災に伴う災害復旧工事を優先的に行ったため、計画的な公園の再整備は平成26年度以降に実施していく予定。また、浦安公園の整備については新庁舎建設の進捗に併せ、今後整備計画を立てていく予定。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
公園面積	目標	—						811,282㎡
	実績	803,112㎡	805,863㎡	810,614㎡	810,614㎡	810,614㎡	810,614㎡	
開園面積	目標	—						668㎡
	実績		2,751㎡	3,224㎡	0㎡	0㎡	0㎡	
平成26年度 事業予定	震災により休止していた若草児童公園の再整備に向けた実施設計を行います。また、堀江地区の江川児童公園の拡張工事を行う。 平成25年度に引き続き、高洲地区の高洲海浜公園の本整備を行う。							

事業番号	83	事業名	【新規】 プレーパーク整備事業				担当課	こども家庭課 (25年度より 青少年課)
計画内容	地域の市民や団体が主体的に管理・運営する子どもの自由な遊び場であるプレーパークの整備に向け、活動の中心となるプレイリーダーの養成や場所の選定を行います。							
	場所の選定	平成20年実績	H22新規事業			平成26年目標	1ヶ所	
	リーダー養成	平成20年実績	H22新規事業			平成26年目標	実施	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	高洲地区にある未利用地を千葉県企業庁から取得し、平成26年度に「(仮称)こどもの広場」の整備を行うため、検討を進めた。 ※平成25年度より青少年課で実施						
	評価	今年度から整備に向けた検討を行い、場所選定及び整備実施に向けた進展がみられた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
場所の選定	目標	—						1ヶ所
	実績	H22新規事業		未実施	未実施	未実施	1ヶ所(決定)	
リーダー養成	目標	—						実施
	実績	H22新規事業		未実施	未実施	未実施	未実施	
平成26年度 事業予定	高洲地区の(仮称)こどもの広場の実施設計及び整備を行う。							

事業番号	84	事業名	マタニティマーク普及事業				担当課	健康増進課
計画内容	妊娠届出時に希望する妊婦にマタニティマークのキーホルダーを配布するとともに、公共機関、飲食店等へのポスター掲示、公用車への啓発マグネットシートを貼付すること等により、市民への啓発を図ります。同マークについては、各種母子保健事業等での周知を図り、妊産婦に対する気遣いなど、やさしい環境づくりを推進します。							
	配布者数	平成20年実績	2,718人			平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	妊娠届出時に希望する妊婦にマタニティマークのキーホルダーを配布する。公共機関、飲食店等へのポスター掲示、公用車への啓発マグネットシートを貼付すること等により、市民への啓発を図っている。						
	評価	社会全体の取り組みではあるが、周知はされてきている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
配布者数	目標	—						継続
	実績	2,718人		1,780人	1,544人	1,528人	1,097人	
平成26年度 事業予定	平成25年度と同様							

事業番号	85	事業名	地域福祉の推進				担当課	社会福祉課
計画内容	「生き生きと暮らせる心のかよう健康福祉都市」の実現に向けて、市と市民、関係団体等の役割や協働のあり方等を示すため策定した「地域福祉計画」に基づき、地域福祉を推進する。							
	進行管理	平成20年実績	H21年度策定			平成26年目標	1回／年	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	本市の状況として、転入世帯や在宅で子育てをしている家庭が多いため、人を介しての育児情報の集中力が弱く、また、子育て中の仲間や相談相手と巡り合う機会が少ないなど、子育て中の親が孤立しやすい状況にあるといえる。 そのため地域福祉計画に基づき、子育てに関する情報提供や相談支援体制の充実を図るとともに子育て家庭同士が交流し合える場所を提供するため、市内10地区に設置した支部社会福祉協議会が、公民館や自治会館を利用した子育てサロンの開設や、旧濱野医院を利用した堀江つどいの広場など、子育て世代の交流事業を支援している。						
	評価	子育て世代の交流の場として、平成25年6月より開設した堀江つどいの広場では、毎週月曜から金曜まで多くの子育て世代が交流し、育児情報の交換などを行っている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
進行管理	目標	—						1回／年
	実績	H21年度策定					—	
平成26年度 事業予定	現在支部社会福祉協議会が実施している、子育て世代の孤立化を防ぐためのサロン活動などを支援していく。							

(2) 子どもの安全を見守る環境の整備

事業番号	86	事業名	【重点】 青少年センターの相談業務の充実				担当課	青少年センター
計画内容	青少年センターにおいて、思春期の児童・生徒及びその保護者に対する相談体制の充実を図ります。							
	家庭教育指導員数	平成20年実績	2人		平成26年目標	2人		
	延相談件数	平成20年実績	261件		平成26年目標	300件		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>青少年の「問題行動(急学、夜遊び・無断外泊、万引き、金品持ち出し、家庭内暴力等)」に関する事、「家庭・自分自身(精神的不調、身体・性、性格、家族関係、引きこもり等)」に関する事、「学校(交友関係、いじめ、不登校、学習・進路等)」に関する事等、青少年が抱えているさまざまな問題について相談を受け、問題解決に向けて適切な助言を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介等を行っている。</p> <p>また、研修等を通じた家庭教育指導員の資質向上により、相談事業の充実を図っている。</p>						
	評価	青少年、青少年の保護者、青少年の家族等、相談者の不安解消や問題解決につながっている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
家庭教育指導員数	目標	—						2人
	実績	2人		2人	2人	2人	2人	
延相談件数	目標	—						300件
	実績	261件		254回	332件	389回	392回	
平成26年度 事業予定	これまで青少年相談を受ける者は家庭教育指導員(非常勤特別職)だったが、今後ますます必要とされる専門性を重要視し、臨床心理士等の専門資格を有する者を配置するため、青少年センター相談員(非常勤一般職)の職種を設定し、青少年相談事業の充実を図る。							

事業番号	87	事業名	青少年補導員活動の実施				担当課	青少年センター
計画内容	思春期の児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員活動を実施します。							
	補導員数	平成20年実績	106人		平成26年目標	110人		
	キャンペーン等回数	平成20年実績	2回		平成26年目標	2回		
	広報誌発行回数	平成20年実績	6回		平成26年目標	6回		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>広く市民に、青少年補導員の活動を知ってもらい、青少年の非行防止及び健全育成に対する理解と協力を呼びかけるため、青少年補導員による広報及び啓発を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「べかぶね」の作成・発行(年6回、奇数月発行、毎回1,800部) ● 啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 非行防止キャンペーン(7月13日、浦安駅・新浦安駅前にて啓発品1,800個配布) ・ 県下一斉合同パトロール(8月2日、新浦安駅前にて啓発品500個配布) ・ 一日補導員キャンペーン(10月5日、新浦安駅前にて啓発品2,000個配布) ・ 市民まつりパトロール(10月19・20日、市民まつり会場にて啓発品1,207個配布) ・ 歳末特別警戒パトロール(12月11日、新浦安駅前にて啓発品793個配布) 						
	評価	<p>広報については、広報誌「べかぶね」を作成して関係機関に送付するとともに、公民館や駅前行政サービスセンター等に設置し、青少年補導員の活動状況等を広く周知できた。</p> <p>啓発については、青少年自身にも啓発を体験してもらうことが非行防止に繋がるのではないかと、平成25年度から参加者に高校生や大学生を加え、効果的な啓発となった。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
補導員数	目標	—						110人
	実績	106人		104人	103人	101人	105人	
キャンペーン等回数	目標	—						5回
	実績	2回		2回	2回	4回	5回	
広報誌発行回数	目標	—						6回
	実績	6回		6回	5回	6回	6回	
平成26年度 事業予定	引き続き、青少年補導員による広報及び啓発の充実を努め、広く市民に、青少年の非行防止及び健全育成に対する理解と協力を呼びかけていく。							

事業番号	88	事業名	応急手当講習会の充実			担当課	消防本部警防課	
計画内容	普通救命講習等の応急手当方法の習得と普及を推進し、救命率の向上に努めます。							
	講習回数	平成20年実績	172回			平成26年目標	充実	
	受講者数	平成20年実績	2,121人			平成26年目標	充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成25年度の実施状況(H26年3月末現在) 普通救命講習会Ⅰ:65回、744名 普通救命講習会Ⅱ:6回、75名 普通救命講習会Ⅲ:4回、47名 上級救命講習会:2回、30名 救急入門コース:3回、68名 その他の講習会:71回、1482名 合計:151回、2446名が受講した。						
	評価	AEDの普及に伴い、市民の関心は依然として高く、救命率の向上のためにも良い傾向と考えられる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
講習回数	目標	—						充実
	実績	172回		129回	107回	161回	151回	
受講者数	目標	—						充実
	実績	2,121人		2,110人	1,893人	2,606人	2446人	
平成26年度 事業予定	従来の講習会に加え、上級救命講習会を年度2回に増やすと同時に「ママさん救命講習会」と題して、普段子育てのため救命講習に参加できない母親を対象とした小児救命講習(普通救命講習Ⅲ)を2回実施する。							

事業番号	89	事業名	いちょう110番の充実			担当課	青少年課	
計画内容	子どもの安心・安全を確保するための緊急避難場所となる「いちょう110番」について、協力者のより一層の確保と健全育成連絡会における地域への周知活動を進めます。							
	箇所数	平成20年実績	697ヶ所			平成26年目標	800ヶ所	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	子どもの身の安全を守る場所として、「いちょう110番の家」のプレートを個人や事業所に設置している。 市内8中学校区の健全育成連絡会において、「いちょう110番」の啓発を行いながら、設置数を増やす活動を行った。 平成26年3月末現在設置数 346ヶ所						
	評価	継続調査の実施後、概ね設置箇所数は定着してきている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
箇所数	目標	—						800ヶ所
	実績	697ヶ所		341ヶ所	344ヶ所	344ヶ所	346ヶ所	
平成26年度 事業予定	事業は継続して実施していくが、青少年健全育成連絡会と「いちょう110番の家」のあり方について検討を図っていく。							

事業番号	90	事業名	街灯新設改修事業				担当課	道路整備課
計画内容	灯具を見直し、新設や改修を行うことにより、子どもの夜間における安心歩行エリアの確保、地球温暖化防止の二酸化炭素の削減を図ります。							
	街灯設置数	平成20年実績	59基			平成26年目標	375基	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	地区ごとの街灯改修計画については、復旧工事を優先していることから実施していない。						
	評価							
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
街灯設置数	目標	—						375基
	実績	59基			未実施	未実施	35基	
平成26年度 事業予定	平成26年度は、街灯の維持管理費の削減、省エネルギー化の取り組みとして、街灯のLED化を図っていく。							

事業番号	91	事業名	市民防犯パトロールの充実				担当課	防犯課
計画内容	子どもをはじめとする市民の安全を確保するため、自治会やPTAなどの各種市民団体や防犯ボランティアが自主防犯パトロールを行います。「地域の安全は地域で守る」をスローガンに、市民や関係団体が協働して、身近な地域の安全確保を推進します。							
	パトロール車貸出件数	平成20年実績	417件			平成26年目標	600件	
	ボランティア登録者数	平成20年実績	557人			平成26年目標	800人	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	自治会やPTA等の自主防犯活動団体に対し、パトロール装備品などの貸与及び防犯パトロールを効果的に行うための防犯パトロール車並びに防犯バイクの貸し出しを行った。 青色回転灯車両を使用しての防犯パトロールが行えるよう、「青色防犯パトロール講習」を実施した。 ●貸与装備品（貸与実績） ・帽子 172個・腕章 207個・のぼり 275枚・ポール 221本・誘導灯 74個 ・ベスト 76枚 ●防犯パトロール車並びに防犯バイク（貸出実績） ・車両 366件 ・バイク 9件						
	評価	子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」に向け、市の責務とする自主防犯活動の支援、児童の安全対策が推進できたと評価している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
パトロール車 貸出件数	目標	—						600件
	実績	417件		477件	396件	409件	366件	
ボランティア登 録者数	目標	—						800人
	実績	557人		680人	616人	590人	618人	
平成26年度 事業予定	今後も、自主防犯活動を行う団体や防犯ボランティアに登録いただいている皆さんが継続的かつ活発に活動できるように情報提供や講習会の開催、物資類の提供を行うと併に、警察署や防犯協会、関係機関と連携を図り、自主防犯活動団体の現状等の把握に努め、防犯活動の支援を図っていく。							

事業番号	92	事業名	地域防犯ネットワークの構築			担当課	防犯課	
計画内容	地域における子どもの安全を確保するため、関連機関や市民の協力のもと地域防犯ネットワークの充実と子ども緊急通報装置を効果的に運用していくとともに、犯罪に強いまちづくりを目指し環境整備を推進します。							
	防犯かけこみ110番の店	平成20年実績	714店			平成26年目標	900店	
	事業者パトロール隊	平成20年実績	39事業所			平成26年目標	80事業所	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	平成17年度から実施している「防犯かけこみ110番の店」及び「事業者パトロール隊」の設置事業を継続し安全で安心なまち浦安の構築を図った。 浦安市防犯協会ホームページや「浦安市からの重要なお知らせ」メールサービス、紙上防犯かわら版を活用し、犯罪発生情報・防犯情報の提供を行った。						
	評価	子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」にもつながることから、防犯計画に、市の役割として定めている、情報の配信、児童の安全対策が推進できていると評価している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
防犯かけこみ110番の店	目標	—						900店
	実績	714店		618店	618店	551店	500店	
事業者パトロール隊	目標	—						80事業所
	実績	39事業所		37事業者	37事業者	39事業者	39事業者	
平成26年度事業予定	引き続き実施する。							

事業番号	93	事業名	交通事故防止対策の充実			担当課	保健体育安全課	
計画内容	子どもの交通事故防止を図るため、各学校等において警察と連携した交通安全教室や自転車安全運転教室を定期的かつ継続的に開催し、交通安全教育の充実を図るとともに、通学路の安全点検を実施するなどして、市内の交通事情を的確に把握し、特に、交通事故の危険性が高い交差点に交通整理員を配置するなどの対策を推進します。							
	交通安全教室実施校数	平成20年実績	17校			平成26年目標	18校	
	自転車安全運転教室実施校数	平成20年実績	13校			平成26年目標	27校	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●春、夏・秋・冬の各交通安全運動の実施 <ul style="list-style-type: none"> …市立全幼稚園(14園)、全小・中学校(26校) ●交通安全教室(正しい歩行)の実施 <ul style="list-style-type: none"> …市立全小学校(18校)1年生児童1,702名 ●自転車安全運転教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> …市立小学校(18校)3年生児童1,717名 通学路の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ●交通安全上特に配慮を要する交差点における交通整理員の配置 <ul style="list-style-type: none"> …浦安橋東詰交差点他8箇所13名に配置。 ●ボランティアによる登下校時の交通誘導活動 <ul style="list-style-type: none"> …交通安全推進隊員等により誘導。 ●通学路検討会の開催 <ul style="list-style-type: none"> …危険箇所に対する安全点検の実施。 						
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室、自転車安全運転教室の実施により児童等の交通安全意識が高まった。 交通整理員及びボランティアによる交通誘導により、交通事故の発生を未然に防いだ。 通学路検討会(市関係課)により、市内小学校の通学路の現状把握、及び状況に応じた安全対策を講じることができた。 						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
交通安全教室実施校数	目標	—						18校
	実績	17校		18校	18校	18校	18校	
自転車安全運転教室実施校数	目標	—						27校
	実績	13校		12校	18校	18校	18校	
平成26年度事業予定	引き続き交通事故防止対策の充実に向け、交通安全運動、交通安全教室、自転車安全運転教室等を実施し、交通安全教育の充実を図るとともに、ボランティアによる交通誘導活動、通学路検討会の開催及び交通整理員の配置等を通じて通学路の安全対策を講じる。							

事業番号	94	事業名	学校等防犯対策の充実			担当課	保健体育安全課	
計画内容	子どもの安全確保を目的とし、警察と連携した実践的・効果的な防犯訓練、防犯教室の実施により、教職員の危機管理意識の向上と子どもの防犯教育の充実を図るとともに、市立全小学校への屋間帯における警備員配置など防犯体制の強化、学校等の施設・設備の整備などの防犯対策を推進します。また、学校、保護者、地域などと協力・連携を図り、通学路を含めた地域ぐるみの安全・安心な学校づくりに取り組みます。							
	防犯教室実施校数	平成20年実績	17校			平成26年目標	18校	
	防犯訓練(不審者侵入想定)実施校数	平成20年実績	25校 14園			平成26年目標	27校 14園	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 防犯教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●全小学校新入学児童を対象とする防犯教室(連れ去り防止)の実施・・・全小学校18校 ●不審者侵入を想定した防犯訓練の実施・・・市立全小・中学校・幼稚園(26校14園) ●地域安全マップ作成の奨励・・・各小学校の授業で随時実施 防犯体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●各小学校に警備員1名を配置・・・全小学校18校 ●防犯カメラの設置・・・小学校4校、中学校8校、幼稚園6園 通学時の防犯対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●児童の防犯ブザー携行による通学の奨励・・・携行率59.4% 						
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 防犯訓練、防犯教室(連れ去り防止)、地域安全マップ作成等の防犯教育を推進することにより、教職員の危機管理意識の高揚及び児童・生徒の危険予測・回避能力の向上が図られた。 警備員の配置、防犯カメラの設置等防犯体制の強化および防犯ブザー携行による通学の奨励等により、不審者の侵入や児童・生徒が被害者となる連れ去り事件等を未然に防ぎ、児童等の安全が確保された。 						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
防犯教室実施校数	目標	—						18校
	実績	17校		18校	18校	18校	18校	
防犯訓練(不審者侵入想定)実施校数	目標	—						27校 14園
	実績	25校 14園		26校 14園	26校 14園	26校 14園	26校 14園	
平成26年度事業予定	引き続き学校等防犯対策の充実に向け、防犯教室、防犯訓練、地域安全マップ作成の奨励等を通じて防犯教育の充実を図るとともに、学校警備員の配置、防犯カメラの設置等による防犯体制の強化、また併せて児童の防犯ブザー携行による通学の奨励により、通学時の防犯対策の推進を行う。							

事業番号	95	事業名	移動防犯活動事業			担当課	防犯課	
計画内容	特別防犯指導員(警察官OB)を雇用し、年間を通して防犯相談や防犯教室、地域パトロール、地域とのパイプ役として活動します。また、平成24年度には、高洲地区公民館複合施設内に移動防犯事業の拠点を開設し、移動防犯事業の一層の充実を図ります。							
	防犯教室実施校数	平成20年実績	65回			平成26年目標	70回	
	移動防犯事業数	平成20年実績	56事業			平成26年目標	130事業	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>防犯指導員(警察官OB)を非常勤職員採用し、年間を通して防犯教室(不審者対応訓練、児童連れ去り防止教室)を実施するとともに、移動防犯車による定期的な防犯活動の実施や防犯相談、犯罪発生情報の提供、収集、地域との合同パトロール、さらに警察署や地域とのパイプ役として活動を行った。</p> <p>防犯教室については、小学校、幼稚園、保育園、児童育成クラブなどを対象として開催しており、児童や職員などの防犯に対する指導を行い、防犯教育を行っている。</p> <p>また、移動防犯車を活用した防犯事業では、防犯に関するビデオなどの上映や啓発活動などを行い、市民の防犯意識の高揚を図っているほか、市や各種団体が開催するイベントなどで移動防犯車を展示し、啓発を行っている。</p> <p>高洲移動防犯ステーションでは、防犯用具などの展示を行っている。</p>						
	評価	移動防犯事業を公民館で実施したことにより、回数や実施地域の拡大が図れたため、子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」に向け、市の責務とする情報の発信、自主防犯活動の支援、児童の安全対策を推進できたと評価している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
防犯教室実施校数	目標	—						70回
	実績	65回		43回	43回	39回	52回	
移動防犯事業数	目標	—						130事業
	実績	56事業		55事業	29事業	47事業	54事業	
平成26年度事業予定	引き続き、移動防犯事業の実施回数の拡充や防犯教室の実施校の増加、高洲移動防犯ステーションの活用の充実を図っていく。							

事業番号	96	事業名	防犯かわら版の運用・犯罪情報の配信			担当課	防犯課	
計画内容	市内で発生した犯罪情報や緊急情報、防犯関連情報を浦安駅、JR新浦安駅、舞浜駅に設置したモニターで市民に提供するとともに、不審者情報やコンビニ強盗事件発生などの緊急情報は事実を確認後、画面下のテロップで提供します。また「市からの重要なお知らせ」メールでも配信します							
	防犯かわら版の運用	平成20年実績	実施			平成26年目標	継続	
	犯罪発生状況の配信	平成20年実績	実施			平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	防犯かわら版については、機器の老朽化が著しい事などから機器類の入れ替えが必要となり、それらの修繕にあたりコストなどを総合的に考え、今後継続的に運用するには、機器類の交換や大規模な改修が必要となることなど、投資に対し大きな費用対効果は見込めないとの判断に至り廃止とした。 また、震災以降、浦安市の重要なお知らせメールサービスの登録者が大幅に増加したこと、様々な情報を取得するツールが急速に普及したことなどから、防犯かわら版による街頭での情報提供という啓発手段の役割は果たしたものと判断し、運用を終了したものの。						
	評価							
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
防犯かわら版の 運用	目標	—						継続
	実績	実施		242日	235日	廃止	—	
犯罪発生状況の 配信	目標	—						継続
	実績	実施		51回	38回	39件	30件	
平成26年度 事業予定	引き続き実施する。							

事業番号	97	事業名	通学路パトロール(市内見守り隊活動支援等)			担当課	防犯課	
計画内容	青色回転灯を装備した車両による市内パトロール(委託)を継続し、子どもの安全を確保するとともに、地域で防犯活動を行っている自治会やPTA等の団体に対し、中学校区を一区域として防犯活動組織が連携を図り、犯罪情報の共有化や活動の効率化、防犯活動の活性化を図ります							
	市内パトロール(委託)	平成20年実績	実施			平成26年目標	継続	
	連携組織数	平成20年実績	2団体			平成26年目標	8団体	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	市では、市内全域で空き巣、車上狙い、ひったくり、自転車盗難などの発生防止や、さらに子どもの安全確保のため、小学校通学路や幼稚園、保育園周辺のパトロールを警備会社に委託し、365日毎日実施している。 なお、パトロール体制については2台のパトロール車で行っており、パトロール時間帯は1台を15時から24時、もう1台が24時から翌日9時までで実施しており、通学時間帯を含む、子どもの活動時間帯をカバーしている。 見守り隊活動としては、高洲地区で7月と12月に高洲移動防犯ステーションを拠点に、高洲地区合同防犯パトロールを実施したほか、日の出地区、明海地区で、自治会やPTAなどが合同で防犯パトロールを実施した。						
	評価	子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」にもつながることから、防犯計画に定め、市の責務としている、児童の安全対策が推進できていると評価している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市内パトロール (委託)	目標	—						継続
	実績	実施		継続	継続	継続	継続	
連携組織数	目標	—						8団体
	実績	2団体		5団体	3団体	4団体	4団体	
平成26年度 事業予定	引き続き実施する。							

事業番号	98	事業名	スーパー防犯灯の運用			担当課	防犯課	
計画内容	17年度から19年度にかけて、国道357号線沿いに12基設置したスーパー防犯灯を適正に管理運用します。							
	スーパー防犯灯の運用	平成20年実績	運用			平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	本市を東西に通っている国道357号線沿いの陸橋付近を中心に、過去に犯罪が発生していて死角が多くあり周囲に人家等がなく、被害にあってもすぐに助けを呼べない場所に、防犯カメラや警察への通報装置を備えたスーパー防犯灯(街頭緊急通報装置)を、平成17年度から19年度の3カ年計画で各年度4基の計12基を整備し、犯罪発生抑止と犯罪被害者の早期救済を目的に運用している。						
	評価	子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」にもつながることから、防犯計画に定め、市の役割としている、犯罪の機会を減少させるための環境の整備が図れていると評価している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
スーパー防犯灯 の運用	目標	—						継続
	実績	運用		12基	12基	12基	12基	
平成26年度 事業予定	引き続き実施する。							

(3) 子どもと子育てを支える地域づくりの推進

事業番号	99	事業名	あかちゃんほっとすてーしょんの設置	担当課	子ども家庭課			
計画内容	市内の事業所等の協力を得て授乳とおむつ替えが可能な休憩スペースを設置します。また、併せて公共施設にも設置を進めていきます。							
	授乳場所総設置箇所数	平成20年実績	—	平成26年目標	15ヶ所			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	浦安市文化会館に授乳室及びおむつ交換台を設置し、平成25年度末より利用を開始した。また、堀江公民館大規模改修に向け、授乳室の設置の申し入れを行っており、次年度以降の設置に向けての活動も行っている。						
	評価	公共施設の授乳室及びおむつ交換場所の設置から行うことを優先し、集客の多い文化会館に設置予定である。一方、民間事業所への取り組みについては進展していない状況である。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
授乳場所総設置箇所数	目標	—						15ヶ所
	実績	—		1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	
平成26年度 事業予定	引き続き公共施設を優先に授乳室及びおむつ交換場所を設置する。							

事業番号	100	事業名	子育て支援パスポート事業の充実	担当課	子ども家庭課			
計画内容	子育て家庭などに、地域での子育て支援の一つとして、市内の商店等で割引や付加サービス等特典を受けることができるパスポート事業の充実を図ります。協力事業所の通年の募集を図り、利用範囲の拡大に努めます。							
	協力店舗募集	平成20年実績	H22実施	平成26年目標	検証			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成22年4月1日より子育て支援パスポート事業を開始しており、本年度は、新たに13店舗増え、91店舗の事業所にて協賛いただいている。また、平成24年度に協賛いただいている店舗に継続確認やサービス内容の更新を行い、平成26年度版の子育て支援パスポートガイドブックを作成した。						
	評価	毎年、協賛店が増加しており、事業の周知や子育て家庭のパスポートの利用が進んでいる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
協力店舗募集	目標	—						検証
	実績	H22実施		61店	72店	78店	91店	
平成26年度 事業予定	引き続き、子育て支援パスポートの協賛店を拡大するとともに、協賛継続表彰制度を導入する。また、利用者の利便性向上と協賛店の周知を兼ね、協賛店が掲載されている冊子を電子書籍化する。							

事業番号	101	事業名	【重点】子育て・家庭支援者養成事業の実施			担当課	こども家庭課	
計画内容	20歳以上の市内在住、在勤の方を対象に、市内で活動する子育て・家族支援者として十分な知識と技術を習得する、延べ10日間、30コマの講座を実施。講座修了後は認定者の方が支援者としての、活躍の場の紹介やバックアップ研修も行い、講座で学んだ知識を生かし、地域での実践につなげていきます。							
	3級認定者数	平成20年実績	31人	平成26年目標	充実			
	2級認定者数	平成20年実績	17人	平成26年目標	充実			
	子育てケアマネジャー数	平成20年実績	8人	平成26年目標	充実			
	1級認定者数	平成20年実績	H23実施予定	平成26年目標	6人			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>市内で活動する子育て・家族支援者として十分な地域と技術を習得する「子育て・家族支援者養成講座」3級及び2級を実施した。また、すでに活動をしている支援者及び子育てケアマネジャーへのバックアップ研修も実施した。</p> <p>なお、1級講座は平成25年度現在、未実施である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3級講座 平成25年5月～7月実施 ・2級講座 平成25年9月～12月実施 ・バックアップ研修 12回実施 ・子育てケアマネジャー バックアップ研修 6回実施 ・子育てケアマネジャー養成は、定員に不足が発生しないため実施していない。 						
	評価	子育て・家族支援者認定者は着実に増加している。また、認定後には様々な子育て支援の活動を行っており、こうした支援活動のフォローアップも研修を通じて行うことができている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
3級認定者数	目標	—						充実
	実績	31人		33人	40人	52人	38人	
2級認定者数	目標	—						充実
	実績	17人		15人	19人	17人	22人	
子育てケアマネジャー数	目標	—						充実
	実績	8人		8人	8人	8人	8人	
1級認定者数	目標	—						6人
	実績	H23実施予定		未実施	未実施	未実施	未実施	
平成26年度事業予定	子育て家族支援者養成講座3級、2級、バックアップ研修を引き続き行うとともに、1級の実施に向けて1級講座の位置づけ、内容等について検討を行う。また、子育てケアマネジャーについては、ケアプラン作成事業に向けて定員数を引き上げ、養成を実施する。							

事業番号	102	事業名	【重点】子育て応援メッセージ実行委員会補助金交付			担当課	こども家庭課	
計画内容	妊娠中の方から未就学児を持つ方を対象に、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流が行なえる場を提供する子育て応援メッセージを開催するため設置される、実行委員会に運営費補助金を交付します。							
	子育て応援メッセージ開催	平成20年実績	H22実施	平成26年目標	検証			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	妊娠中から未就学児を持つ市民を対象に、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流などを目的に開催した「子育て応援メッセージ」の実行委員会に対し、補助金を交付した。						
	評価	平成25年9月28日(土)に子育て応援メッセージが開催され、市で子育て支援活動を行う団体が一堂に集まり、行政機関や民間団体などの情報が収集できる場として、過去最多の参加者が集まり、好評のうちに終了した。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
子育て応援メッセージ開催	目標	—						検証
	実績	H22実施		実施	2,717人	3,120人	2,720人	
平成26年度事業予定	引き続き子育て応援メッセージ実行委員会へ補助金を交付し、行政機関や民間団体などの情報が収集できる場を提供する。また、補助金額や必要性について検証を行う。							

5. 一人ひとりが主役のまち うらやす

(1) 子育てと仕事の両立などの環境づくりの推進

事業番号	103	事業名	【重点】延長保育の実施				担当課	保育幼稚園課
計画内容	延長保育が必要と認められる子どもに対し、早朝及び夕方の延長保育を認可保育園にて実施します。							
	実施園数	平成20年実績	15園		平成26年目標	17園		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成18年度より認可保育所15園において、平日7時から19時までの12時間保育を実施し、土曜は7時から16時までとした。 公設民営保育園2園は、土曜日の開所時間を有料で19時まで延長している。 また、私立保育園4園では、平日19時以降や土曜日16時以降も有料にて実施している。 ■平成26年3月末現在実績値 年間実利用児童数 18園 1,574人						
	評価	就労形態の多様化等への対応から、平成24年度に開園した私立保育園2園は平日20時まで、土曜日は16時以降も延長保育を実施している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施園数	目標	—						17園
	実績	15園		15園	17園	18園	18園	
平成26年度 事業予定	引き続き延長保育を実施する。							

事業番号	104	事業名	休日保育の実施				担当課	保育幼稚園課
計画内容	市民の保育ニーズに対応するため、認可保育園での休日・夜間保育を実施します。							
	実施園数	平成20年実績	1ヶ所		平成26年目標	1ヶ所		
	利用者数	平成20年実績	196人		平成26年目標	200人		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	私立保育園2園で休日保育を実施した。 ■平成26年3月末現在実績値 延412人						
	評価	これまで休日保育実施園は新町地区に1園だけだったが、元町地区に平成23年10月より1園増えたことにより、これまで以上に利用しやすくなった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施園数	目標	—						1ヶ所
	実績	1ヶ所		1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	
利用者数	目標	—						200人
	実績	196人		224人	269人	288人	412人	
平成26年度 事業予定								

事業番号	105	事業名	企業への男女の平等な待遇等の意識啓発の推進				担当課	商工観光課
計画内容	企業を対象に、男女の平等な待遇等の意識啓発を行います。							
	ポジティブアクションセミナー開催回数	平成20年実績	1回			平成26年目標	1回	
	パンフレットの設置・配布	平成20年実績	通年			平成26年目標	通年	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>商工観光課窓口にも男女雇用機会均等法に関する関係機関のパンフレット設置やホームページへ掲載するなど、具体的取り組みを援助するための事業について情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットの設置・配布：通年 ●広報(ホームページ)への掲載：随時 						
	評価	<p>職場における男女格差や不平等な慣行を解消するため、ポジティブ・アクションの重要性、手法について企業の理解を深め、女性の能力発揮を促進し、その有効な活用を図るため、雇用管理体制の整備について意識の向上に寄与しています。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ポジティブアクションセミナー開催回数	目標	—						1回
	実績	1回					—	
パンフレットの設置・配布	目標	—						通年
	実績	通年		通年	通年	通年	通年	
平成26年度 事業予定	男女の平等な待遇等の意識啓発の推進のため、今後も関係機関と連携し、パンフレットの設置や広報(ホームページ)への掲載など情報提供を実施していく。							

事業番号	106	事業名	【重点】仕事と育児・介護の両立に関する意識啓発の推進			担当課	企画政策課 商工観光課	
計画内容	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に向けて、育児・介護休業制度の周知をはじめとした啓発などを推進します。							
	再就職準備セミナー開催回数	平成20年実績	1回	平成26年目標	1回			
	パンフレットの設置・配布	平成20年実績	通年	平成26年目標	通年			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(企画政策課)</p> <p>①女性プラザ推進講座「子育てがラクになる女性学講座」の実施 【日時】平成25年5月29日、6月5日、6月12日(午前10時～12時)全3回 【場所】文化会館第1会議室、中会議室 【参加人数(延べ)】34人</p> <p>②女性プラザ推進講座ステップアップ編の実施「女性学講座ワークショップ～“ジェンダーのめがね”のはずし方」 【日時】平成25年9月24日、10月8日(午前10時～12時)全2回 【場所】文化会館中会議室 【参加人数(延べ)】22人</p> <p>③女性プラザ推進講座・特別講演会の実施「しつけと虐待のはざままで～子どもが安心して育つ社会のために」 【日時】平成25年6月19日(午前10時～12時) 【場所】文化会館中会議室 【参加人数】25人</p> <p>④女性プラザ・インフェメーションカフェの実施「知っ得！パート・派遣・契約で働くための法律基礎知識」 【日時】平成25年10月5日(午後2時～4時) 【場所】女性プラザ 【参加人数】12人</p> <p>⑤「うらやすP-Life男女共同参画ニュース」の発行(3月発行) テーマ・内容:女性の活躍について 新聞折り込み(52,250部)及び市内公共施設で配布</p> <p>(商工観光課) 関係機関と共催でセミナーを開催し、仕事と育児・介護の両立に関する関係機関のパンフレットを商工観光課窓口に設置し、情報提供を行った。 ●中高年の再就職支援セミナー及び出張就労相談会 平成25年11月1日(金)実施 セミナー受講者:20名、個別相談件数:2件 ●パンフレットの設置・配布:通年 ●広報(ホームページ)への掲載:随時</p>						
	評価	<p>(企画政策課) 25年度の女性プラザ推進講座では、「子育て」をテーマに女性学講座の基礎編、ステップアップ編を開催するなど、子育て中の母親を対象に、ジェンダーの視点から子育てを考える機会を提供することができました。</p> <p>(商工観光課) 出産、育児、介護などのやむを得ない理由で退職し、今後再就職を希望する方を対象にしたセミナーの開催など情報提供を行い、仕事と育児・介護の両立に関する重要性を認識し、意識の向上に寄与しています。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
再就職準備セミナー開催回数	目標	—						1回
	実績	1回	1回	2回	1回	1回	1回	
パンフレットの設置・配布	目標	—						通年
	実績	通年		通年	通年	通年	通年	
平成26年度 事業予定	<p>(企画政策課) 引き続き、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行います。</p> <p>(商工観光課) 女性にとって働きやすい環境を整備し、仕事と育児・介護の両立支援の普及・啓発を推進するために、今後も情報提供及び必要となる基礎知識等を身につけるためセミナーの開催など関係機関と連携を取りながら実施していく。</p>							

事業番号	107	事業名	【重点】育児・介護休業に関する啓発の実施		担当課	商工観光課		
計画内容	男性が仕事だけでなく家庭生活を共に担えるよう、育児・介護休業取得に関する啓発を行います。							
	パンフレットの設置・配布	平成20年実績	通年		平成26年目標	通年		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	育児・介護休業に関する関係機関作成のパンフレット等を浦安市地域職業相談室や商工観光課窓口を設置している。 ●パンフレットの設置・配布：通年 ●広報（ホームページ）への掲載：随時						
	評価	育児・介護休業に関する関係機関パンフレット等を設置し啓発することにより、企業の男女従業員の仕事と子育て・介護の両立支援など、雇用環境の整備について意識の向上に寄与しています。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
パンフレットの設置・配布	目標	—						通年
	実績	通年	通年	通年	通年	通年	通年	通年
平成26年度事業予定	働く男女が安心して働き続けるために、仕事と育児・介護などの家庭生活を両立し、男女が共に家庭的責任を負えるよう意識の啓発のため、今後も関係機関と連携しパンフレットの配布などの啓発活動を実施していく。							

事業番号	108	事業名	女性の職業能力の開発とさまざまな働き方への支援の実施		担当課	商工観光課		
計画内容	パートタイマー雇用管理講習会等の開催、労働に関する法制度の普及に関する講座、女性の再就職支援講座、労働相談、再就職等の情報提供や相談、労働関係講座の実施などを行い、女性に対する職業能力の開発支援を行うとともに、パートタイム、派遣労働、SOHO※、フリーランスなど、様々な働き方に対する支援を行います。（※会社と、自宅や郊外の小さな事務所をコンピュータネットワークで結んで仕事場にしたもの）							
	労働・社会保険相談開催回数	平成20年実績	月1回		平成26年目標	月1回		
	浦安市地域職業相談室	平成20年実績	通年		平成26年目標	通年		
	パンフレットの設置・配布	平成20年実績	通年		平成26年目標	通年		
	創業支援セミナー開催回数	平成20年実績	年2回		平成26年目標	年2回		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	就労における男女平等などの推進、女性の再就職や職業能力の開発の支援などを行うため、関係機関と共催でセミナーを開催。 また、労働・社会保険相談、浦安市地域職業相談室における職業相談等の相談事業のほか、関係機関のパンフレットなどを商工観光課窓口や浦安市地域職業相談室に設置し、さまざまな情報提供を行っている。 ●労働・社会保険相談：月2回実施 ●浦安市地域職業相談室：通年 ●パンフレットの設置・配布：通年 ●創業支援セミナー 8月24日(土)、8月31日(土)、9月7日(土)、9月14日(土)の4日間実施 セミナー受講者：34名(うち、女性14名) ●中高年の再就職支援セミナー及び出張就労相談会 平成25年11月1日(金)実施 セミナー受講者：20名(うち、女性13名)、個別相談件数：2件(うち、女性2名) ●広報（ホームページ）への掲載：随時						
	評価	多種多様な就業ニーズを踏まえ各種セミナーの実施により、女性の職業能力を開発し、女性の働き方に対する選択肢を増やす支援に寄与しています。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
労働・社会保険相談開催回数	目標	—						月1回
	実績	月1回	月1回	月1回	月1回	月2回	月2回	
浦安市地域職業相談室	目標	—						通年
	実績	通年	通年	通年	通年	通年	通年	通年
パンフレットの設置・配布	目標	—						通年
	実績	通年	通年	通年	通年	通年	通年	通年
創業支援セミナー開催回数	目標	—						年2回
	実績	年2回	年2回	年2回	年1回	年2回	年1回	
平成26年度事業予定	今後も関係機関と連携し、セミナーの開催やパンフレットの配布など様々な情報提供を行い、女性の職業能力の開発と自分に合った働き方の支援を推進していく。							

事業番号	109	事業名	市職員の育児休業取得の促進			担当課	人事課	
計画内容	市職員の育児休業取得を促進するなど、子育てと仕事の両立を図るために、必要な雇用環境の整備に取り組めます。							
	職員への周知		平成20年実績	実施		平成26年目標	実施	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	市職員の育児休業取得を促進し、本市においても子育てと仕事の両立を図るため、男性職員の育児等に関する休暇・休業制度について周知してきた。						
	評価	育児休業等(部分休業、育児時間、子の看護)は、男女がともに取得できることを周知してきた。今後も引き続き、制度の周知や子育てと仕事の両立を図るために、必要な職場環境の整備に取り組む。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
職員への周知	目標	—						実施
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	
平成26年度 事業予定	引き続き、制度の周知や情報の提供を以って、子育てと仕事の両立支援に努めていく。							

事業番号	110	事業名	【重点】【新規】ワーク・ライフ・バランス 優良企業表彰制度の検討			担当課	商工観光課	
計画内容	市内において、ワーク・ライフ・バランスに努めており、他の模範となるような事業所に対して表彰を行う優良企業表彰制度について検討を行います。表彰を受けることにより、得られる企業の特典などもあわせて検討します。							
	事業検討		平成20年実績	H22新規事業		平成26年目標	検証	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	市内に所在する中小企業を対象とし、経営の合理化、近代化、作業環境、販売・生産技術、新商品の開発、労務(男女共同参画、子育て支援など)等において他の模範となり、市のイメージアップに貢献している企業や商店を表彰している。平成25年度は、各団体より推薦のあった企業への訪問・審査を行い、優良企業表彰制度審査会を開催した。3月27日に受賞者(2社)の表彰式を挙行了。						
	評価	市内中小企業を表彰することで、企業の経営意欲を促し、市内企業の活性化、産業の発展及び振興及び市のイメージの向上に寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業検討	目標	—						検証
	実績	H22新規事業	9社	延期	9社	5社	2社	
平成26年度 事業予定	ワーク・ライフ・バランスの重要性、手法について理解を深めるよう企業に周知を図るとともに、企業の具体的取組を援助するため今後も実施していく。							

(2) 子どもの権利擁護と児童虐待・ドメスティックバイオレンス(DV)対策の強化

事業番号	111	事業名	こども条例制定事業			担当課	こども家庭課	
計画内容	次代を担う子どもが夢や希望を持ち、健やかに成長することができるよう、子どもと大人(市民・保護者・学校・地域・企業等)の共通目標として、子どもの意思や自主性の尊重、人権保護などを謳ったこども条例・こども憲章について検討し制定します。							
	制定・推進	平成20年実績	H21新規事業		平成26年目標	推進		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	児童虐待から子どもを守るための児童虐待予防と防止に関する施策の推進を目的とした「浦安市の子どもをみんなで守る条例」を平成24年4月1日公布、7月1日施行した。この条例の周知及び子どもに対する児童虐待についての知識普及や啓発を目的とした子ども向けリーフレットを全公立小・中学校新入生に配布した。						
	評価	子ども向けリーフレットの配布により、子どもにも児童虐待について知る機会を与えたことで、子どもから大人まで広く本条例と児童虐待の防止について周知と啓発が図れた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
制定・推進	目標	—						推進
	実績	H21新規事業		検討	議決	公布・施行	推進	
平成26年度事業予定	引き続き、大人や子どもたちに向けて児童虐待防止の取り組みの必要性や児童虐待に関する知識普及を周知する。また、市職員が早期に児童虐待を見抜くことが出来るよう職員向けの研修会なども行う。							

事業番号	112	事業名	ドメスティックバイオレンス(DV)対策推進事業			担当課	企画政策課 (女性プラザ)	
計画内容	女性のための相談事業において、DVについての相談を実施します。DV相談支援カード、DV被害者の自立に向けた支援などをまとめた冊子の発行などDVについての情報提供やDV被害者の自立を支援する民間団体への援助を行います。							
	延相談件数	平成20年実績	605件		平成26年目標	継続		
	自立支援冊子・支援カード等発行	平成20年実績	実施		平成26年目標	継続		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>「女性のための相談」を実施するとともに、DVに関する情報提供を行いました。その他、ステップハウスを運営する民間団体への支援を行いました。</p> <p>①「女性のための相談」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ相談件数:661件 <p>②DV啓発リーフレット「暴力に沈まないで」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数:2,000部 <p>③DV被害者自立支援冊子の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数:500部 <p>④「うらやすP-Life男女共同参画ニュース」の発行(11月発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デートDV」を特集記事として掲載 ・新聞折り込み(52,250部)、及び市内公共施設で配布 						
	評価	「女性のための相談」では、夜間の相談日を月3回から5回に増やし、日中に相談を受けられない方がより受けられやすい体制に改善しました。また、DV等の緊急ケースに対応できるよう、直近の相談枠を確保しておくなどの工夫をしています。また、DVについての情報提供の充実を図るため、DV啓発リーフレットの内容を刷新しました。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延相談件数	目標	—						継続
	実績	605件		621件	616件	575件	661件	
自立支援冊子・支援カード等発行	目標	—						継続
	実績	実施		5,000枚	5,000枚	5,000枚	500部	
平成26年度事業予定	「女性のための相談」を実施するとともに、DV被害者を支援につなげていくため、引き続きDV相談支援カードなどによる相談窓口の周知を行っていく。また、ステップハウスを運営する民間団体への支援を実施する。							

事業番号	113	事業名	こども家庭支援センターの機能強化			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	地域で安心して子育てができる環境づくり、また、児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応します。ひとり親家庭や婦人問題に関する相談、指導、支援事業も行います。							
	就労支援講座受講者数	平成20年実績	11人		平成26年目標	25人		
	パソコン教室受講者数	平成20年実績	14人		平成26年目標	25人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	浦安市における児童虐待の相談窓口として、市民、関係機関からの虐待通報を受け付けると共に、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、被虐待児や、非行、障がいを持つ児童を含めた要保護児童への支援に取り組んだ。また、ひとり親家庭やDVなど婦人問題に関する相談指導、支援事業を行った。						
	評価	要保護児童対策地域協議会の機能を活用し、保護を必要とする児童家庭の支援について関係機関との連絡調整、情報共有が幅広く図られた。 また、ひとり親家庭への支援では、就労支援講座等を開催し、受講者の就労、転職に結びつけている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
就労支援講座受講者数	目標	—						25人
	実績	11人		6人	6人	9人	12人	
パソコン教室受講者数	目標	—						25人
	実績	14人		18人	10人	12人	25人	
平成26年度事業予定	引き続き相談体制と関係機関との連絡調整機能を維持するとともに、就労支援講座を年間3回実施する予定。							

事業番号	114	事業名	【重点】 要保護児童対策地域協議会の充実			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	平成20年12月に児童福祉法の一部が改正され、これまでの要保護児童の対象に要支援児童及び特定妊婦を追加することが盛り込まれたことに伴い、要綱の改正を行ない、協議会のメンバーに青少年課と順天堂大学医学部附属浦安病院も加わったことを踏まえ、さらなる関係機関の連携強化を図っていきます。							
	代表者会議開催回数	平成20年実績	2回		平成26年目標	充実		
	実務者会議開催回数	平成20年実績	12回		平成26年目標	充実		
	個別支援会議開催回数	平成20年実績	21回		平成26年目標	充実		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	平成25年4月の組織改編に伴い、代表者会議に障がい事業課長が加わりました。						
	評価	協議会の役割として、各機関が情報交換を行い円滑な支援を行っていくことがあるが、特に今年度は個別支援会議が多く開催され、個別の支援ケースに関して、より細やかな対応の協議が図れた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
代表者会議開催回数	目標	—						充実
	実績	2回		2回	2回	2回	2回	
実務者会議開催回数	目標	—						充実
	実績	12回		12回	12回	12回	12回	
個別支援会議開催回数	目標	—						充実
	実績	21回		29回	19回	29回	43回	
平成26年度事業予定	引き続き代表者会議、実務者会議を通じて円滑な情報交換を行い、要保護児童の対応の充実を図る。							

事業番号	115	事業名	【重点】虐待対応のための家庭訪問の充実			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	育児不安、育児ストレスがある家庭、また、特定妊婦や家庭に問題を抱えた家庭に対して悩み事の相談や訪問を行い、児童虐待防止・予防に取り組みます。また、虐待などにより施設等へ入所した児童が家庭に戻った時、虐待再発防止のため親子の継続的支援として家庭訪問を行います。							
	延家庭訪問件数	平成20年実績	H21新規事業		平成26年目標	推進		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	養育力の不足している家庭に訪問を行い、育児の困り感を聞き取り、助言をお行うほか、産前より支援を行っていた特定妊婦が出産した後は、家庭内で沐浴など実際の養育の手技をやって見せるなどする支援を行っている。						
	評価	訪問件数自体は前年度比では減少の見込みですが、個別の内容では、養育力の不足している保護者に具体的な育児手法の提示や社会資源の提供を行うなど、ケースに寄り添った対応が行えている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延家庭訪問件数	目標	—						推進
	実績	H21新規事業		259回	272回	269回	249回	
平成26年度事業予定	引き続き虐待再発防止のため家庭訪問をしていく。							
事業番号	116	事業名	ファミリー・ソーシャル・ワーク機能の推進			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	急増する子ども虐待への対応には、虐待を受けた子どもだけでなく、虐待をする親を含めた家族全体への援助、いわゆるファミリー・ソーシャル・ワークが重要です。ファミリー・ソーシャル・ワーク機能の強化を目指し、関係機関及び個々の援助者の援助技術の向上、関係機関の連携強化を推進します。							
	ファミリー・ソーシャル・ワーク機能の推進	平成20年実績	実施		平成26年目標	推進		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	こども虐待の再発予防のため、虐待を受けた子どもだけでなく、その父母や他の親族とも面接し、家族間調整などの支援を行う。専門的な援助を要するケースや、家族全体を1つの機関で対応することが出来ないケースなどは、児童相談所、学校、保健師など他の機関と情報交換、連携して対応している。						
	評価	要保護児童対策地域協議会の機能を活用し、関係機関との連携の上、各家庭への支援を実施することができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ファミリー・ソーシャル・ワーク機能の推進	目標	—						推進
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	
平成26年度事業予定	引き続き研修参加を通じ、相談員・職員の個々の援助技術の向上に努めるとともに、関係機関の連携強化で相互に補完的な援助体制の強化を図る。							

事業番号	117	事業名	関係機関への研修、講演会の実施			担当課	子ども家庭支援センター(子ども家庭課)	
計画内容	児童虐待に関する理解浸透、個々の対応技術の向上を目指し、関係機関への研修、講演会の実施を行います。							
	実務者対象研修会開催回数	平成20年実績	1回			平成26年目標	充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	日頃、窓口業務等で子どもや親に接することの多い職員や、各種の相談業務に携わる職員を対象とした研修会を実施しました。						
	評価	子ども担当の部署や相談業務に携わっていても、児童虐待に関する具体的な内容を知る機会は少ないが、研修会を実施したことで、その後に適切な相談機関を紹介することができた事例もあり、有効であった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実務者対象研修会 開催回数	目標	—						充実
	実績	1回			5地区各1回	1回	4回	
平成26年度 事業予定	子ども担当の部署だけでなく、医師など専門職向けの講演会の実施を検討している。							

事業番号	118	事業名	子ども虐待ホットラインの周知			担当課	子ども家庭支援センター(子ども家庭課)	
計画内容	虐待を受けたと思われる子どもを見つけた場合などの相談受付となる、子ども虐待ホットラインの周知を図り、虐待の防止や早期発見に努めます。							
	PR用チラシの配布枚数	平成20年実績	4,000枚			平成26年目標	推進	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	市民祭りや駅前でのキャンペーン活動を通じて、子ども虐待ホットラインの電話番号を記したチラシ・カードの配布を行ったほか、広報うらやすで特集号を組み、子育てに悩む保護者には、悩みを抱えたらすぐに相談することを市のメッセージとして伝えた。						
	評価	虐待と思われる事例を発見した場合は、すぐに市、または児童相談所に相談することを周知しており、今年度も児童虐待相談受付件数(虐待が疑われる事例の相談件数。非虐待を含む)は前年度を上回っている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
PR用チラシの 配布枚数	目標	—						推進
	実績	4,000枚		4,500枚	1,500枚	7,000枚	4,500枚	
平成26年度 事業予定	浦安市の子どもをみんなで守る条例の啓発とともに虐待ホットラインの周知に努める。							

事業番号	119	事業名	いじめ110番の設置				担当課	指導課
計画内容	教育委員会に「いじめ110番」専用電話を設置し、いじめ予防とその防止及びいじめ問題の早期解消を図る。							
	延相談件数	平成20年実績	27件			平成26年目標	充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	平成25年4月から平成26年3月までの状況で、24件の相談がありました。相談の多くは、児童生徒の保護者からのものであり、学校に相談したらよいかどうかを迷っているケースや学校に相談したが解決にいたらないため相談してくることがあった。当該校が把握できた場合は学校と連携を図り、いじめの早期解消に努めることができた。今年度は「いじめ110番」のフリーダイヤル番号の周知及びいじめ防止の対策等のために、ポスターを作成し、学校及び市内の公共施設等に配布して相談機関の周知を図った。また、受付時間外の電話については、24時間いじめ相談ダイヤルの番号案内を音声ガイダンスで行うなど、相談者が常に相談できる環境にした。さらに、教育情報誌「うらやすスタイル」を通じて、いじめ110番の取組について、保護者向けにアピールを行った。						
	評価	いじめ防止対策推進法が施行され、学校外でのいじめの相談機関の必要性が高まる中、市内の児童生徒及びその保護者の相談機関として、いじめの早期発見・解消を図るために本事業は寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延相談件数	目標	—						充実
	実績	27件		16件	18件	17件	24件	
平成26年度 事業予定	引き続き、学校と教育委員会とが連携して、いじめの早期解消に努める。また、本相談事業の広報活動を積極的に行うとともに、いじめ防止に関する啓発活動を推進し、関係機関との連携を一層強化する。							

(3) ひとり親家庭など困難を抱える子どもと家庭の自立支援の推進

事業番号	120	事業名	【重点】 家庭児童相談の充実				担当課	子ども家庭支援センター(子ども家庭課)
計画内容	地域で安心して子育てができる環境づくり、また、児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関する様々な問題に総合的に対応します。							
	延家庭児童相談件数	平成20年実績	7,842件			平成26年目標	充実	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	地域で安心して子育てができる環境づくり、また、児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応した。						
	評価							
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延家庭児童相談件数	目標	—						充実
	実績	7,842件		9,745件	11,210件	10,393件	11,043件	
平成26年度 事業予定	相談対応職員の増員に伴い、より綿密で細やかな対応を行っていく。							

事業番号	121	事業名	ひとり親家庭相談の実施			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	ひとり親家庭の生活等の相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行います。							
	延母子・婦人相談件数		平成20年実績	902件		平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	母子自立支援員が2名体制で、ひとり親家庭の生活等の相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行っていく。						
	評価	雇用情勢が低迷している中、特に就労相談が増えており、ハローワーク等の関係機関との連携強化が大切と考える。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延母子・婦人 相談件数	目標	—						継続
	実績	902件		1,675件	1,877件	1,674件	1773件	
平成26年度 事業予定	引き続き相談を実施する。							

事業番号	122	事業名	ひとり親家庭ホームヘルプサービスの 実施			担当課	こども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	小学生以下の児童がいるひとり親家庭で、父母が技能習得のための通学や就職活動、傷病、事故、冠婚葬祭などの理由で一時的に生活援助を必要としている場合、または、生活環境の変化などで日常生活に支障が生じている場合、ホームヘルパーを派遣します。							
	派遣世帯数		平成20年実績	3世帯		平成26年目標	継続	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	小学生以下の児童がいるひとり親家庭で、父母が技能習得のための通学や就職活動、傷病、事故、冠婚葬祭などの理由で一時的に生活援助を必要としている場合、または、生活環境の変化などで日常生活に支障が生じている場合、ホームヘルパーを派遣している。						
	評価	母子家庭の母の技能習得を理由とする派遣が多く、利用料が低額であるためひとり親家庭の自立支援に役立っている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
派遣世帯数	目標	—						継続
	実績	3世帯		5世帯	11世帯	4世帯	4世帯	
平成26年度 事業予定	今後も生活援助が必要なひとり親家庭へのホームヘルパー派遣を実施していく。							

事業番号	123	事業名	母子家庭等就労支援事業の実施			担当課	子ども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	パソコン教室や就労支援講座の開催、また、自立支援プログラム策定事業については、ハローワークなどと連携しつつ、きめ細かな就労支援を行います。							
	パソコン教室基礎編参加者数	平成20年実績	14人		平成26年目標	20人		
	就労支援講座参加者数	平成20年実績	11人		平成26年目標	25人		
	自立支援プログラム策定事業申請者数	平成20年実績	8人		平成26年目標	20人		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	「シングルマザーお仕事応援セミナー(ワード・エクセル基礎、就活講座)」平日コース(6月)、夜間コース(9月～10月)、土曜コース(1月～3月)を各1回実施した。						
	評価	パソコン教室と就労支援講座を一貫プログラムを原則としていますが、希望者には選択制とするなど参加しやすくしています。また夜間コースを設けたところ、働きながら転職をめざす方に好評だった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
パソコン教室基礎編参加者数	目標	—						20人
	実績	14人		18人	10人	9人	25人	
就労支援講座参加者数	目標	—						25人
	実績	11人		6人	6人	14人	12人	
自立支援プログラム策定事業申請者数	目標	—						20人
	実績	8人		1人	12人	4人	2人	
平成26年度事業予定	引き続きパソコン講座と就労支援セミナーを開催していく。							

事業番号	124	事業名	母子家庭等自立支援給付金事業の実施			担当課	子ども家庭支援センター(こども家庭課)	
計画内容	母子家庭等に対する自立支援の一環として、母子家庭の母または父子家庭の父の就業をより効果的に促進するため、教育訓練講座や高等技能訓練の受講者に対し給付金を支給し、個々の主体的な能力開発の取り組みを支援します。							
	母子家庭等自立支援教育訓練費用助成件数	平成20年実績	3件		平成26年目標	継続		
	母子家庭等高等技能訓練促進費給付件数	平成20年実績	1件		平成26年目標	継続		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭等自立支援教育訓練費用助成 母子家庭の母または父子家庭の父が自主的に行う職業能力の開発を推進するため、雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座を受講した場合、訓練終了後に教育訓練給付金を支給する。 平成19年10月より国の基準が受講にかかる費用の40%から20%の引き下げとなったが、本市では現行維持の40%を支給している。 母子家庭等高等技能訓練促進費支給 就業又は育児と修業の両立が困難な母子家庭の母または父子家庭の父が、就職に有利な資格を取得するために養成機関において2年以上のカリキュラムを修業する場合にその生活を支援するため支給する。支給期間:修業中の全期間(24年度までの入学者は上限3年、25年度入学者は上限2年) 支給額:市民税非課税世帯 100,000円 課税世帯 70,500円 対象資格:就職の際に有利となるものであって、かつ法令の定めにより養成機関において2年以上のカリキュラムを修業することが必要とされる資格(例)看護師 准看護師 保育士 理学療法士 作業療法士など ※ 平成25年度から父子家庭も対象とし、支給期間の上限が3年から2年となった。 						
	評価	平成25年度末の卒業見込者2名のいずれも経済的自立が見込まれ、成果は表れている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
母子家庭等自立支援教育訓練費用助成件数	目標	—						継続
	実績	3件		3件	1件	2件	3件	
母子家庭等高等技能訓練促進費給付件数	目標	—						継続
	実績	1件		6件	4件	5件	7件	
平成26年度事業予定	引き続き事業を継続し、母子家庭及び父子家庭の自立のための技能習得を支えていく。高等技能訓練促進費については、受給者が養成機関3年目以降も安定して修業を継続するため、福祉資金貸付等、他事業との連携が課題。							

事業番号	125	事業名	母子父子家庭等医療費等助成の実施			担当課	こども家庭課	
計画内容	ひとり親家庭等の保健の向上と経済的負担の軽減を図るため、ひとり親家庭の18歳未満の子ども及び親が保険診療又は保険調剤を受けた場合、対象者又はその養育者が負担すべき額から一部負担金を控除した額を助成します。							
	延人数	平成20年実績	994人		平成26年目標	1,000人		
	件数	平成20年実績	7,729件		平成26年目標	8,000件		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	保険診療を受診した際に場合に支払う自己負担金から、受給資格者負担金等を差し引いた額を助成。(受給資格者負担金は1レセプトにつき1ヶ月に1,000円)。所得制限有り。						
	評価	ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るとともに、当該家庭の健康向上に成果を上げている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延人数	目標	—						1,000人
	実績	994人		1,143人	1,097人	1,164人	1,038人	
件数	目標	—						8,000件
	実績	7,729件		6,429件	6,570件	6,923件	6,556件	
平成26年度 事業予定	現行通り実施する。							

事業番号	126	事業名	母子住宅手当の支給			担当課	こども家庭課	
計画内容	母子家庭が自立して子育てを行っていくことを支援するため、賃貸住宅に暮らす母子家庭に月額15,000円を限度として支給します。							
	受給世帯数	平成20年実績	416世帯		平成26年目標	450世帯		
	延件数	平成20年実績	4,827件		平成26年目標	5,000件		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	20歳未満の子どもを養育している母子家庭等の世帯主で、月額10,000円を超える家賃を支払っている者に対し月額15,000円を限度に支給。所得制限有り。						
	評価	母子家庭等の経済的負担の軽減と住環境の安定を図ることに成果を上げている。近年の母子家庭の増加により、受給世帯数は増加傾向にある。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受給世帯数	目標	—						450世帯
	実績	416世帯		473世帯	490人世帯	497世帯	519世帯	
延件数	目標	—						5,000件
	実績	4,827件		5,457件	5,744件	5,753件	6,083件	
平成26年度 事業予定	平成26年8月より助成対象を父子家庭等に拡大し、所得制限の基準を厳格化する。名称を浦安市ひとり親家庭住宅手当に改正する。							

事業番号	127	事業名	浦安市適応指導教室の設置			担当課	指導課	
計画内容	心理的・情緒的要因によって、集団不適応、不登校傾向にある児童生徒を対象に、学習活動・集団活動を通して自己決定力の育成を支援・援助するとともに、集団生活への適応能力を育成する。							
	通級児童・生徒数	平成20年実績	18人		平成26年目標	充実		
	教育相談件数	平成20年実績	182件		平成26年目標	充実		
	訪問相談児童・生徒数	平成20年実績	8人		平成26年目標	充実		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>◆25年度(平成26年3月末現在)</p> <p>①いちよう学級 通級児童・生徒数 ・通級生徒数 5名(全員中学生)・仮通級生徒数 6名(中学生5名・小学生1名)</p> <p>②教育相談件数 139件</p> <p>②訪問相談生徒数 6名(中学生5名、小学生1名)</p> <p>◆主な活動内容</p> <p>いちよう学級では、心理的・情緒的要因によって、集団不適応、不登校傾向にある児童・生徒を対象に、本人、保護者、学校で協議を行った上で通級を希望する児童・生徒の受け入れを行った。学習指導・集団活動等とおして、自己決定力の育成を支援・援助し、集団生活への適応能力を育成することを目的として支援を行った。</p> <p>教育相談では、園児・児童・生徒を始めとする浦安市の子どもの健やかな成長を図ることを目的として、不登校や生活行動等、学校不適応問題に関して、子ども及びその保護者、教育関係者からの相談に応じた。</p> <p>訪問相談では、自己決定力の育成を支援・援助することを目的とし、心理的・情緒的要因によって不登校傾向、ひきこもり傾向にある児童・生徒及びその保護者を対象に訪問によるカウンセリングを行った。</p>						
	評価	<p>いちよう学級の通級生は、学習活動や集団活動等を通して様々な体験を積み重ね、小集団の生活に適応できるようになってきている。児童・生徒の「心の居場所」としてだけでなく、心身の成長を支援する場としての意義は大きい。</p> <p>教育相談においては、子ども及びその保護者、教育関係者からの相談に対応し、個々の状況に応じた支援策を検討し、具体的な対応を行うことができた。訪問相談においては、不登校傾向、ひきこもり傾向にある児童・生徒及びその保護者を対象に訪問によるカウンセリングを行い、いちよう学級に通級できるようになったり、対話時間が長くなったりするなどの好転が見られた。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
通級児童・生徒数	目標	—						充実
	実績	18人		22人	3人	6人	5人	
教育相談件数	目標	—						充実
	実績	182件		133件	93件	111件	139件	
訪問相談児童・生徒数	目標	—						充実
	実績	8人		13人	8人	6人	6人	
平成26年度 事業予定	引き続き、個々のケースにあったよりきめ細やかな対応を行う。主任心理相談員を新たに配置し、自己肯定感・自己有用感を育成するための支援・援助の充実を図る。適応指導教室についての周知を行い、支援が必要な児童・生徒保護者が適切な情報を得られるようにしていく。							

事業番号	128	事業名	【重点】外国人相談窓口の実施			担当課	地域ネットワーク課	
計画内容	外国人も生活しやすい環境を整備するため、外国人アドバイザーが相談を受けます。行政情報の提供や庁舎内窓口業務のサポート、さらに、子どもの学校や医療等を含めた日常生活に関する様々な相談を受け付けています。							
	延相談件数	平成20年実績	577件			平成26年目標	600件	
	延対応言語数	平成20年実績	7ヶ国語			平成26年目標	7ヶ国語	
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	外国人アドバイザーが情報の提供、医療や子育て等日常生活に関する様々な相談を受ける窓口を設置している。 [アドバイザー] 3名 [開設日] 毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後4時(正午から午後1時除く) [言語] 月・火曜日 英語・ポーランド語・フランス語・ロシア語・日本語 水・木曜日 英語・スペイン語・日本語 金曜日 英語・中国語・日本語 [費用] 無料 [方法] 市役所に来庁または電話						
	評価	日本語の不自由な外国人が日々の暮らしの中で必要な情報を、日本語だけでなく外国語で情報提供することにより、在住外国人に対しての支援を行うことができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延相談件数	目標	—						600件
	実績	577件		455件	482件	503件	512件	
延対応言語数	目標	—						7ヶ国語
	実績	7ヶ国語		7ヶ国語	7ヶ国語	7ヶ国語	7ヶ国語	
平成26年度 事業予定	日本語が不自由な外国人にとっては、外国語で相談できる機会が限られるため、外国人による相談窓口の意義は大きいことから、平成26年度も継続して実施します。							

(4) 障がい児の発達と成長の支援

事業番号	129	事業名	【重点】 幼稚園・小学校・中学校への就学支援事業(まなびサポート事業)の実施				担当課	指導課
計画内容	認可保育園を含めて公立幼・小・中学校に在籍する障がいのある幼児・児童・生徒及び保護者の就学支援に関する相談を充実させる。関係機関との連携により個別の(教育)支援計画の作成を進める。							
	個別の相談回数	平成20年実績	653回		平成26年目標	充実		
	園・小・中学校の訪問回数	平成20年実績	650回		平成26年目標	充実		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	①個別相談(保護者からの相談) ②訪問相談(園、学校からの相談) 幼稚園 79件 107回 幼稚園 157件 77日 保育園 26件 33回 保育園 99件 53日 小学校 125件 170回 小学校 304件 414日 中学校 20件 29回 中学校 33件 74日 その他 2件 3回 ③就学相談 127件 168回 ④まなびサポート医師・スーパーバイザーへの相談 今年度は医師の他に、スーパーバイザーをまなびサポートチーム員に加え、まなびサポートチームの組織運営、相談体制の在り方等についても改善し、相談活動の充実を図った。 就学相談 24件 通級指導教室 14件 園・学校支援 11件 ⑤市立全小・中学校で個別の教育支援計画の作成について、全教職員対象に研修会を実施した。 ⑥他機関との連携会議を行った。						
	評価	就学前から就学後まで途切れることなく一貫した支援ができています。 個別相談の内、保護者、学校、まなびサポートの3者で相談するケース(約80%)が増えた。 今年度より医師にスーパーバイザーを加え、より専門性を生かした相談ができるようになった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
個別の相談回数	目標	—						充実
	実績	653回		656回	632回	618回	342回	
園・小・中学校の訪問回数	目標	—						充実
	実績	650回		702回	754日	870日	618日	
平成26年度 事業予定	引き続き、幼稚園・保育園、小中学校への訪問相談や保護者との個別相談を行い、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を進める。 個別の(教育)支援計画については、就学前から作成されているものが就学後も継続して活用されるよう、相談の中で支援を進めていく。また、新たに作成する場合は、保護者や学校との相談の中で、助言や支援を行い、必要に応じて関係機関との連携を図る。							

事業番号	130	事業名	保育園、児童育成クラブの利用支援の充実			担当課	保育幼稚園課 青少年課	
計画内容	障がいの種類や程度にあった支援ができるよう充実を図ります。							
	公立保育所	平成20年実績	7園		平成26年目標	充実		
	児童育成クラブ	平成20年実績	17クラブ		平成26年目標	18クラブ		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(保育幼稚園課) 公立保育園では、集団生活が可能な障がい児の受け入れを行っている。 平成26年3月末日現在、加配保育士が必要な園児は、15園で83人(内手帳所持者は5人)が入所している。 ■平成26年3月末日現在実績値 15園 83人</p> <p>(児童育成クラブ) 児童育成クラブでは、入会を希望する特別な支援が必要な児童を受け入れている。 平成26年3月末日現在、加配指導員が必要な児童は、15クラブで61名(内手帳所持者は、27名)が入所している。</p>						
	評価	<p>(保育幼稚園課) 公立では全園で実施しているが、公設民営や私立保育所でも障がいの程度や職員雇用の対応ができる場合には受け入れている。 また、加配が必要と思われる児童の入園が多くなっている。</p> <p>(児童育成クラブ) 全ての児童育成クラブで入会を希望する特別な支援が必要な児童を受け入れている。 また、加配が必要と思われる児童の入会について増加傾向にある。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
公立保育所	目標	—						充実
	実績	7園		13園	14園	15園	15園	
児童育成クラブ	目標	—						18クラブ
	実績	17クラブ		18クラブ	18クラブ	18クラブ	18クラブ	
平成26年度 事業予定	<p>(保育幼稚園課) 保育園の利用支援の充実</p> <p>(児童育成クラブ) 引き続き、児童育成クラブでは、入会を希望する特別な支援が必要な児童の受け入れを行います。</p>							

事業番号	131	事業名	【重点】特別支援学級等の充実	担当課	指導課		
計画内容	特別支援学級、通級指導教室、通常の学級等において、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育や指導の実現を図る。						
	特別支援学級小・中学校開設数	平成20年実績	各1校	平成26年目標	継続		
	配置支援員数	平成20年実績	8人	平成26年目標	継続		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○特別支援学級、通級指導教室での指導の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育的ニーズに合わせた教育課程の編成、グループや個別等の指導形態の工夫、通常の学級との交流及び共同学習の推進について研修会等で指導・助言することができた。 ことばの教室に通う子どもや、通常の学級に通う支援の必要な子どもたちの自立に向けた力を育てるため、専門性の高い千葉聾学校や県立船橋特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを講師とした研修会を開催できた。具体的な支援方法について指導・助言を受けることができた。 <p>○通常の学級での指導の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校で、特別支援教育の視点を生かし、「どの子どもわかる授業づくり」や「どの子ども安心して過ごせる学級づくり」に努められるように、教職員に教育情報を発信した。 校内支援体制の充実について <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーター研修会や巡回研修を行うことで、特別支援教育コーディネーター中心に全教職員で支援できるような校内支援体制の整備が進んでいる。 インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業の委託を受け、2校のモデル校を設置し、合理的配慮員3名を配置した。支援の在り方等について、県立特別委支援学校や関係機関と連携して、より専門的で多面的な視点から、合理的配慮について検討することができた。 					
	評価	<p>○特別な教育的支援の必要な子どもが地域の学校に通えるよう計画的に特別支援学級の整備を進め、来年度は南小学校と第9中学校に開設することとなった。</p> <p>○個別の教育支援計画の作成および活用を推進するため、全小・中学校へ巡回し、研修会を実施し、教職員への周知・理解を図ることができた。</p>					
目標と実績値		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特別支援学級小・中学校開設数	目標	—					継続
	実績	各1校	1校	1校	1校	0校	
配置支援員数	目標	—					継続
	実績	8人	20人	22人	21人	16人	
平成26年度 事業予定	<p>引き続き、特別支援学級、通級指導教室および通常の学級における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>平成26年度に南小学校と新設の高洲中学校に特別支援学級を開設する。また、明海南小学校にLD・ADHD等の通級指導教室を開設する。LD・ADHD等の通級指導教室に関してはニーズが多く、通級指導教室担当者を増員するよう県に要望を提出していく。</p> <p>インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業を、モデル校3校指定し継続していく。支援や校内体制の在り方、だれにも優しいわかる授業の在り方などについて研究を進め、本市の特別支援教育の充実を目指す。</p>						

事業番号	132	事業名	教員の資質・力量の向上に向けた取り組みの実施			担当課	指導課	
計画内容	特別支援教育についての理解を深め、指導力向上に向けた教員研修の充実を図る。							
	特別支援学級担任・通級指導教室担当者・特別支援教育コーディネーター研修実施数	平成20年実績	7回	平成26年目標	12回			
	補助教員・支援員研修実施数	平成20年実績	9回	平成26年目標	13回			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	特別支援学級担任研修会 4回 ・算数・国語についての授業研究、交流及び共同学習等 通級指導教室担当者研修会 5回 ・ことばの教室、LD等の教室の実践事例検討等 特別支援教育コーディネーター研修会 3回 ・園、校内体制作り、幼・保、小中の連携および引き継ぎ等 心身障がい児補助教員研修会 7回 ・子どもの実態別研修、個に応じた支援等 心身障がい児支援員研修会 6回 ・子どもの実態別研修、教材教具の活用等 まなびサポート研修会(市立全小・中学校へ巡回) 1回 ・個別の教育支援計画の作成と活用 ～将来を見通した支援計画～						
	評価	・特別支援教育についての理解を深め、指導力向上に努めた。 ・校(園)内体制の充実が図れた。 ・幼・保、小中の連携および引き継ぎの充実が図れた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特別支援学級担任・通級指導教室担当者・特別支援教育コーディネーター研修実施数	目標	—						12回
	実績	7回		10回	10回	12回	12回	
補助教員・支援員研修実施数	目標	—						13回
	実績	9回		15回	13回	13回	13回	
平成26年度事業予定	特別支援学級担任は若年層教員が多いため、特別支援学級担任研修会は、算数・国語の教科指導を中心とした指導力向上を図る内容で実施する。また、平成26年度にLD・ADHD等の通級指導教室を新たに開設する。新規担当者の指導力向上を図るため、講師を招いての実践事例検討会を2回開催し、日々の指導に生かしていく。 まなびサポート研修会(巡回)では、インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業をふまえ、「だれにも優しいわかる授業づくり」について、市内小・中学校の全教職員を対象に研修会を行い、指導力の向上を図る。							

事業番号	133	事業名	福祉用教材、学校の設備・備品の充実			担当課	指導課	
計画内容	障がいのある子どもの教育環境の向上に向け、福祉用教材の促進、教材の充実、学校設備等の充実を図る。							
	特別支援学級・通級指導教室・通常の学級	平成20年実績	備品等充実・施設改修	平成26年目標	充実			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	○特別支援学級・通級指導教室 個々の児童・生徒の教育環境の向上に向け、福祉用教材の活用・促進、学校の設備・備品の整備などを行った。特に昨年度(平成24年度)開設した日の出南小学校の特別支援学級については、児童の指導に適した教材・教具や備品の充実を図った。 ○学習支援室の整備 児童・生徒の教育的ニーズに応じた個別学習や少人数学習などを行うことを目的とし、小・中学校の全校に整備を進めている。今年度は、東小学校、高洲北小学校の2校について、整備を進めた。また、使用状況に関して、学習支援室を整備した学校の活用報告から確認を行った。						
	評価	○特別支援学級や通級指導教室では、個に応じた教材等を整備し、指導を進める上で、効果的に活用されている。 ○学習支援室については、落ち着いた環境の中で、情緒の安定を図り、個に応じた学習を進める上で役立っている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特別支援学級・通級指導教室・通常の学級	目標	—						充実
	実績	備品等充実・施設改修		整備・充実	整備・充実	整備・充実	整備・充実	
平成26年度事業予定	○特別支援教育の視点から、各学校で子どもの教育的ニーズに応じた教材教具の充実に向けて、必要な情報提供を行う。 ○平成26年度は、小学校1校、新設される中学校1校に学習支援室を整備する予定である。							

事業番号	134	事業名	【重点】 発達支援推進事業			担当課	発達支援室	
計画内容	発達障がい等のある子どもへの継続的な支援を行うために、ライフステージの切れ目に必要に応じて個別の支援計画を策定するとともに、個別の調整会議を開催します。さらに、成長の記録や会議の記録等もつなぐことができるように、独自性のある「ライフサポートファイル」を作成し、希望者へ配布します。また、講演会の開催等、地域への啓発活動についても引き続き実施します。							
	個別移行支援計画策定数	平成20年実績	2(モデルケース)		平成26年目標	希望する対象者		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	個別の調整会議については、新しく入園や利用開始となる各機関に対して、7名の児童を対象として年度末に5日間にわたり調整会議を開催し、本人の状況や配慮が必要な事項などの伝達と確認を行った。 ライフサポートファイルについては、平成25年4月から平成26年3月末までにおいては、117冊配布した。						
	評価	支援を必要とする子供の様子や配慮が必要な事項を、調整会議においては直接的に、ライフサポートファイルにおいては書類をとおし間接的に、伝え配慮を依頼することが可能となっている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
個別移行支援計画策定数	目標	—						希望する対象者
	実績	2(モデルケース)	9名	10名	8名	7名	7名	
平成26年度事業予定	個別調整会議については引き続き継続して実施する。ライフサポートファイルの作成・配布並びに地域への啓発活動として開催してきた発達支援セミナーの2事業については、平成26年度より市障がい事業課において継続実施していく。又、平成26年10月からの児童発達支援センター化にあわせ、当センターの利用児を対象とした、サービス等利用計画の作成をはじめとする相談支援体制全体の枠組みを確立していく。							

事業番号	135	事業名	【重点】 こども発達センターの機能強化			担当課	こども発達センター	
計画内容	心身の発達に遅れや心配のある0歳～18歳までの子どもとその保護者を支援するため、保育士・保健師・臨床心理士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士の専門スタッフが、一人ひとりの成長過程における様々な悩みや心配事の相談・指導・訓練等を行います。集団での発達支援を中心に行う通園部門では、就学前の方を対象に専門スタッフ(多職種)によるチームアプローチでの支援を行い、療育体制の充実を図ります。 また、通園部門に通所しながらの個別相談・指導・訓練も実施します。幼稚園等との併用通園も実施し、関係機関と連携し子どもの発達を支援します。個別での相談・指導・訓練等を中心に行う外来部門では、ひとり親家庭や共働き家庭等で平日利用が困難な方のために、毎月第2・第4土曜日にも相談・指導・訓練等を行います。巡回相談では、発達センターに來所している子どもが通う保育園、幼稚園等の関係機関の職員にアドバイスを行います。							
	児童デイサービスの充実	平成20年実績	継続		平成26年目標	充実		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	○児童デイサービス(児童発達支援)利用実績 子 実数54人・延数4,627人、親 実数27人・延数1,445人 合計 実数81人・延数6,072人 ○個別相談実績 外来部門延数8,193人・児童デイサービス(児童発達支援)延数1,390人 合計 延数 9,583人 ○巡回相談実績 外来部門137件・児童デイサービス(児童発達支援)12件 合計 149件 ○土曜日利用実績 相談日数 22日 実数 101人・延人数 1,036人 ○造形グループ 実数10人・延数79人、小学生グループ 子実数4人・延数41人、親実数4人 延数41人 (平成26年3月31日現在)						
	評価	平成25年度においては、従来どおり当センター利用児に対する直接的な療育サービスの提供に努めてきた。その結果、市内において支援を必要とする障がい児の発達と成長に一定の役割を果たすことができた。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
児童デイサービスの充実	目標	—						充実
	実績	継続		延4,862人	延4,956人	延5,018人	延6,072人	
平成26年度事業予定	平成26年10月から、当センターを法に定める児童発達支援センターに位置づけ、地域療育の中核としての役割を担うことになった。これにより、従来実施してきた当センター利用児に対する直接的な療育サービスの提供のみならず、地域全体への療育的視点に立った支援の取り組みが、質量ともにより大きな役割として求められることになった。							